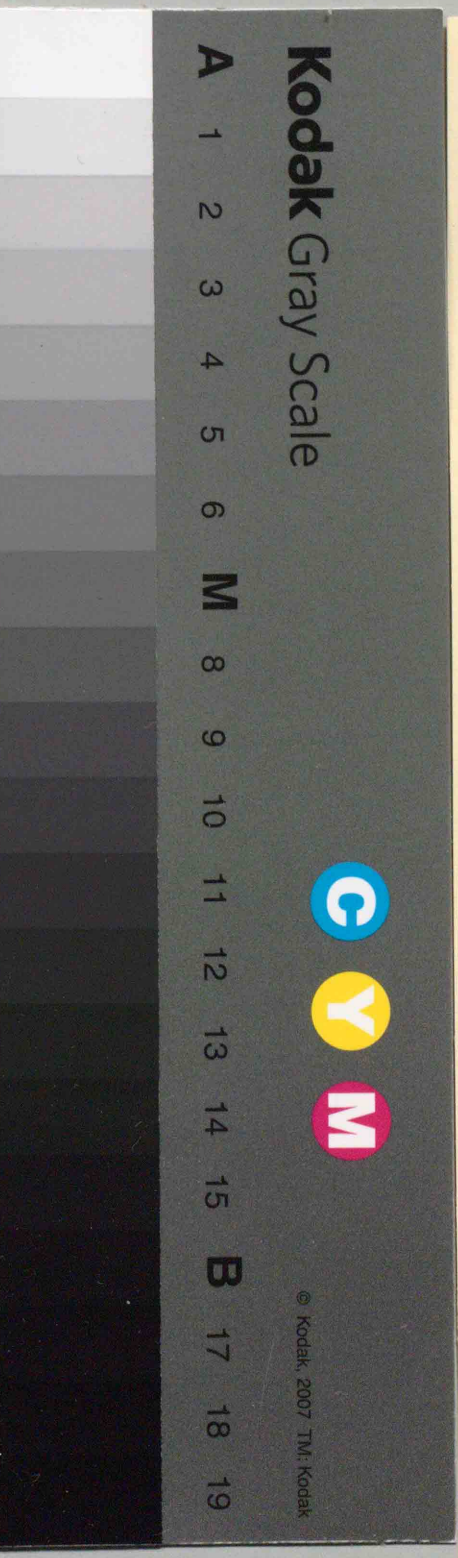
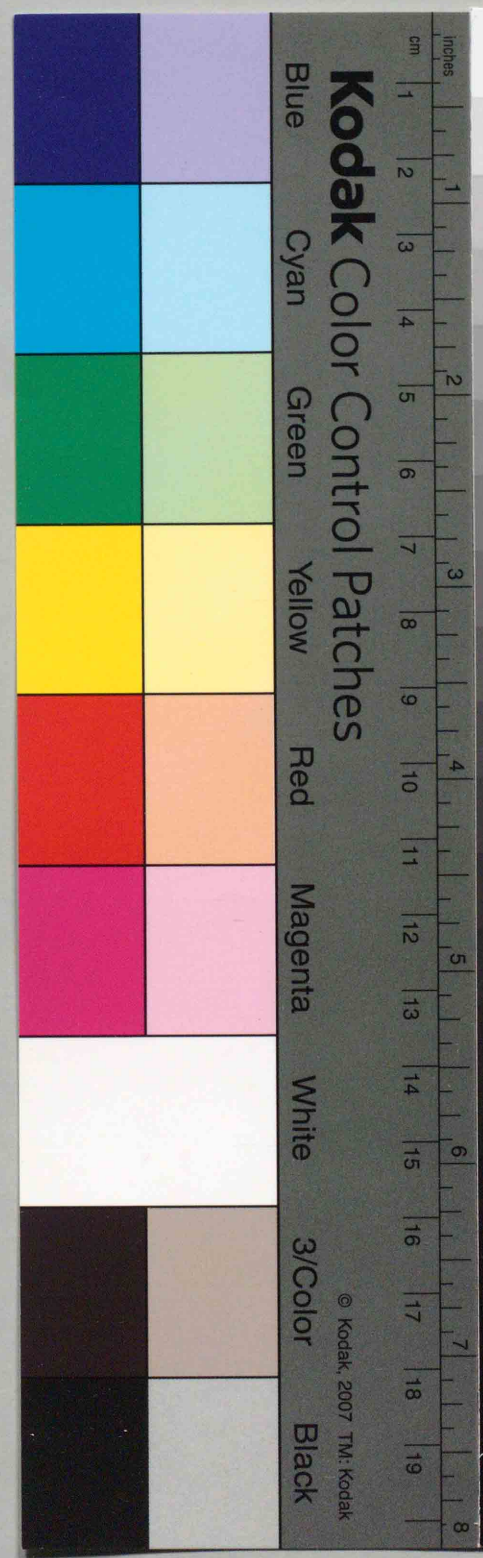
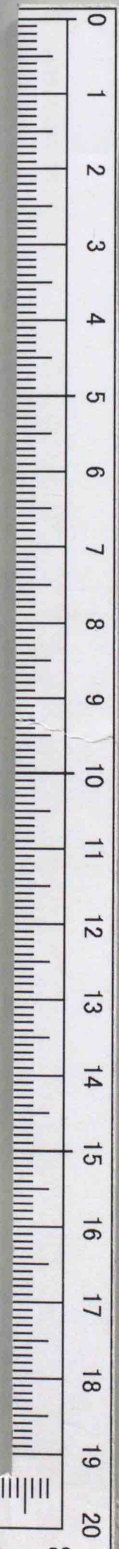


守屋荒美雄著  
 經濟學士  
 守屋美智雄補訂  
 新令準據  
**新選地理**  
 外國篇 高等女學校用  
 修正版

教  
 4  
 20



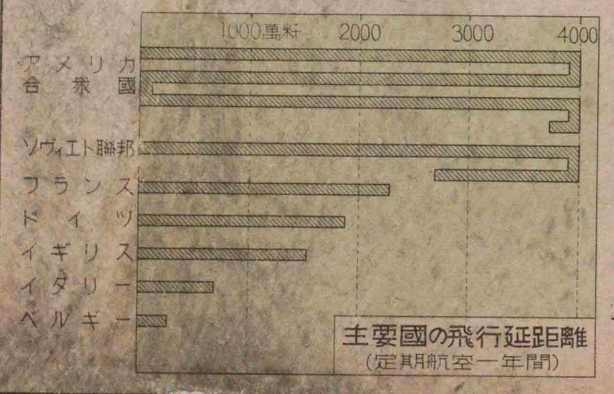
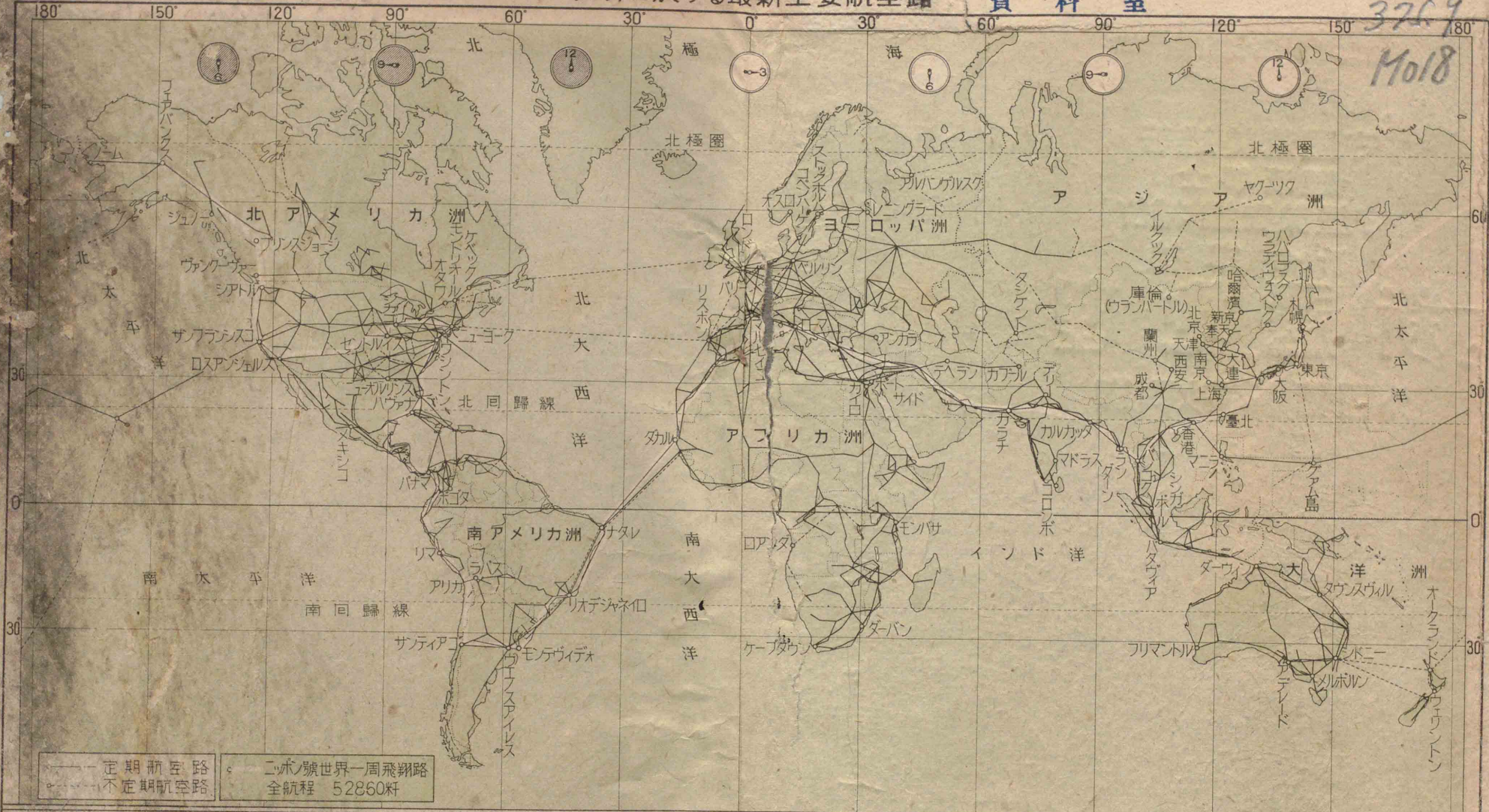
42798  
 教科書文庫  
 4  
 290  
 42-1940  
 20000  
 42091



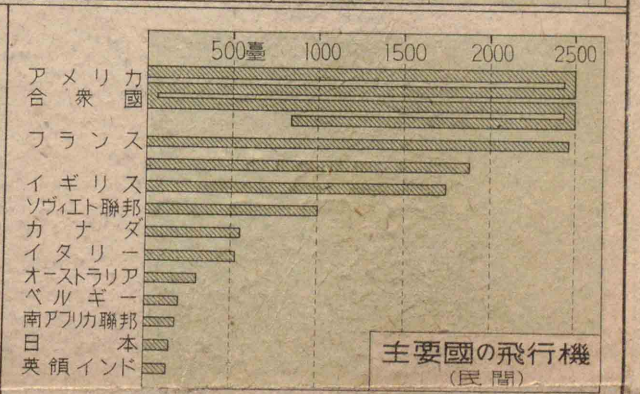


世界に於ける最新主要航空路 資料室

3759  
Mo18



世界一周飛行の壯途にあるニッポン號の雄姿





文部省検定済  
昭和十五年十二月二十八日 高等女學校 地理科

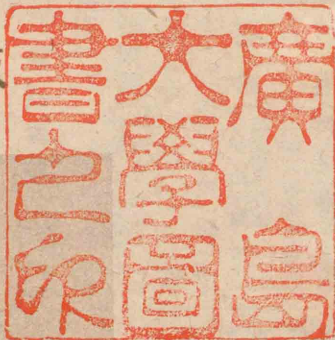
教科書文庫  
4  
290  
42-1940  
2000042091

守屋荒美雄 著  
經濟學士  
守屋美智雄 補訂  
新令準據

# 新選地理

外國篇 高等女學校用

修正版



広島大学図書

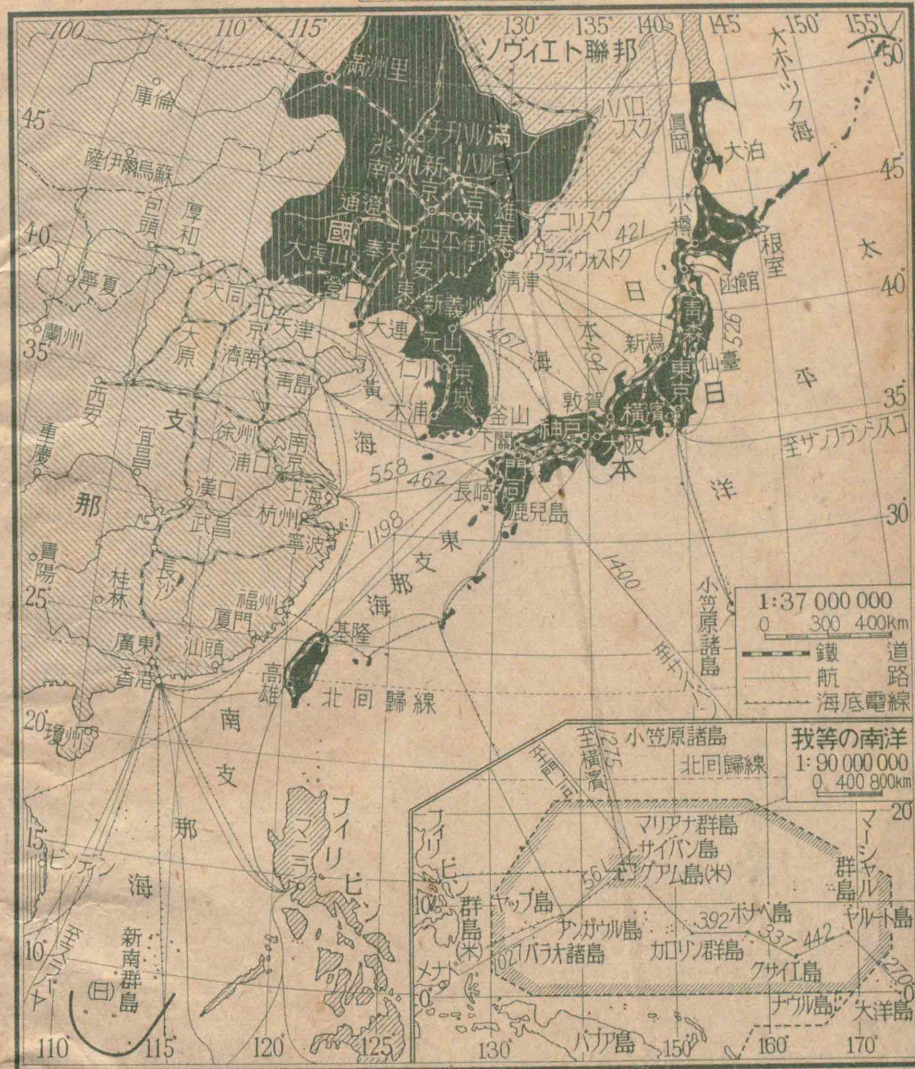
2000042091



東京忠霊塔  
(満洲事變戦死者を祀る)

株式會社  
帝國書院

## 大日本帝國



我が國の面積	675萬方呎	我が國の總貿易額	706億圓(昭和14年)
我が國の人口	約1億人	(輸出額 39.3億圓・輸入額 31.3億圓)	
我が國の人口密度(内地1方呎)	1.86人	新高山の高さ	3950米
我が國の鐵道延長	3萬呎	鴨綠江の長さ流域	790呎32萬方呎
我が國の定期航空路延長	1.9萬呎	東京市の位置	東經-139度45分 北緯-35度39分
我が國の汽船噸數	518萬噸	東京市の人口	646萬人(昭和2年)



在外日本公館一覽表

(昭和十五年五月現在)

ハ	ベ	ス	ブ	リ	レ	ヘ	カ	バ	テ	バ	リ	ワ	ア	ロ	ロ	バ	ブ	ベ	モ	北	新	大使館					
		ト	ダ				ル	ブ	グ	ヘ	ン	シ	ン	ン	ラ	ル	ス										
		ク	ベ		ヴ	シ	ン	ダ	ラ	コ		シ	ン	カ	ド	セ	リ	コ									
		ホ	ス		ン	ン	ン	ラ	コ			ト	カ	ド	セ	リ	コ										
グ	ン	ム	ト	ガ	ル	キ	ル	ド	ン	ク		ロ	ラ	マ	ン	リ	ル	ン	ト	京	京	公使館					
成	濟	青	天	上	北	哈	新					ブ	サ	リ	カ	バ	ボ	ハ	メ	ブ	カ	オ	リ	サ	ソ	ブ	總領事館
石	海	滿	東	綏	珲	牡																					領事館
ノ	ヴ	オ	ベ	メ	メ	ス	サ	ダ	サ	ラ	コ	ボ	雲	汕	鄭	重	長	宜	沙	九	杭	芝	叙	太	領事館		

例言

本書は昭和十二年三月改正せられた高等女學校地理科教授要目に據り、<sup>新令</sup>準據新選地理<sup>日</sup>高等女學校用<sup>本</sup>同概説篇と密接な關係を保つて編纂したものである。

凡そ外國地理は、世界人類が各、その占有する自然と、各民族の保有する傳統及び特性との交互接觸によつて、如何なる文化を築き上げてゐるかを知らしめ、之と我が國の文化とを比較考察することに依つて、我が國體の精華と文化の特質とを理會せしめると共に、大いに國民精神を作興し、我が國の興隆世界的發展に資すべき重大責務を有してゐる。今や、世界の隨所に於て新興勢力による舊體制の破壊が行はれ、世界新秩序の建設が企圖せられつつあり、東洋の安定勢力を以て任ずる帝國も亦この新情勢に即し、國家の總力を傾注して肇國の理想の實現に邁

例言

一



進してゐる。この新時代に處す可き國民の教育に當り、外國地理教授の負ふ責務や、重且つ大なりと言はなければならぬ。従つて本書は、次の諸點に留意して時局の要求に副はんことを努めた。

一、國民精神の作興 常に祖國日本を念頭に置き、各國文化の特性を究めると共に、必ず日本と對比せしむるやう工夫し、以て我が國の特質と優秀性とを理會せしむることとした。

二、我が國と各國との關係 滿洲國支那南洋方面等、特に我が國と密接なる關係を有する地域の記載には、出來得る限り多くの頁數を割き、以て東亞新秩序の建設を目標とする我が國是の眞意義を認識せしむるやう努めた。爾餘の諸國の記述に就いては、日本と關係ある事項に重點を置き、他は簡略を旨とした。

三、世界現状の認識 世界各國の民族政治經濟交通等、國境變革の根本原因となる可き事項に留意し、歐洲政局の變動は勿論、その他の地方

に於ける最近情勢の推移を理解せしめるやうに努めた。

四、人文地理の重視 中等教科の地理は、人文地理を中心とする主旨に基き、自然地理は人類生活の自然的環境として人文と比較的關係の深い事項に止め、しかも、人文事項を有機的に取扱ひ、容易に理解し得るやうに努めた。

五、明快平易な記述 便宜上、自然・人文の各項に分けて述べたが、相互の關係を重視し、力めて平易な表現法を用ひ、難解な語句を避けた。又、本文挿圖共文字を大きくし、鮮明美麗な寫眞と、明瞭な挿圖とを加へて内容の具體化を圖り、興味を以て自學自習し得るやうに努めた。終りに臨み、本書の編著に當り、多大の援助を與へられた諸賢に對し、深甚なる謝意を表する次第である。

昭和十五年仲秋

補訂者 守屋美智雄識



緒論

第一編 アジア洲

第一章 序説……………三頁

第二章 東部アジア……………七

第三章 南部アジア……………七

第四章 南西アジア……………七

第五章 ソ聯領アジア……………七

第六章 總括……………八

第二編 ヨーロッパ洲

第一章 序説……………九

第二章 東部ヨーロッパ……………九

目次

第三章 北部ヨーロッパ……………一〇〇

第四章 中部ヨーロッパ……………一〇四

第五章 西部ヨーロッパ……………一〇六

第六章 南部ヨーロッパ……………一〇三

第七章 總括……………一〇二

第三編 アフリカ洲

第一章 序説……………一〇四

第二章 北部アフリカ……………一〇四

第三章 中部アフリカ……………一〇五

第四章 東部アフリカ……………一〇五

第五章 南部アフリカ……………一〇五

第六章 總括……………一〇五

第四編 北アメリカ洲

第一章 序説……………一〇七

第二章 北部地方……………一〇九

第三章 アメリカ合衆國……………一〇九

第四章 南部地方……………一〇九

第五章 總括……………一〇九

第五編 南アメリカ洲

第一章 序説……………一一一

第二章 北部地方……………一一一

第三章 中部地方……………一一一

第四章 南部地方……………一一一

第五章 西部地方……………一一一

第六章 總括……………一一五

附 北極地方・大西洋

第六編 大洋洲

第一章 序説……………一一六

第二章 オーストララシア……………一一六

第三章 太平洋諸島……………一一六

附 南極地方・インド洋・太平洋

結論





地球の表面

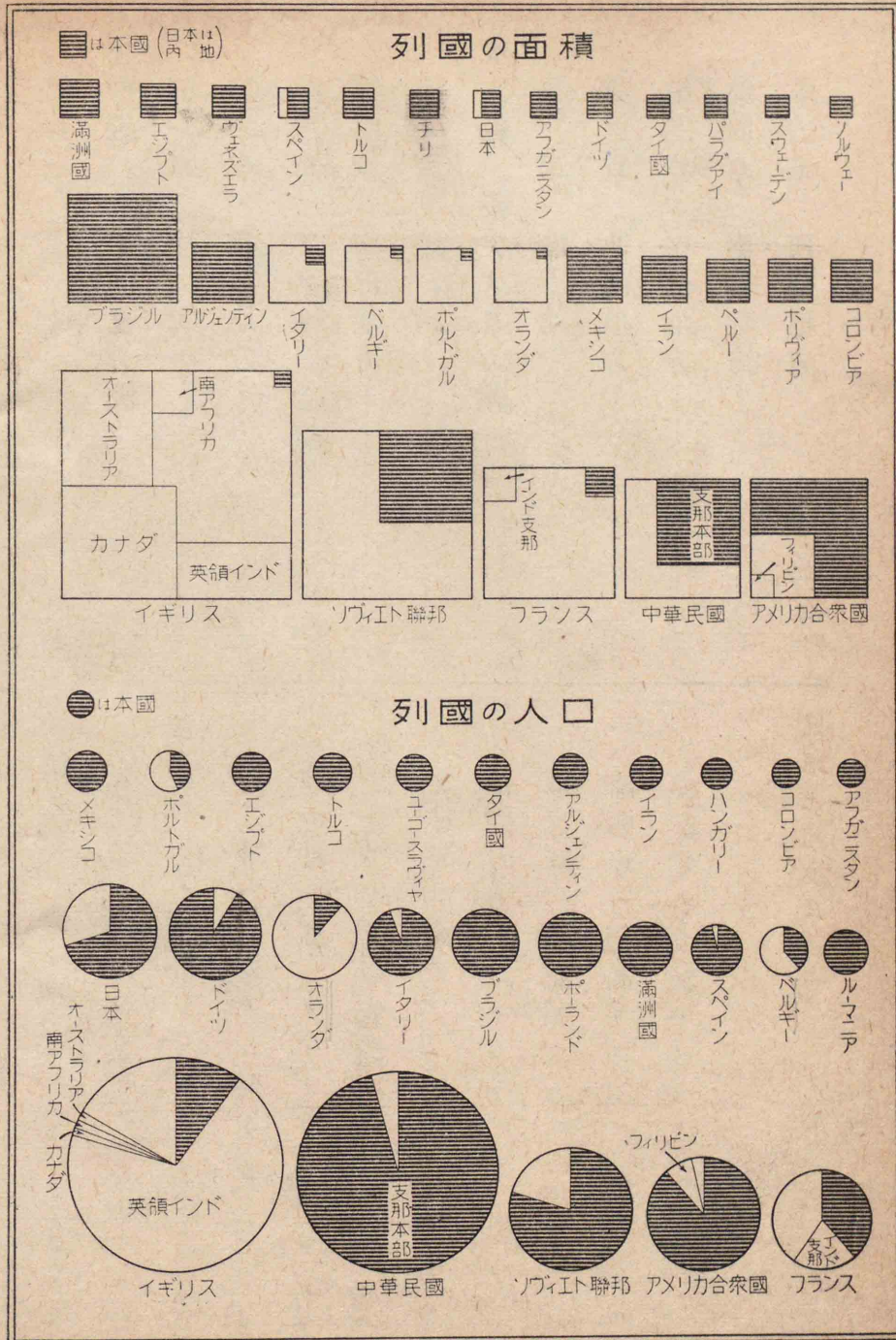
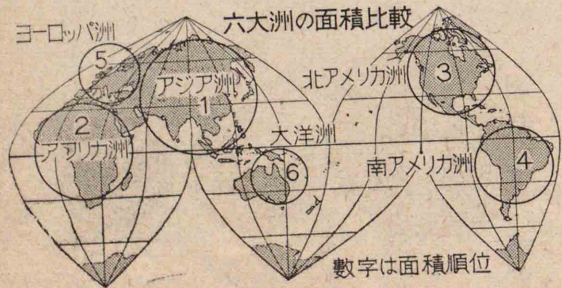
世界の人類

新令 新選地理 外 高等女學校用 修正版

緒論

地球の表面 我が地球の表面は陸界・水界・氣界の三界から成つてゐる。陸地の面積は約一億五千萬方呎で、アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・大洋洲の六大洲と、南極大陸とに分たれる。海洋は陸地の凡そ三倍に當り、太平洋・大西洋・インド洋はその主なものである。世界の人類 地球上に生存する全人類は約二十一億人を數へ、アジア・ヨーロッパ・アメリカ・アフリカの四人種と海岸島嶼住民とに大別する。

緒論





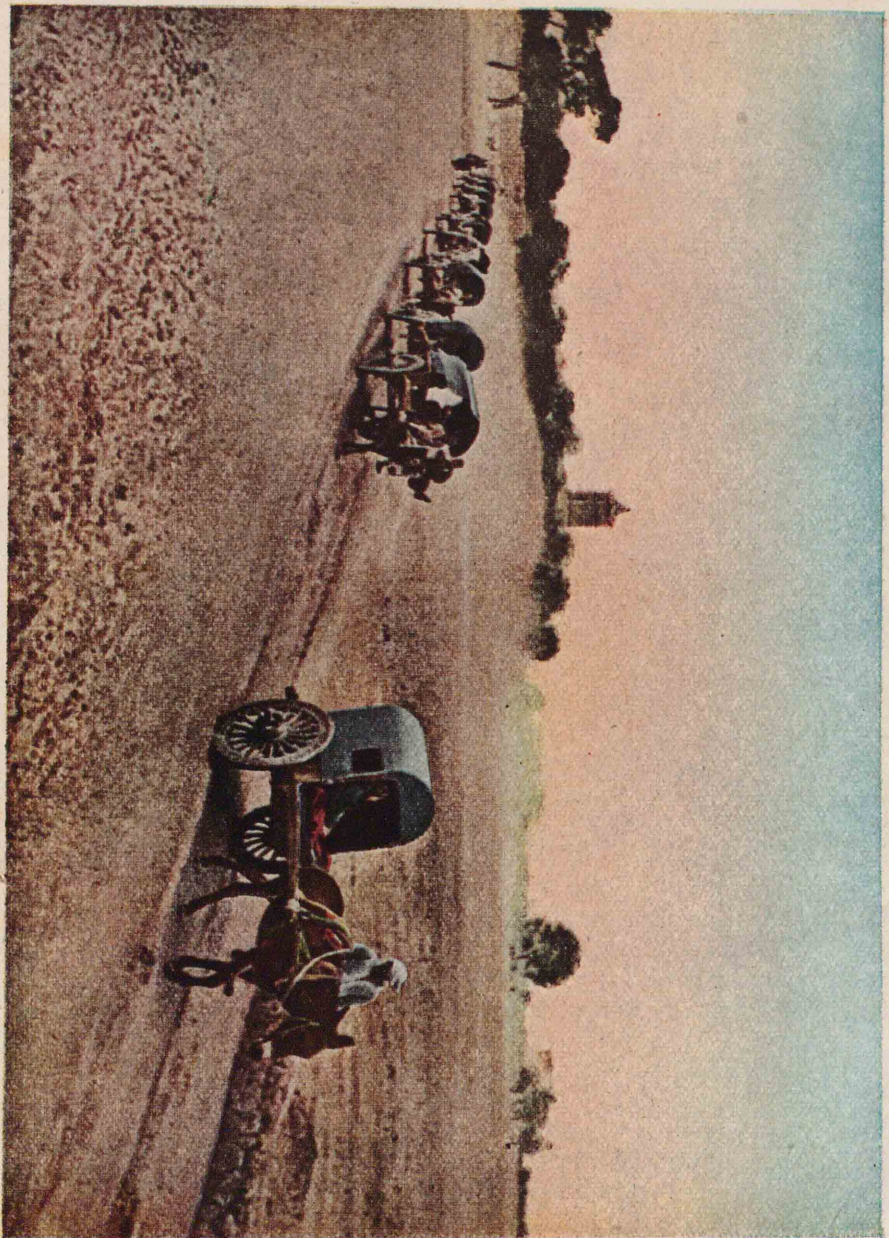
これ等の人類は、或は種族的に、或は歴史的に結合して六十餘の國家を形成し、夫、その地の自然を利用して生活を営み、独自の文化を創造してゐる。近年領土の大小、資源の貧富又は民族運動等に起因する列國間の對立が益、著しくなつて來た。

**日本と世界** 我が國は、太平洋の一隅を占め、世界無比の國體と優秀な國民性とにより、今や英・米と共に世界三大強國の一となり、滿洲國及び新興支那と協力して東亞の新秩序を建設し、肇國の理想に向かつて邁進してゐる。

我等は既に日本地理を學んで我が國發展の現情を知り得たが、更に進んで外國地理を修め、各國の情勢を究めると共に、我が國と諸外國との關係を明かにし、以て、世界に於ける祖國日本の姿を知り、我が國の進展、延いては世界文化の發達に貢獻するやうつとめねばならない。

日本と世界

手記  
北支那の発展  
支那の発展  
支那の発展



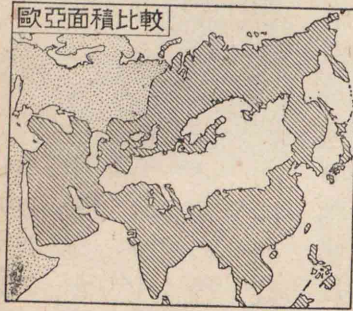
北支那特殊の景觀

曠野を行く馬車



地勢  
中央海洋  
山地

アジア洲序説



アジア大陸は、ユーラシア大陸の東半を占め、その面積は六大洲中最大で、世界全陸地の約三分の一に當る。大部は北半球に位し、熱帯・温帯・寒帯に互り、住民の數も十二億に近く、世界人類の過半に達する。曾ては、世界最古の文明や、大宗教を生んで、世界文化の發祥地であつたが、今や東亞の盟主たる我が國及び盟邦滿洲國の外は、數箇の弱小獨立國があるのみで、大部分の地域は歐米列強の勢力下にある。

地勢・海洋　アジア大陸の中央山地は、パミール

第一編　アジア（亞細亞）洲  
第一章　序説

面積　四百萬方浬  
人口　二五億萬人



上海のバンドと日本人街虹口とを結ぶガーデン橋



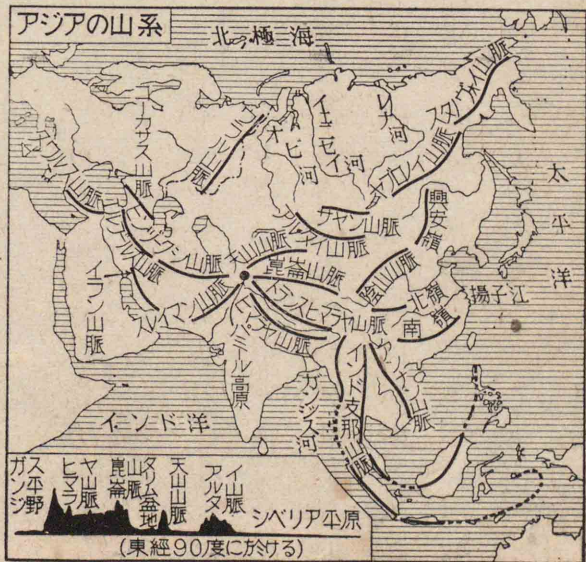
北部低地



ヒマラヤ山脈  
(カンチェンジュンガ山)

この中央山地は、自然人文上著しい境界となつてゐる。北部の低地はオビ・イェニセイ・レナ三大河の流域が主で、アム・シル兩河の内陸流域がこれにつゞいてゐる。南

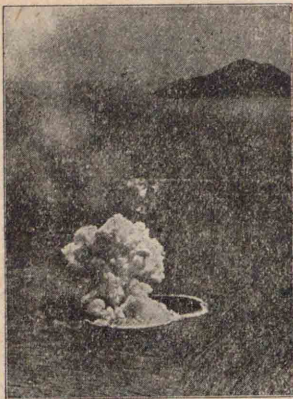
部に高原状のインド・アラビアの二大半島がインド洋に突出してゐる。これ等の山地・臺地の間には、シャトルアラブ・ガンジス河・揚子江・黄河・黒龍江等の河川が流れ、メソポタミア平原・ヒンドスタン平原・支那平原・滿洲平野等が開けてゐる。



南部臺地

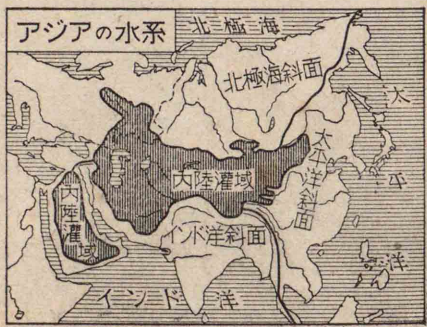
平野

太平洋  
インド洋  
北極海



アジア南部の  
海底火山

本海・東支那海・南支那海等の縁海を抱いてゐる。この弧状列島には火山脈を伴ひ、多くの火山がある。インド洋はインド半島によつてベンガル灣・アラビア海に分れ、島嶼は少い。北極海は一般に變化に乏しい。



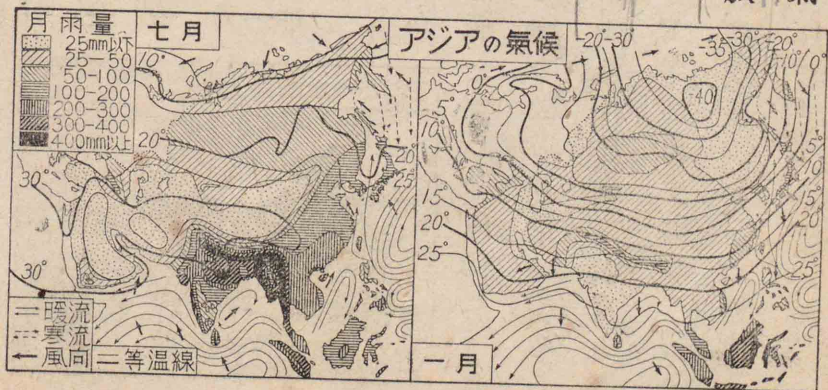


氣候

大陸性氣候  
季節風帶

アジア洲序説

氣候 土地は廣大で、地形が複雑なため、氣候も多種多様である。中央部は高い山脈によつて海洋から隔てられてゐるため、大陸性氣候をなし、草地沙漠が廣い。南東部及び南部の海岸は季節風帯に屬する。夏季は海岸より大陸内部に海



シベリアの森林

風が吹いて、沿岸は高温多雨となるに反し、冬季は内陸より乾いた風が吹くため著しく乾燥する。北部低地は寒冷で、凍土森林が連り、海水は一年の大部分が氷結する。殊にシベリアの北東部には世界の寒極がある。西部の地中海黒海沿岸地方は溫和であるが、イランアラビア地方は雨量が少く、酷熱で沙漠草地帯をなしてゐる。

第二章 東部アジア

第一節 滿洲國

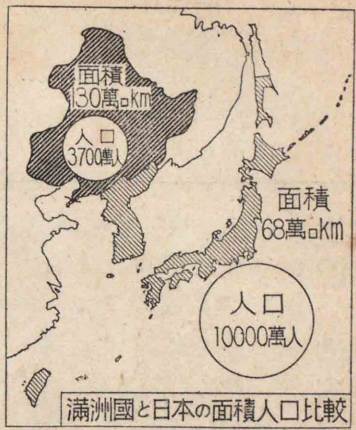
東部アジアは、太平洋に面する季節風帯で、滿洲國・支那があり、我が國と共にアジア大陸の主要部をなしてゐる。

概説 滿洲國は、我が朝鮮の北部と接し、長い國境によつて、聯蒙

面積 一三〇萬方呎  
人口 三〇〇萬人

アジア洲 東部アジア





古支那本部と境してゐる。面積は我が國の二倍に上るが、人口は僅かに三分の一に過ぎない。

滿洲國の建國 滿洲は古から我が國と關係があり、日露戦争によつて、我が國は關東州の租借權と、南滿洲鐵道及びその他の權益とをロシアより譲り受けた。その後我が國は、多大の資本を投じてその開拓

を計つて來たが、張作霖父子の排日のため、遂に昭和六年の滿洲事變となり、皇軍は張政權を打倒して宿弊を一掃した。茲に於て多年軍閥の惡政に悩んだ滿洲三千萬の民衆は、翌昭和七年代表者をあげて滿洲國の獨立を宣言し、元清朝の宣統帝であつた溥儀氏を執政に推戴して、王道國家を建設するに至つた。次いで昭和九年、溥儀執政は皇帝に即位し、茲に滿洲帝國が成立した。その後我が國と密接な關係を保ちながら、健全な發達をつゞけてゐる。

地勢

山地

地勢 東部は、長白山脈

本幹山脈等の山地より

成り、北西部は大興安嶺

が南北に連り、西方に緩

斜して蒙古高原に續き、

北部には小興安嶺が横

たはつてゐる。これ等

の山地に圍まれた滿洲

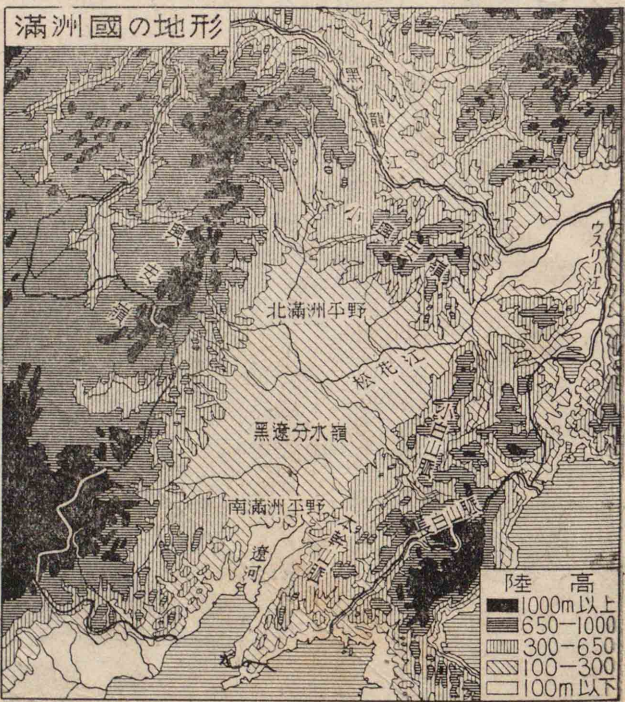
平野は廣い大平原で、松

花江流域の北滿洲平野

と、遼河流域の南滿洲平野

とに分れる。黒龍江・ウスリ

江は滿洲



平野・河川  
湖沼

兩國の自然的國境として重要性を有し、松花江・遼河と共に水運に利用せられる。湖沼には興凱湖・鏡泊湖・呼倫湖・貝爾湖等がある。





興安嶺の森林景觀



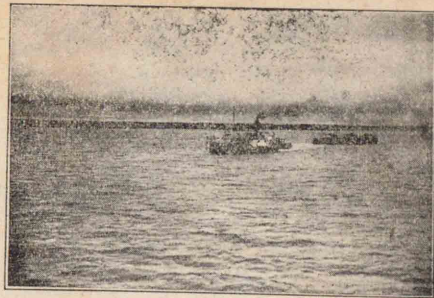
開原に於ける大豆の集積

産業

産業 地勢・氣候によつて(一)東部山地(二)滿

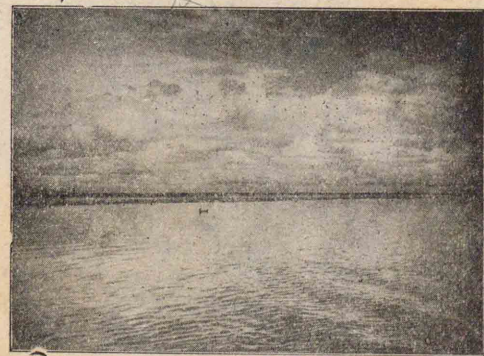
三寒四温の現象がある。  
 耕は全く行はれない。朝鮮と等しく  
 乾燥して著しく寒く、河川は凍結し、農  
 北西季節風が吹き荒び、晴天がつゞき、  
 によつて南部に降雨が多い。冬季は

氣候



江 花 松

氣候 緯度からいへば滿洲國  
 は、我が奥羽から樺太にかけて  
 の地方に當り、氣候も稍似てゐ  
 る。しかし海から隔つてゐる  
 ので、一般に大陸性氣候である。  
 夏季は日照時間が長く、三十度  
 以上の高温となり、南東季節風

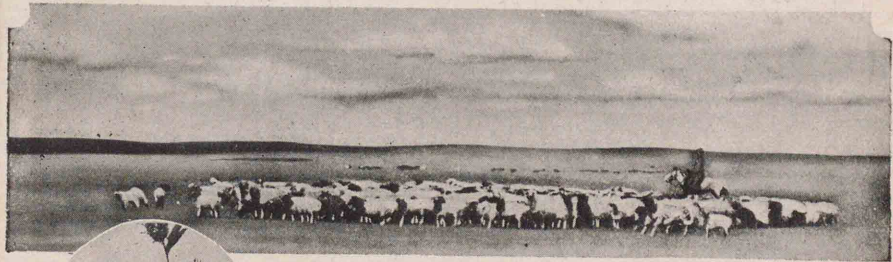


興凱湖

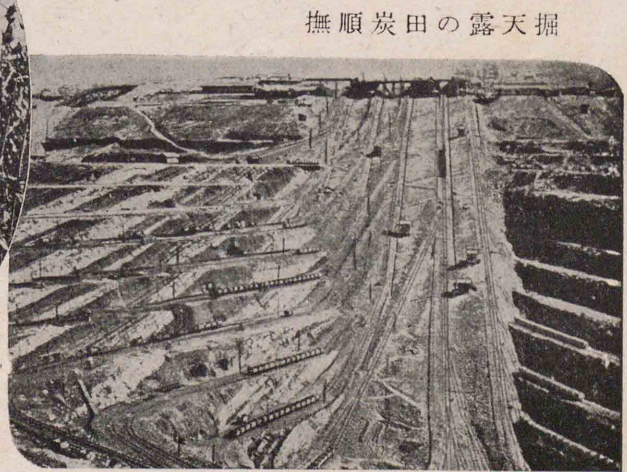




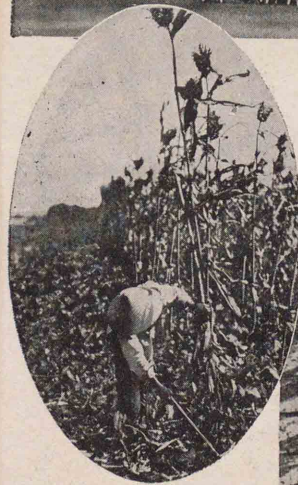
興安北省に於ける羊毛の集積



コロンバイルの牧羊



撫順炭田の露天掘



高粱の刈入

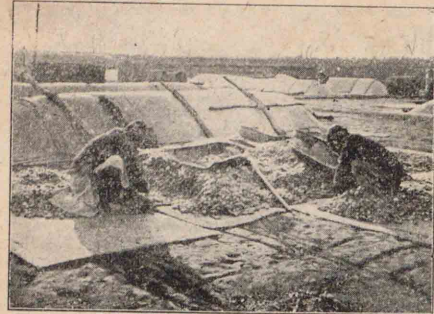
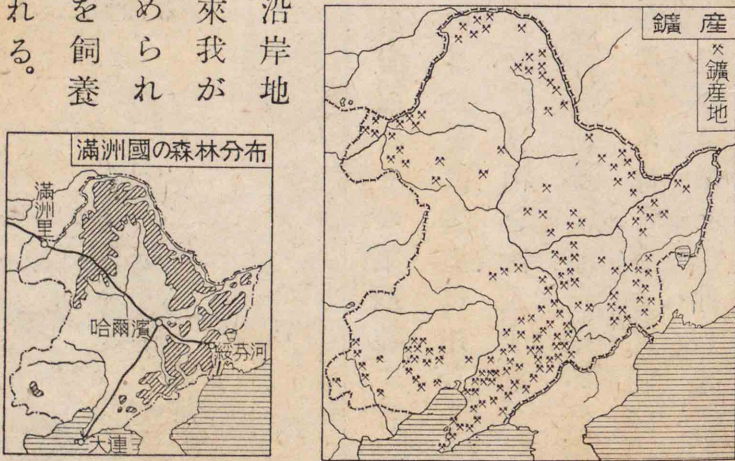
東部山地

滿洲平野

洲平野(三)西部山地の三區に分ける。  
 (一)東部山地 金・鐵・石炭等の有用鑛産

が多く、その一部は我が國に供給されてゐる。鴨綠江・豆滿江・牡丹江の流域には森林が繁茂し、木材の産が多い。

河谷には農業が發達し、移住朝鮮人によつて開拓された間島地方

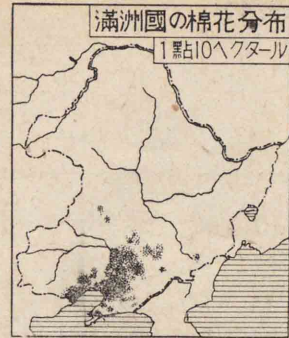
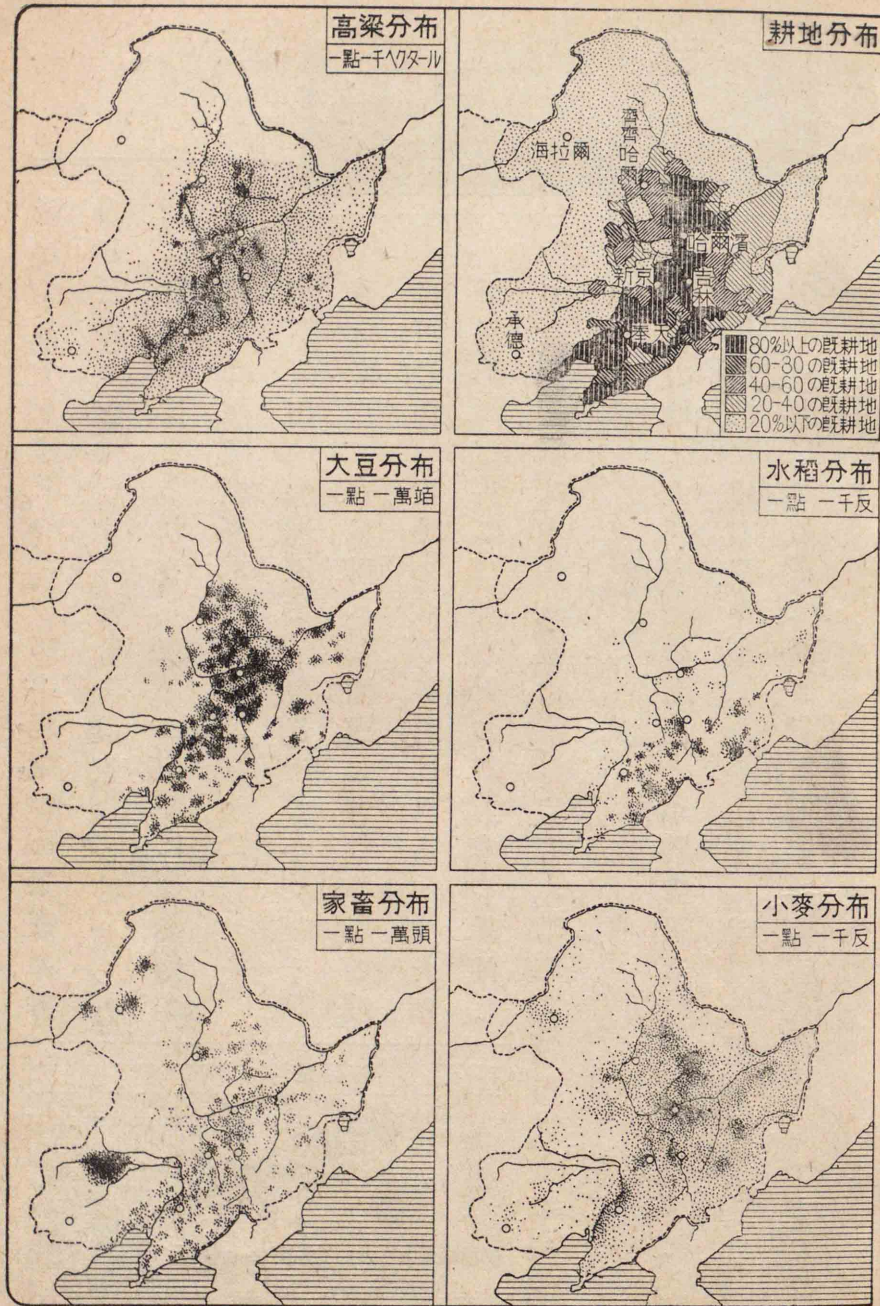


柞蠶繭の野積

は特に名高い。ウスリー江沿岸地方及び松花江流域は、建國以來我が集團移民によつて開拓が進められてゐる。遼東半島には柞蠶を飼養し、沿岸には天日製鹽が行はれる。

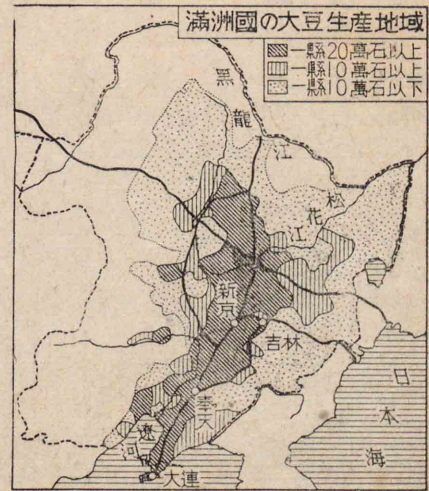
(二)滿洲平野 夏季は氣溫高く、降雨も多いので到る處に



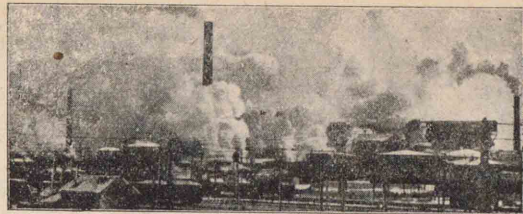
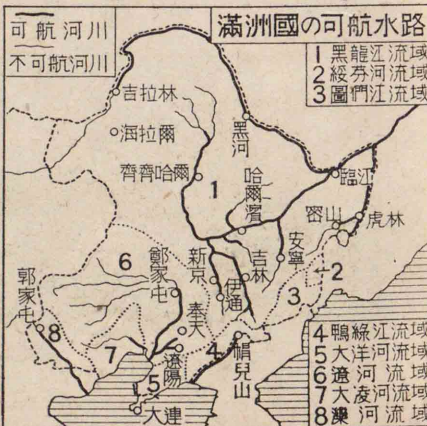
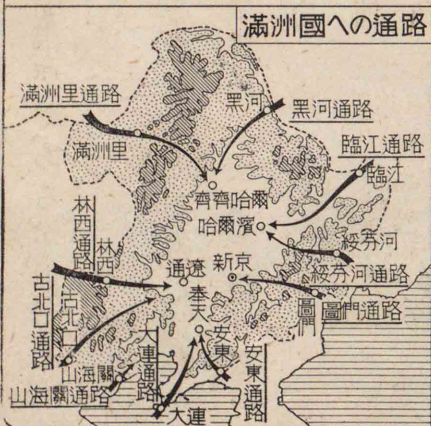
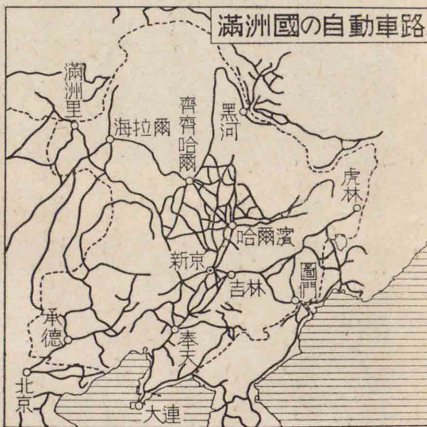
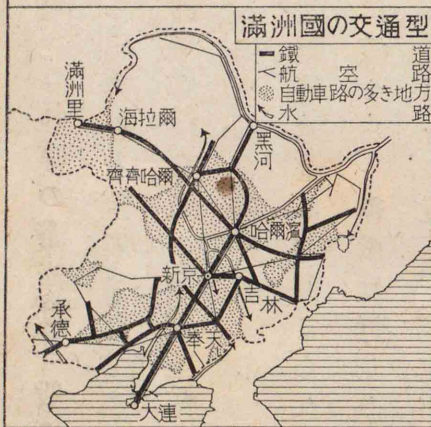
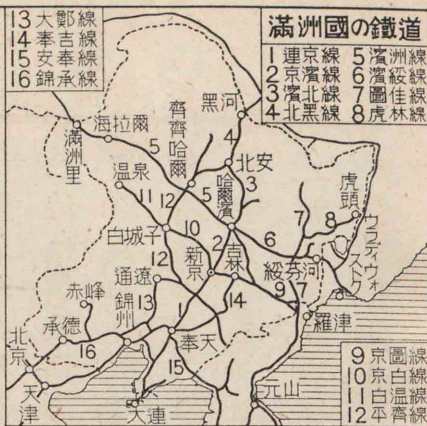
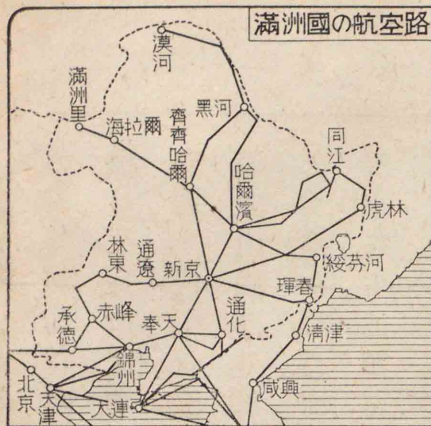


が盛である。高粱粟は土民の常食又は醸造に用ひられる。我が國は年々多量の大豆及び豆粕を輸入する。小麥は主に北部に産し、哈爾濱に製粉麥酒醸造業が發達した。南滿洲には玉蜀黍・棉・煙草・甜菜・麻も多く、又朝鮮人によつて米が作られてゐる。近年蘋果その他の果實の

農業が行はれ、この國第一の生産地帯となつてゐる。然し農耕期間が短く、且一般に雨量が少いので、大豆、高粱、粟、小麥等、乾燥氣候に堪へる作物が選ばれる。大豆は北滿洲を主として各地に産し、世界總産額の約六割を占めてゐる。大豆のまゝ又は豆粕・豆油として輸出する。奉天・新京・海龍はその集散地で搾油





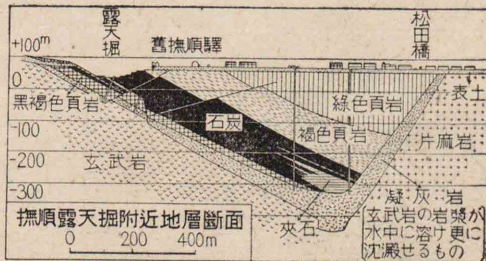


オイルシエール工場(滿州)

西部山地

産を見るやうになつた。馬牛騾驢等の家畜は勞力と肥料とを供給するため、各農家に飼養せられ、豚は食料に供せられる。東部の山麓には鑛産が多く、石炭は撫順、煙臺、本溪湖、牛心臺等に産する。撫順炭田は滿洲國第一の炭田で、年約一千萬噸を産して我が國へも輸出し、別に外層の油母頁岩から重油の採取が行はれる。また四平街、錦州と共に石炭液化の新工業も勃興してゐる。鐵は本溪湖鞍山附近に多く、昭和製鋼所に於て製鍊せられる。

西部山地 大興安嶺の北部と小興安嶺とは、森林に富んでゐる。南部には石炭を産し、その中心の阜新北票、遼東灣の壺盧島に搬出してゐる。呼倫貝爾盆地は蒙古人によつて、羊・山羊

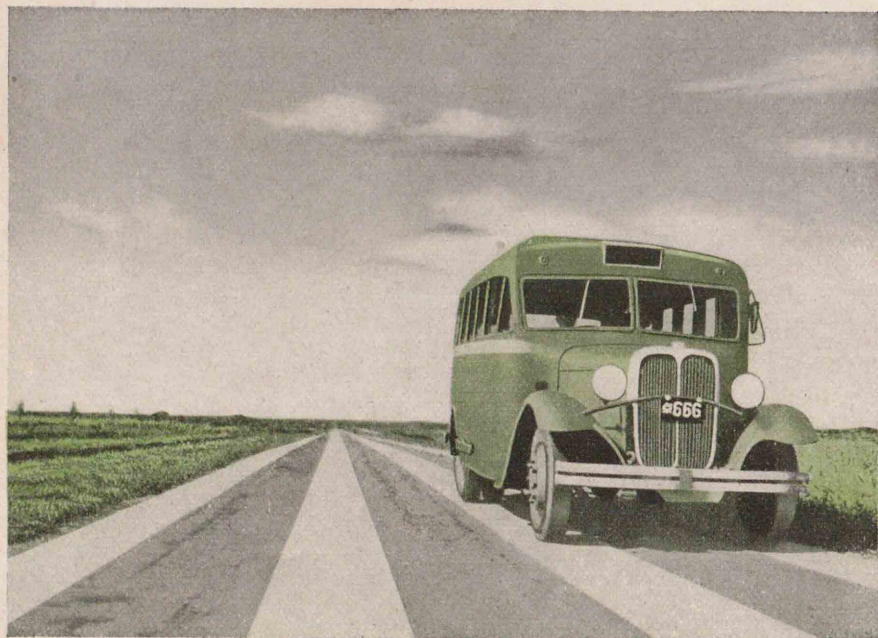


アジア 東部アジア





北滿に於ける我が移民の農耕



滿洲國の自動車道路

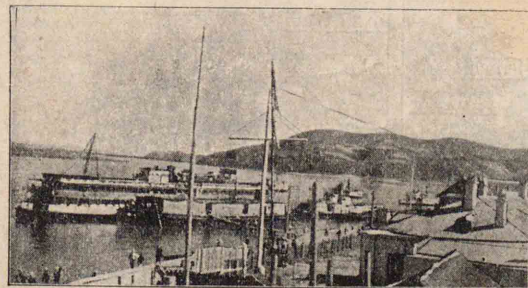
交通

鐵道

アジア 東部アジア

の遊牧が行はれる。これ等の畜産は一般に粗悪であるが、近年品種の改良に成功し、將來を有望視されてゐる。

交通 低平な滿洲平野は、交通の發達上頗る恵まれてゐるが、周圍の諸山脈は外部との交通を妨げてゐる。道路は從來不完全なものが多かつたが、建國後次第に改修せられ、自動車路も二萬軒に達する。鐵道は近年急速に發達し、全延長は一萬軒に近い。連京京濱二線は濱綏、濱洲、安奉等の諸線に連結し、亞歐連絡の大幹線の一部をなしてゐる。その他北朝鮮の清津、雄基、羅津に通じて日滿兩國を連絡するものや、北支那に通ずるものもある。これ等の鐵道は、總て南滿洲鐵道株式會社が經營を委託されてゐる。黒龍江、松花江、遼河

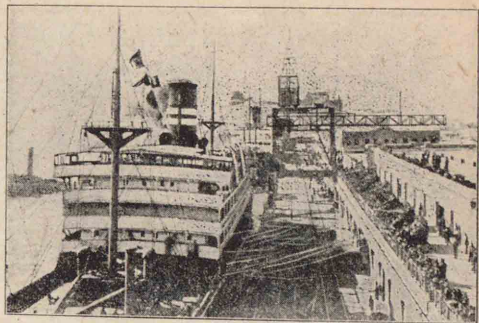


松花江の水運









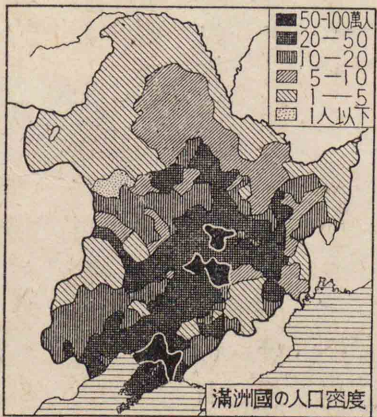
頭埠大連關の滿洲國

がこれに次ぐ。輸入は鐵及び鋼機械類・綿織物・車輛の精製品が多い。取引先は日本・支那・ドイツ等が主で、大連・安東・營口の三港を通じて行はれる。對日貿易は全貿易高の六割を越え、生産資材の輸入によつて著しい入超を示してゐる。

住民 人口は約三千七百萬に達し、人口密度は僅かに二十六人餘で、早く開けた南滿洲に多く、日鮮・滿漢・蒙露の五民族より成る。原住民

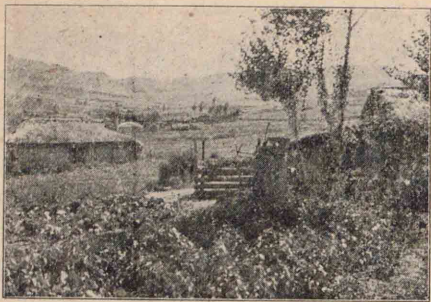
對日貿易  
住民  
漢族  
蒙古族

の滿洲族は百八十萬と稱せられ、東部に多く、漢族は主要民族で九割を占め、現在尙毎年の移住者は四十萬に及ぶ。農業・商業に従事し、主に儒教・道教を信じてゐる。蒙古族は約七十萬を數へ、西部山地



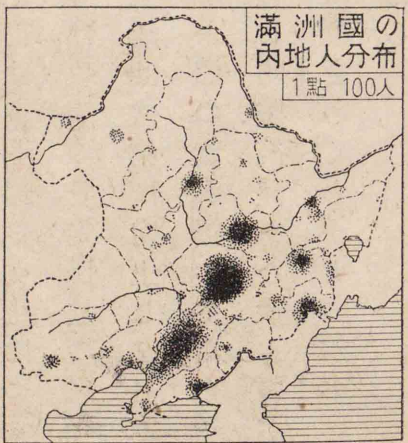
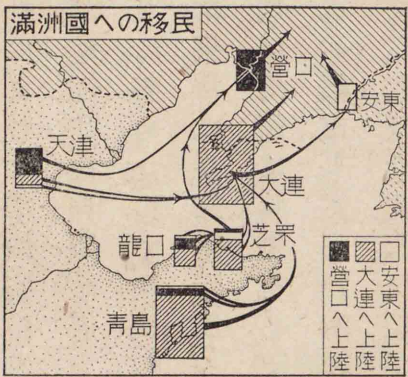
滿洲國の人口密度

日鮮族



鮮農の部落

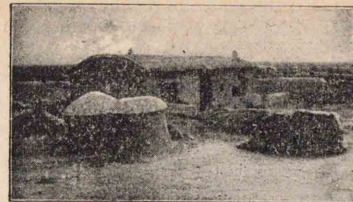
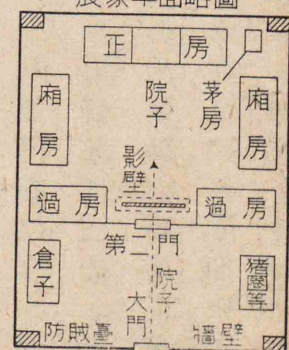
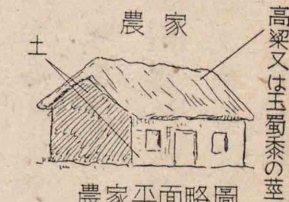
呼倫貝爾盆地に於て牧畜を營み、喇嘛教を信ずる。日鮮族中、半島からの移民は約百萬と



稱せられ、間島を主とし、國內各地に在つて農業に従事し、水田の開拓者である。内地人は從來、鐵道沿線に多かつたが、滿洲建國後は移住者相踵ぎ、今や事變前に二倍し、七十萬人に達した。滿洲國內には廣い未耕地が残存し、到處内地人の居住に適するので、我が國は二十年間に百萬戸、五百萬人の内地人を移住せしめる計畫を實施して



る。 滿洲建國以來昭和十四年までの移民は、既に六萬餘に達する。 これ等の移民は、將來は同國文化の指導的役割をなすべきもので、近時これに伴ひ、

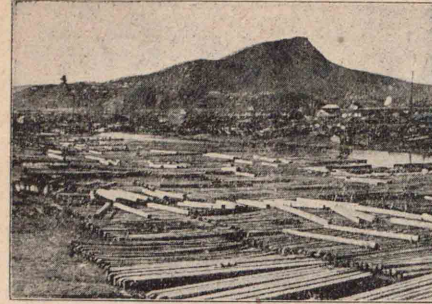


蒙古人の農家

婦女子の移住する者も次第に増加して來た。 我が國は曾て南滿洲鐵道株式會社によつて學校、病院等を設け、滿洲國の文化につくして來たが、建國後は同國政府を援け、政情の安定、民族の融和、教育の普及に努めたので、國民の生活は次第に向上し、又日本語普及の結果特に日滿兩國國民一心一體の實が揚つて來た。 滿洲の住家は周圍に牆壁をめぐらし、防賊裝置をなすものも多く、また古い都市も支那特有の城壁をめぐらすものが多い。 一般に人文景觀は北支那に似てゐる。

政治

處誌  
安東省



安東の木材集散

アジア 東部アジア

政治 君主國で、皇帝は立法、司法、行政を統べ、陸海軍を統率する。 皇帝の諮詢機關には參議府があり、中央政府は四院、九部より成る。 また官民合同の協和會があつて、民族の融和、政治の改善向上を計つてゐる。 地方は十八省に分れ、その下に縣市旗がある。 我が國は昭和七年九月滿洲國を承認して、大使を交換した。 その後獨伊を始めこれを承認するもの七箇國に及び、今や近代國家としてその將來を期待されてゐる。



處誌 安東省は朝鮮に接し、中心の安東市は安奉線の起



點をなし、開港場で、又製材、製紙等が榮えてゐる。南方の大東溝は鴨綠江の河口に位し、木材の集散地である。

通化省は東邊道とも稱し、森林が多く、近時石炭、鐵等の豊富な鑛物資源が発見せられた。通化はこの地の中心である。

間島省は豆滿江流域で、半島人の移住につれ、米その他の農耕が盛である。圖們は琿春と共に國境の要地で、龍井、延吉(局子街)は盆地の中心である。

牡丹江省はソ聯に隣接し、中心牡丹江市は交通の要衝にあたり、木材を集散する。

東安省の虎林線の沿線には、我が集團移民が多い。

三江省は松下江下流及び黒龍江・ウスリ江合流地に互る低地を占めて、國防上重要

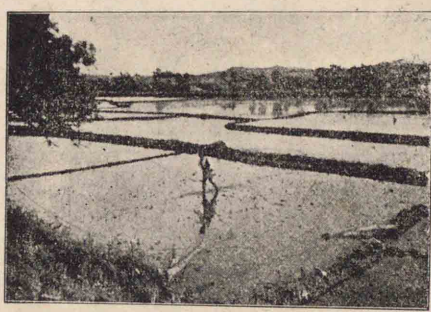
通化省

間島省

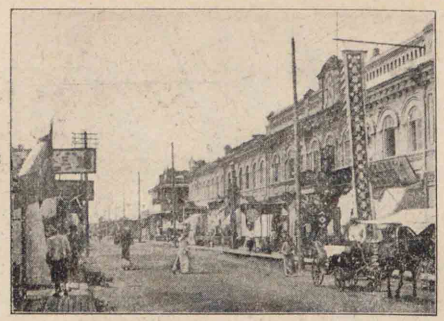
牡丹江省

東安省

三江省



半島人の水田開拓



黒河の市街

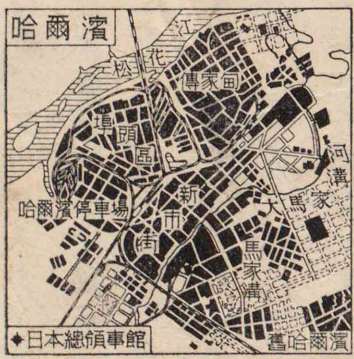
な地方である。その上地味が肥沃で農業の適地が廣いから、本邦移民の開拓地が多く、その中心佳木斯市は松花江に臨む河港である。依蘭(三姓)は農産物及び木材、毛皮を集散する。

黒河省は黒龍江の流域で、砂金を産し、國防上重要な地域をなし、黒河は琿春と共に國境の要地である。

北安省は滿洲平野の北端に當り、肥沃な耕地が廣く、我が移民地が多い。中心地の北安は農産、交通の中心である。

龍江省は北滿の主要部で、農牧業が行はれ、齊々哈爾市は昂々溪と共に交通の要衝に當り、南部の洮南は牧畜の中心である。

濱江省は北滿の要部を占め、農産が豊である。

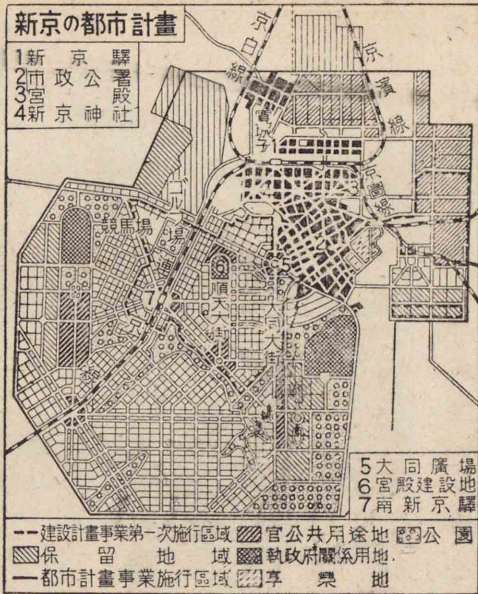


◆日本總領事館



吉林省  
新市特別

る。哈爾濱市は北滿に於ける政治經濟の中心で、ロシア人が多く、その市街はロシア式である。松河江に臨み、水陸交通の要衝にあたり、大豆、小麥の取引や、製粉、醸造、搾油等の工業に榮えてゐる。吉林省は滿洲平野の中央を占め、農業が盛である。吉林市は松花江に臨む河港で、木材の集散製材が行はれる。

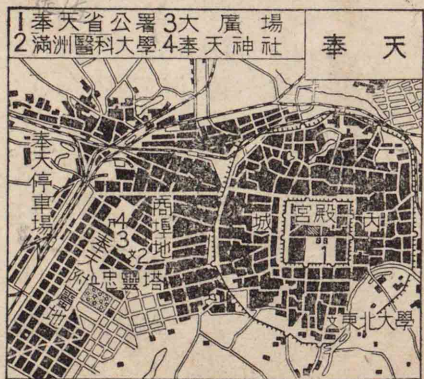


新市は滿洲國のほぼ中央を占め、首府として建國後、大規模な都市計畫を施された近代都市で、中央政府に屬する特別市である。連京線の終點に當り、濱京京圖線等が集中する交通上の要地で、大豆、高粱粟等を集散し、又製紙製粉が行はれ、我が關東軍司令部、大使館等がある。奉天省は早くから開け、人口が最も稠密

奉天省

錦州省

て南滿洲の主要生産地をなし、鑛産に於ては滿洲國の首位を占める。奉天市は交通商業の中心をなし、搾油、製粉、製糖、醸造等の工業が行はれ、鐵嶺、開原と共に農産物の集散地である。撫順市、鞍山市は鑛山都市として名高く、また工業に榮える。鐵鑛産地の本溪湖市は製鐵業が盛である。遼陽市



アジア洲 東部アジア

錦州市街景觀

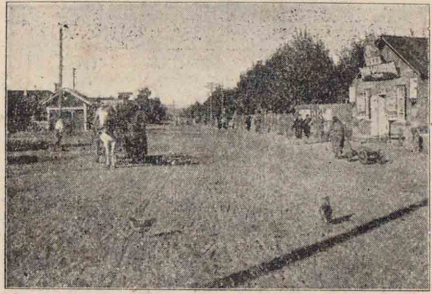
は滿洲最古の都市で史蹟に富む。營口市は遼河河口の商港で、大豆、柞蠶絲を集散し、工業が行はれる。四平街、遼源は農産の集散地である。錦州省は北支那に接し、阜新、北票等の炭田が多い。錦州市は交通都市で、南方の壺盧



熱河省

島は、西部山麓地方の門戸である。  
熱河省は支那本部、内蒙古に接し、蒙古人が多く、牧畜が行はれる。  
承德(熱河)は京承線によつて北京に通じ、又灤河によつて渤海灣に  
通ずる交通の要衝で、北方の赤峰と共に羊毛、毛皮を集散し、内蒙に  
入る門戸である。

興安四省



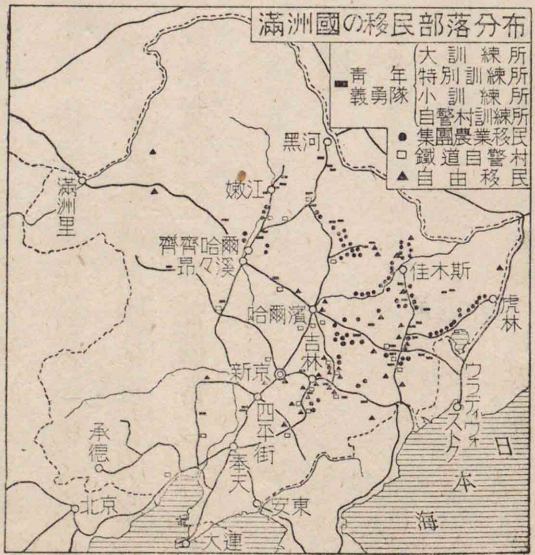
滿洲里市街

興安四省は未開地が多く、蒙古人によつて牛羊馬等の放牧が行は  
れる。海拉爾は北省の中心をなし、外蒙と  
の取引に榮え、國境に近い滿洲里市はシベ  
リアと貿易が行はれる。  
滿洲國と日本 滿洲國は我が國の援助指  
導により健全な發達を遂げつゝあるもの  
で、我が國とは密接不可分の關係にある。  
即ち

滿洲國と日本

移民

(一) 移民 滿洲國は肥沃な未耕  
地が多く、しかも風土は本邦移  
民の居住地としては最も適し、  
滿洲國もこれを歓迎し、本邦人  
による開拓を期待してゐる。  
されば我が國はこの國の建國  
以來、五百萬人移住を目指す計  
畫を建て、これによつて我が國  
の人口問題を解決すると共に、  
滿洲國の資源文化の開發を計つてゐる。



經濟提携

(二) 經濟提携 滿洲國には豊富なる資源があるが、資本技術が不足  
て十分に利用されなかつた。建國後、日滿協約によつて本邦人は  
自由に居住し、また既に三十億圓以上の資本を投じ、これが開發を



共同防衛

計つて来た。その結果、滿洲國の産業は振興し、兩國の貿易は頓に増加し、以て共存共榮の實をあげてゐる。

(三) 共同防衛 以上の如く日滿兩國は經濟上頗る密接な關係にあるので、兩國は防守同盟を結んでゐる。我が國は關東軍司令官を特派し、特命全權大使を兼ねしめ、我が滿洲派遣軍の統率と、外交とを司らしめてゐる。滿洲國軍は皇軍指導の下に漸次強化せられ、皇軍と共に治安防備に努めてゐる。かくて滿洲國は近代國家の形態を整へ、我が新東亞建設の大理想實現の一部を擔當して、重要な役割を果してゐる。

第二節 支那(中華民國)

次〇萬方  
 畧一七〇萬人  
 概説

概説 支那はアジアの東部より中央部に亘り、大陸の約四分の一を占め、その面積、人口は共にヨーロッパに匹敵する。そして天産資源に恵まれてゐるにも拘らず、民族が不統一のため、開發が後れて國勢が揚らず、歐

支那本部  
 四〇〇萬方  
 畧一三〇〇萬人

地勢  
 西部高地

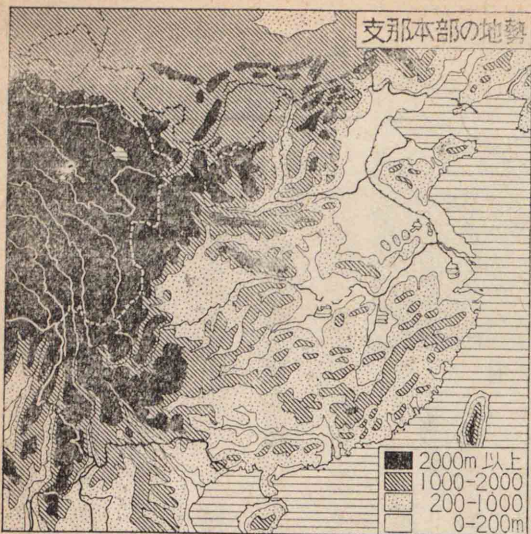
米諸國に壓迫されながらも却つてこれに依存する情態であつた。然るに今回支那事變が起るに及び、新國民政府が生れ、今や日支提携による新支那の建設を見んとしてゐる。

支那は、支那本部と蒙古聯合、外蒙古、新疆省、青海省、西

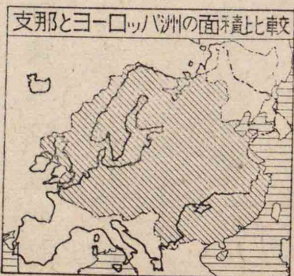
藏とから成り、各政治組織は異つてゐる。

一、支那本部

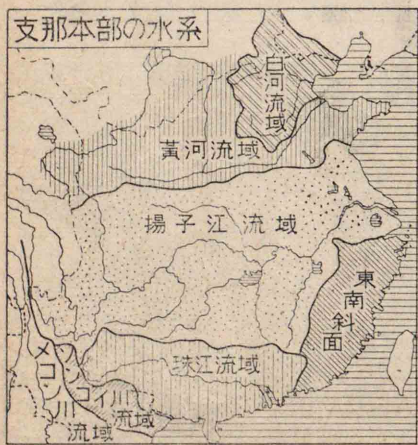
地勢 西部は一帯の高地で、北部の太行山脈及びその西方の黄土高原より南部の雲貴高原に



アジア 東部アジア



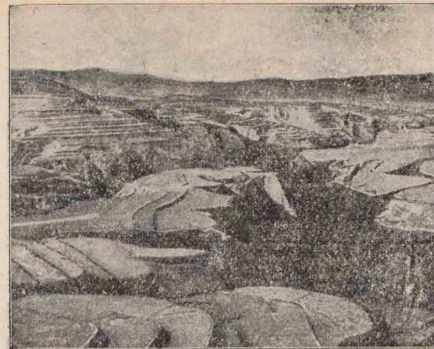
支那とヨーロッパの面積比較



支那本部の水系



渭水盆地 四川盆地  
北支那平野 黄河白河  
中支那平野 揚子江

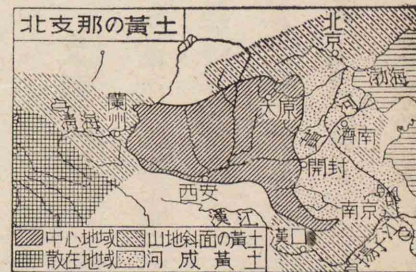


黄土層

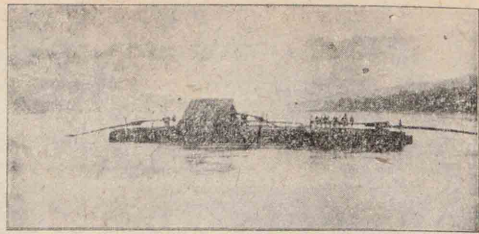
分たれる。

三大地域に

達し、その間に肥沃なる渭水盆地、四川盆地等がある。東部は低地をなし、崑崙山脈から續いてある南嶺、北嶺によつて北支那、中支那、南支那の



北支那平野は、黄河、白河の流域である。黄河は青海省に發し、長さ四千軒黄土層を侵蝕して之を下流に堆積し、古來屢、氾濫して河道を變じた。揚子江は崑崙山脈に發し、四川盆地、洞庭湖、鄱陽湖の水を入れて下流に



南支那平野 珠江 海岸 氣候

揚子江の筏

江浙平野を開いてゐる。延長五千軒、水量が豊富で、水深も五十米に達する所があり、灌溉、舟運の便が頗るよく、沿岸には數多の開港場が發達してゐる。灌漑は支那本部の四割に當り、我が國の二倍半に達する廣大なる面積を占める。

南支那平野は主として珠江の流域である。海岸は北部に山東半島が突出し、遼東半島と共に渤海灣を抱き、附近に砂濱が發達してゐる。南部海岸は屈曲に富み、その南に雷州半島が突出し、これに近く海南島が横たはつてゐる。

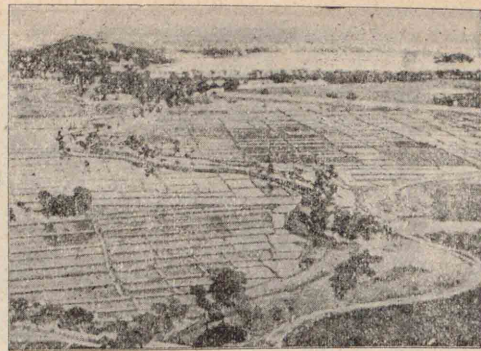
氣候 温帯に位し、季節風帯に屬してゐるので、夏は南東風が卓越し、沿岸は一般に雨が多いが、冬は北西風となつて、著しく乾燥する。その中、

アジア 東部アジア





製鹽業  
綿工業



北平附近の水田

名高く、我が國へも輸出される。この外、山東半島には柞蠶や牛の産が多く、又天津、青島では支那棉を原料とする綿工業が盛である。

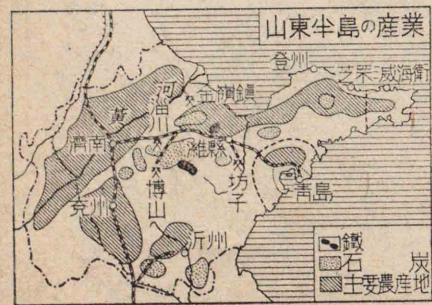
アジア洲 東部アジア



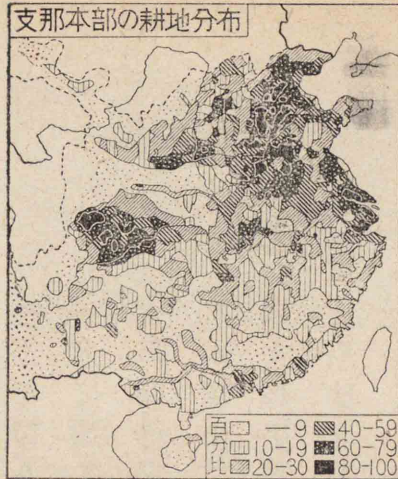
一輪車による棉花搬出



長蘆鹽



山東半島の産業



支那本部の耕地分布

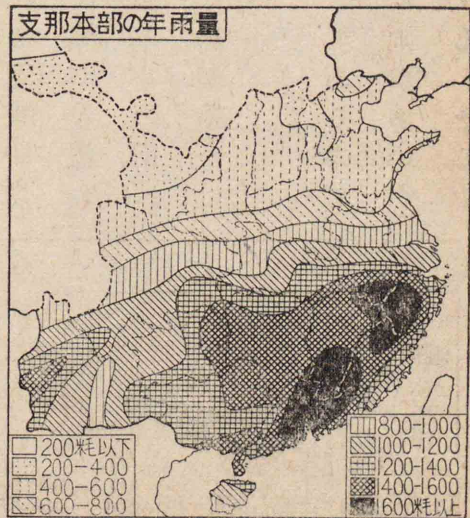
1-9%	40-59%
10-19%	60-79%
20-30%	80-100%

北支那  
産業  
農業  
鑛業

北支那は山東半島によつて南東風を遮るため、夏季雨量が少く、支那は適度に降り、南支那は亞熱帶性氣候で、高温多雨である。産業 支那は領土が廣く、地勢氣候が複雑なので、産業も處によつて差異がある。

北支那 黃土地

域は土地が肥え農耕に適し、夙くから開拓が進んでゐる。一般に雨量が少いので、水田は未だ少く、小麥・大豆・高粱・玉蜀黍・落花生等を産し、又夏季の高温と灌溉によつて棉が栽培される。山地は石炭・鐵等の埋藏が多いが、未だ十分に發掘されてゐない。

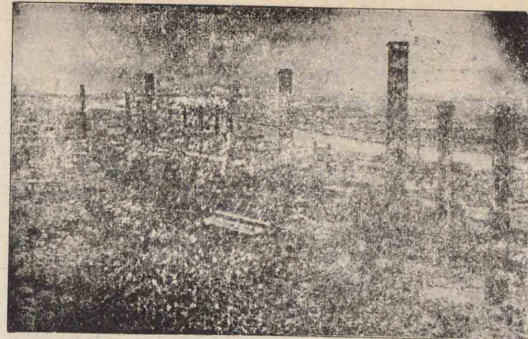
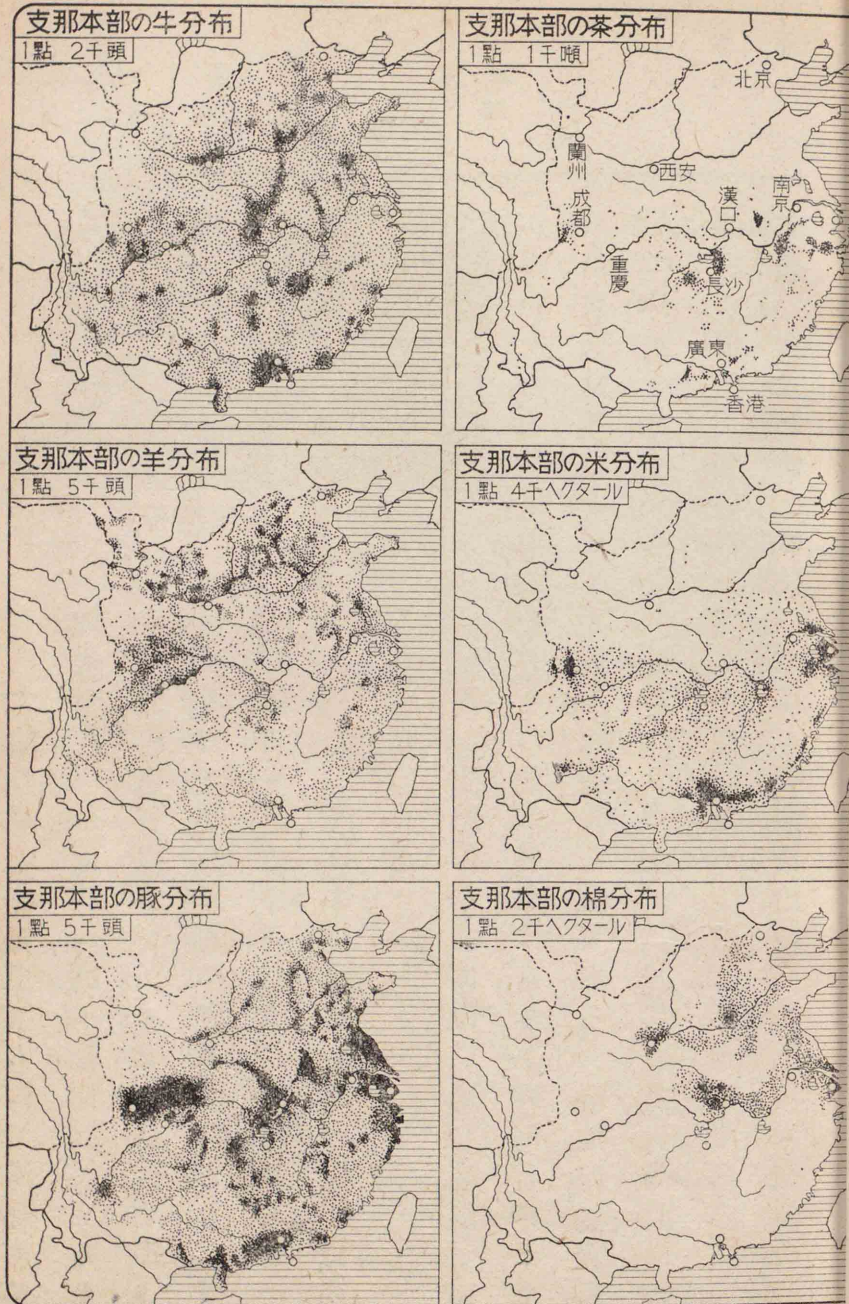


支那本部の年雨量

200mm以下	800-1000mm
200-400mm	1000-1200mm
400-600mm	200-400mm
600-800mm	400-600mm
	600mm以上

アジア洲 東部アジア





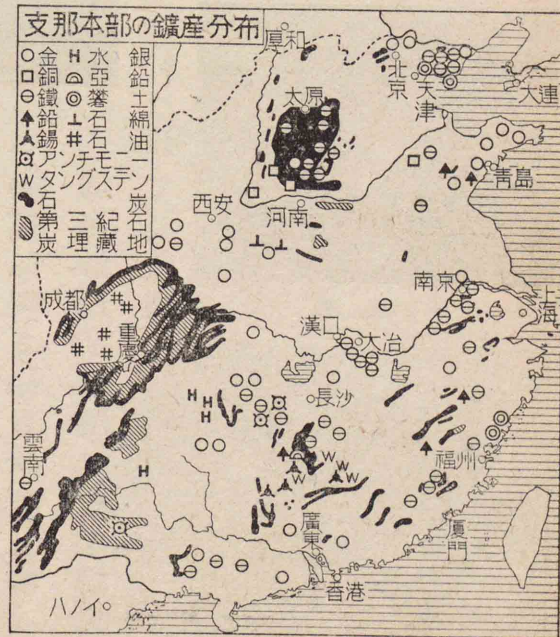
漢陽製鐵所の景観

中支那 農業 鑛業

アジア 東部アジア

中支那 揚子江流域で氣温が高く、雨量も多いので、水田がよく開け、米産が豊である。また

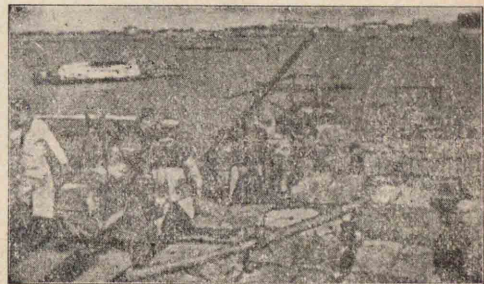
茶・棉・苧麻・落花生の産が多く、養蠶も行はれ、古來「湖廣熟すれば天下足る」江浙稔らば天下飢ゑず」と稱せられてゐる。耕作には家畜を利用し、又鶏豚も多く飼養されてゐる。揚子江沿岸は鑛産が多く、鐵は大冶・桃冲等で採掘され、萍郷の石炭と共に搬出に便利なのが特色であ





工業

南支那 農業



上海の工業地帯に陸揚げされた棉花

る。大冶の鐵は、萍郷炭によつて漢陽で製鍊せられ、一部は我が國へ輸出されてゐる。その他湖南省のアンチモニー、江西省のタングステンは世界的に有名である。工業は、製絲製茶絹織等一般に在來の手工業であるが、上海漢口等には紡績その他の近代工業が勃興した。

南支那

亞熱帶季節風帶に屬し、高温で雨

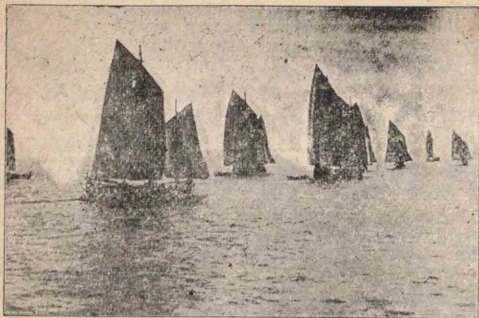
鑛産

交通

が多いため、山地は樟肉桂竹その他の林産に富み、平野河谷には甘蔗・米・茶・果實等が作られ、養蠶養豚養鶏も盛である。耕地の割合に人口が多く、海外に移住する者が少くない。西部の雲貴高原は、銅錫等の鑛産が多いが、交通が不便なため開發は不十分である。

交通 廣大な領土の統一上にも、資源自給の必要上にも、交通の發

南船北馬 鐵道

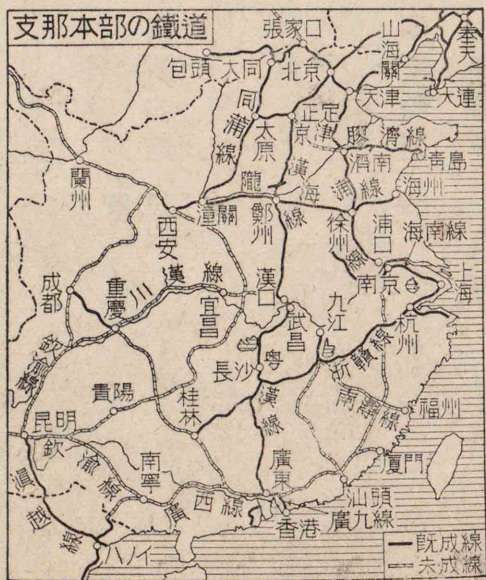


揚子江のジャンク

達が望まれてゐるに拘らず、極めて不備である。



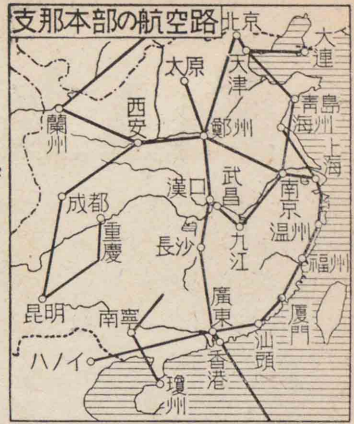
一輪車



支那本部の鐵道

古來南船・北馬と稱せられるやうに、水路の多い中支那・南支那には船が用ひられ、北支那では馬・驢・駱駝等の駄獸が利用せられ、處により一輪車・轎等の特殊なものが用ひられてゐる。鐵道船舶航空機等の近代交通機關は、外國資本によるものが多い。鐵道は主として東部低地に發達してゐる。京漢・粵





海運  
内陸水路

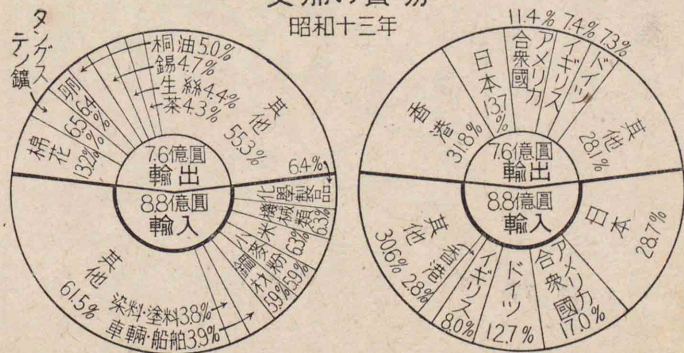
航空

無線電信

漢津浦海南南潯等の諸線は、南北に通じ、京山隴海浙贛等の諸線は略東西に走つて、海岸と奥地とを連絡してゐる。別にフランス經營の滇越鐵道がある。海運は我が東亞汽船・日清汽船・日本郵船等の諸會社及び英・米等外國船によるものが多い。揚子江は重要な内陸水路で、諸外國の航路に開放され、二千五百軒の上流重慶まで溯航が出来る。航空事業は外資により、近年著しく發達した。殊に最近、日支合辦による惠通航空公司は、日滿支の連絡に重要な役割を果してゐる。

無線電信

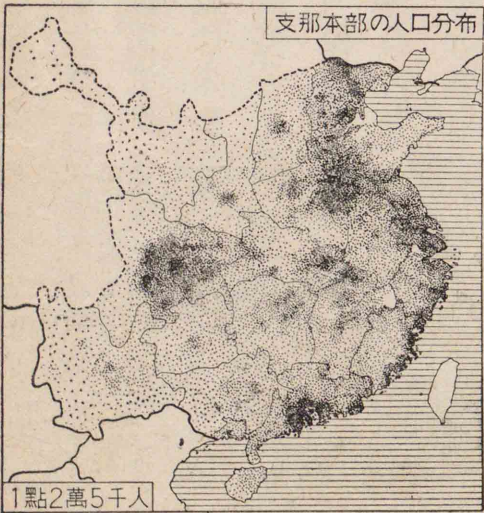
支那の貿易 昭和十三年



商業

備も各處に設けられてゐる。

商業 支那は面積・人口が老大で大資源を擁し、商業は發達すべき筈であるが、交通の不便、貨幣制度の不統一等はそれを妨げてゐる。貿易は、上海が全貿易高の半を占め、天津・廣東・青島・漢口等がこれに次ぐ。主に我が國及び米・英・獨との間に行はれ、輸出は棉花・タンゲステン・雞卵・桐油・錫・生絲・茶等が多く、輸入は化學製品・機械器具・米・小麦粉・鋼材・車輛・船舶が大部分を占め、年々著しい輸入超過をつけてゐる。近年産業の開發、戦後の復興等に要する資材を多く我れに仰いでゐる。

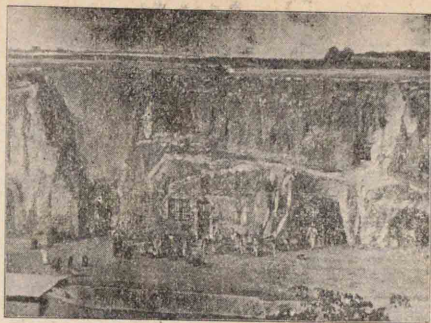


住民  
人口

アジア 東部アジア



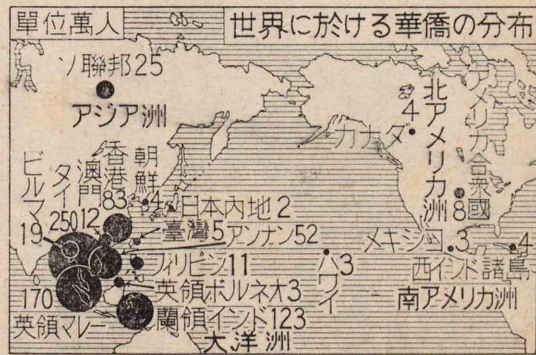
華僑  
漢族



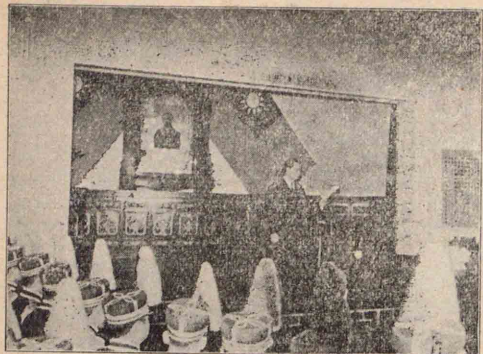
黄土層の穴居生活

その密度は河北・山東・河南・江蘇・浙江等の各省が特に大である。毎年的人口増加が三百萬人の多數に上るので、海外に移住する者が多く、これを華僑と稱し、その数は今や八百萬に及んでゐる。彼等は頑健でよく寒暑に耐へ、移民先に於ては政治的勢力を有しないのに拘らず、世界到處に發展し、毎年莫大な進金をしてゐる。

住民は南西部に居住する少數の苗族の外は、概ね漢族である。漢族は利己主義で經濟に長じ、獨立心が鞏固であり、又極めて保守的であるため、古い民族性を維持してゐる。婦人の纏足や、阿片吸引等の弊風は近時



政治

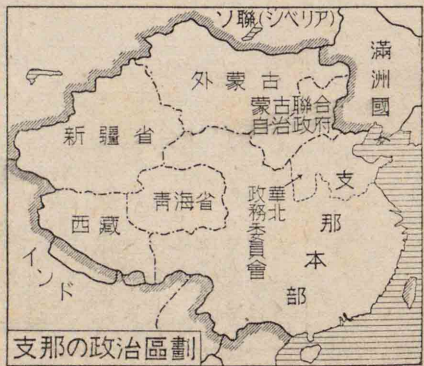


新國民政府の成立

漸く改まつた。宗教は古來儒教道教が行はれてゐる。言語宗教風俗の不統一は、著しく國家の發達を妨げてゐる。

政治 古來民族の争闘が烈しく、革命相踵ぎ、幾多の國家が興亡した。清朝の衰退に

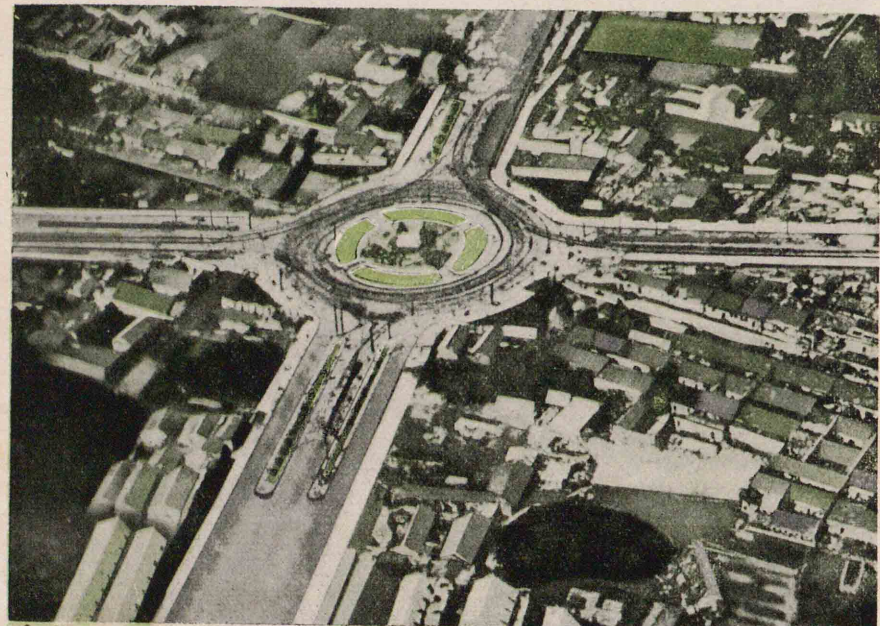
乘じ歐米諸國は支那に進出し、恰も支那を自國植民地の如く振舞つて來た。昭和三年、國民政府が聯ソ容共政策をとり、全支那を統一した後も、依然歐米に依存し、抗日政策を行つた結果、昭和十二年七月支那事變を惹起するに至つた。抗戰三年有餘、支那本部の主要部は皇軍に占領せられ、こゝに親日防共を標榜する新國民政府が確立して、蔣政權は一地方政權と化し、今は共産軍との







北支の政治中心地 北京



新國民政府の首府 南京の中樞部(中山路)

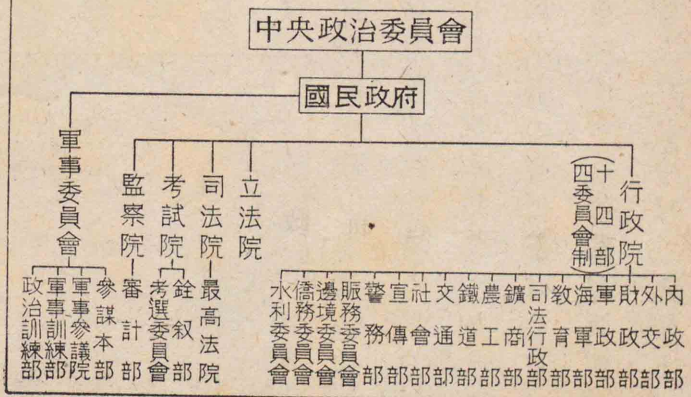
處誌  
北支那

内紛や、物資不足に悩まされ、没落の一途を辿つてゐる。新國民政府は五院十四部より成り、更に北支那の重要性に鑑み、北京に華北政務委員會が設けられてゐる。

處誌 北支那 曾ては支那文化の發祥地となり、四千年の歴史を飾つた地方で、今では防共上極めて重要な位置を占め、高度の自治を許されてゐる。農産、鑛産、水産、鹽等の資源に富んでゐるが、開拓が十分でなかつたから、支那事變以來、我が國は北支那開發會社を創設し、日支提携してその開拓を圖つてゐる。

アジア 東部アジア

中華民國新政府組織一覽





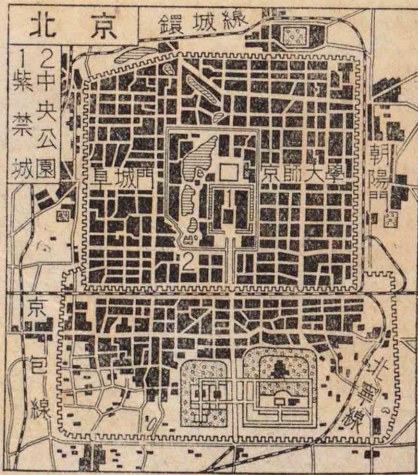


山東省

アジア洲 東部アジア

山東省は開拓が進み、河北省と共に人口が稠密なので、満洲に移住する者が多い。青島はこの地方の門戸に當り、綿工業を初め邦人經營の工場が多く、農産物・牛・鶏卵・鹽等

河北省は滿洲國蒙古に接し、重要な位置を占めてゐる。北京は、元清の舊都で、城郭を繞らし、滿蒙に通ずる交通の要地である。内城には宮殿官衙が多く、外城には商業が行はれ、北支那の政治・經濟の中心である。

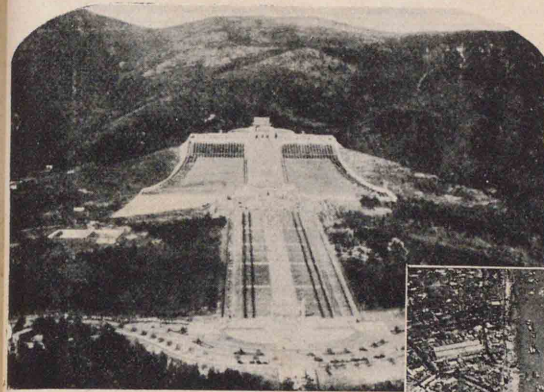


河北省

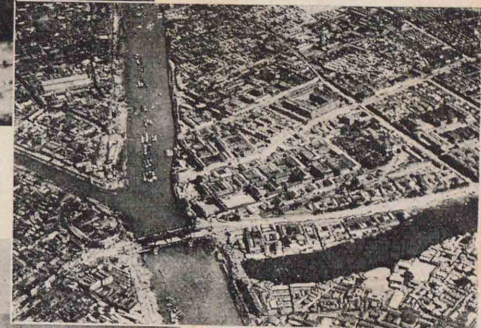
山海關

第一の貿易港で、邦人經營の紡績業が發達した。塘沽・大沽はその外港である。秦皇島は不凍港で、開瀾炭を輸出し、山海關は萬里の長城の起點をなし、國境の要地である。

南京の中山陵



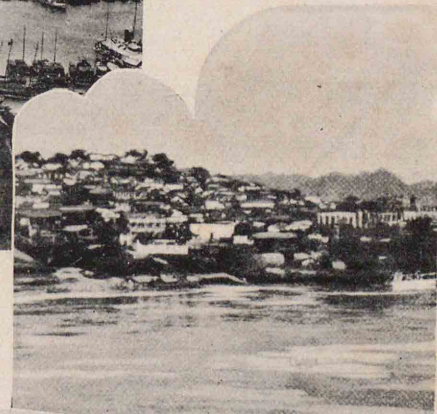
天津の日本租界  
(橋は萬國橋)



漢口



重慶

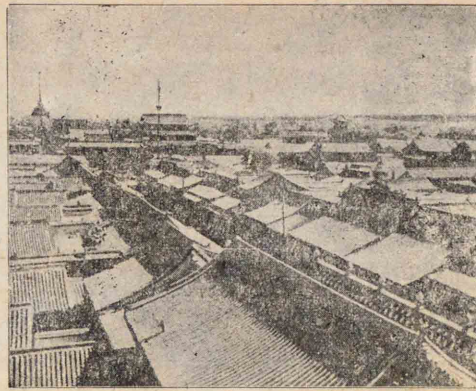


青島





山西省  
河南省  
陝西省



太原の市街景観

泰山と孔子廟に知られた曲阜とがある。山西省は鐵・石炭の埋藏に富み、太原はその中心である。河南省は黃河南岸の廣大な地域を占めてよく開拓され、人口も稠密である。開封は古都として名高く、西方の河南は古の洛陽で史蹟が多い。陝西省の渭水盆地は、麥類の産が多く、中心の西安は古の長安で、咸陽と共に舊都として名高く、漢中（五）は四川盆地に通ずる交通の要地である。



孔子の廟

アジア洲 東部アジア

を輸出し、我が國との取引が盛である。芝罘（一）は、半島東岸の開港で、絹・紬・柞蠶絲を産する。濟南は交通の要地で、棉花の大集散地をなし、その南方に、名高い

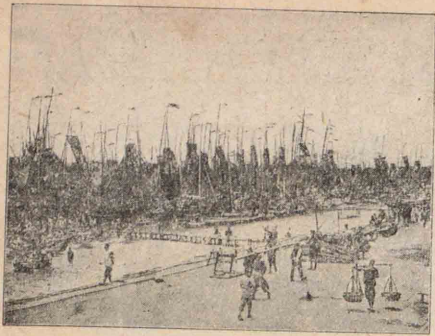
四四

甘肅省

に  
蘇

中支那

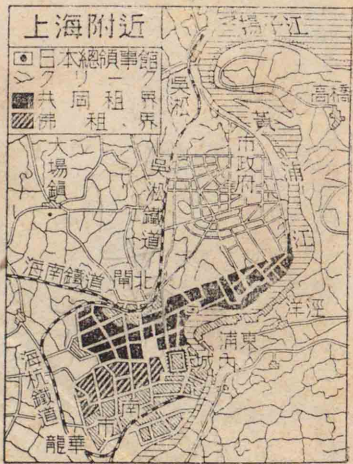
江蘇省



吳 淞 港

る。甘肅省は山地が多く、産業が振はなない。蘭州は新疆省、中央アジアに至る要地である。

中支那 支那第一の生産地で、平野はよく耕作せられ、揚子江の水運の便があり、開拓が進み、人口も多く、文化が発達してゐる。我が國は支那事變以來、中支那振興會社



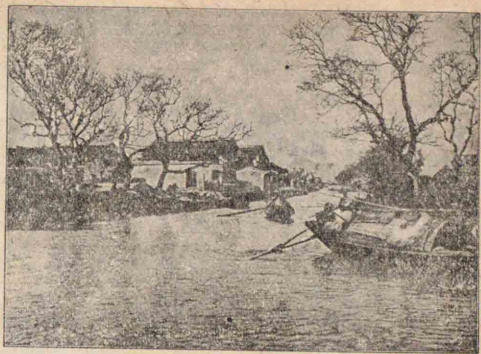
を設け、戦後の復興、産業の開発を圖つてゐる。

江蘇省は揚子江の下流に位し、米・棉花・茶等の農産に富み、人口が稠密で、大都會が多い。上海は、中支那を後背地として發達した世界的貿易港で、生絲、棉花、皮革、桐油等を輸出し、紡績製粉造船等の工業生産高は全國の半に達する。又揚子江舟運の起點に當り、東洋に於け

アジア洲 東部アジア

四五

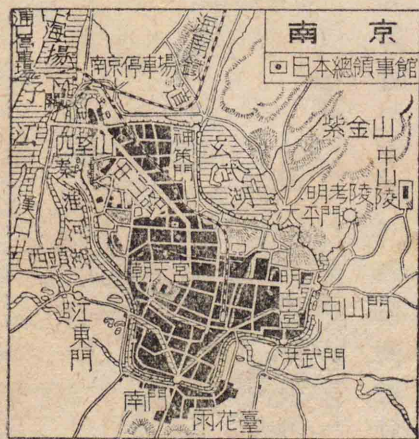




クリーク

浙江省は、浦口との間に連絡船を通ずる。北部の徐州、海州は交通上の要地で、海岸に連雲港がある。浙江省は物産が豊で、富裕な者が多く、杭州は大運河の起點をなし、西湖の風景を以て知られる。

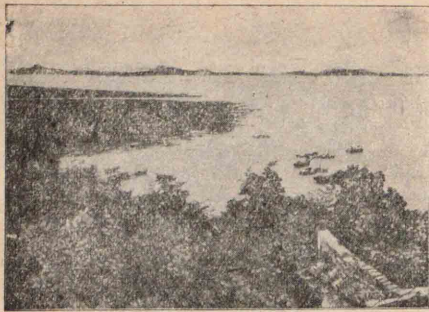
る海運の中心となつてゐる。黄浦江口の吳淞は上海の外港である。蘇州、無錫は生絲絹織を産し、附近には勝地が多い。附近は土地が頗る低平で、水路が縦横に通じ、交通灌漑に利用されてゐる。南京(江寧)は要害の地を占め、古來屢帝都となつた處で、郊外には史蹟が多く、最近新國民政府の首府として全支政治の中心となり、我が大使館も置かれた。下關はその外港で、對岸の



安徽省

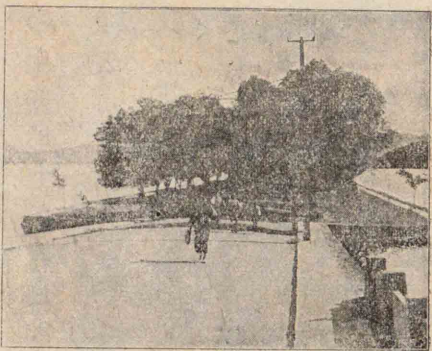
江西省

湖北省

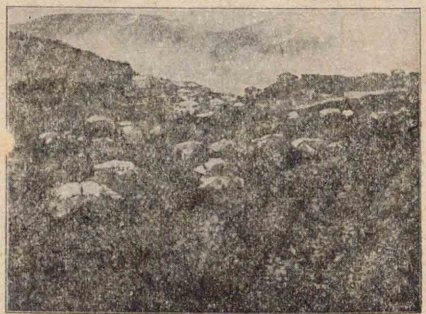


洞庭湖

安徽省は鐵山に富み、揚子江岸に蕪湖、安慶等の河港がある。鄱陽湖は江西省の北部にあつて、附近は豊沃な江西平野とな



西湖



廬山の外人別荘

り、その附近に茶産地の九江、避暑地の廬山、製陶地の景德鎮がある。南昌は水陸交通の要衝である。湖廣平野は、農工業が盛である。湖北省の漢口は中支那の中央を占め、水陸交通の要地となり、揚子江中流第一の貿易港で、茶、棉麻を輸出し、紡績製油が行はれる。對岸の武昌は紡績、漢陽は製鐵に榮え、漢口と共に武漢三鎮と稱せられる。



湖南省  
四川省

西康省

南支那

廣東省

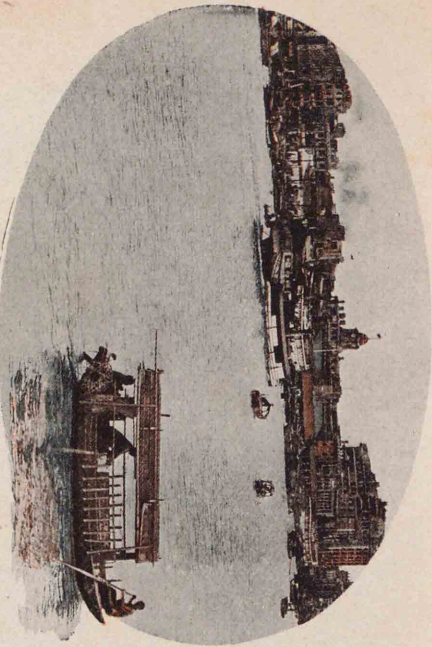
福建省  
廣西省  
貴州省  
雲南省

湖南省の洞庭湖は、風景が美はしく、長沙・沙市・宜昌は開港場である。四川盆地は天産豊にして人口も多く、優に一國の實力を有する。その中心重慶は河口より二千五百軒、揚子江最上流の開港場で、生絲・茶・桐油を集散し、成都は生絲・絹織を産する。西康省の康定(チベット)は西藏に入る門戸である。

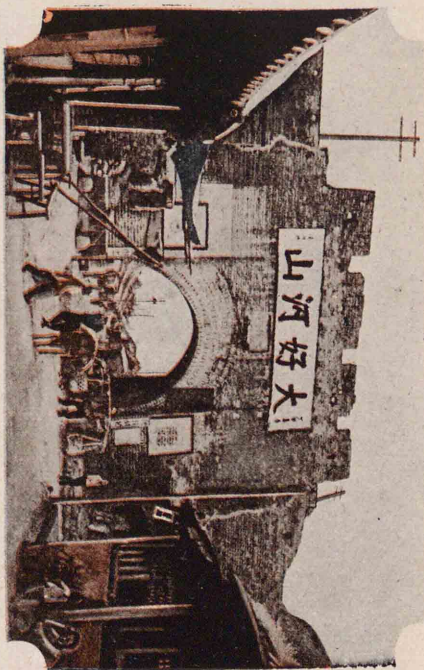
南支那

亞熱帯性の生産地で、農産・林産が豊である。

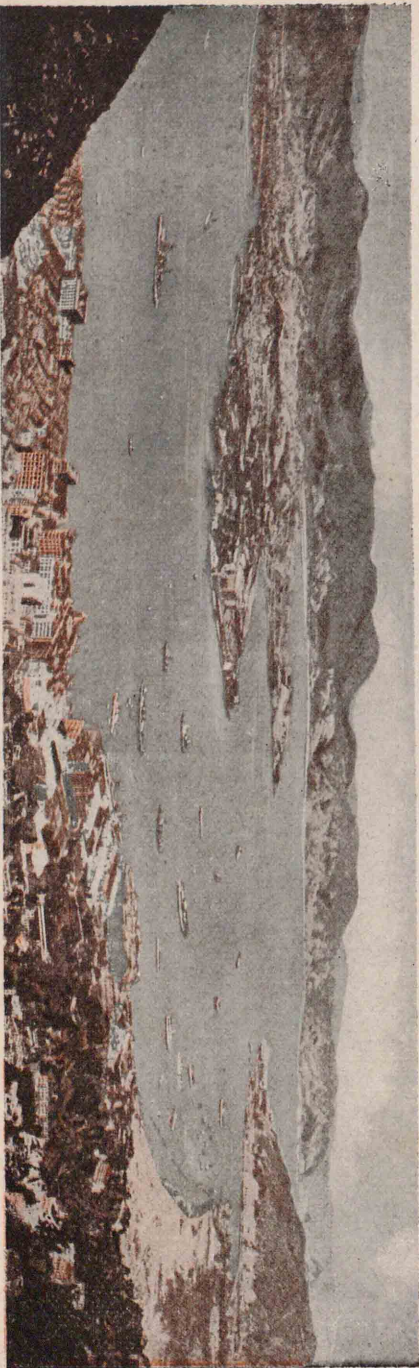
廣東省は南支那の主要部を占め、この地方第一の生産地である。廣東は、珠江下流の貿易港で、生絲・絹織物・花筵を輸出し、水陸の交通が便利なので、商工業が盛である。東部の汕頭、西部の北海は華僑の出入で賑ふ。福建省は臺灣の對岸で、我が國と關係が深く、福州(アモイ)は茶砂糖を集散し、臺灣との取引、華僑の出入で榮える。廣西省は珠江の流域で、桂林がその中心である。貴州省・雲南省は西部



南支第一の都 廣東



張家口(蒙古聯合自治政府の所在地)



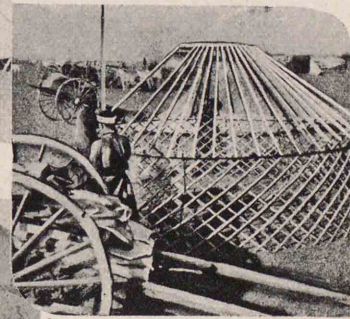
香港より九龍半島を望む (手前はヴィクトリア港市)



北京郊外の  
石景山製鍊所



包頭市街

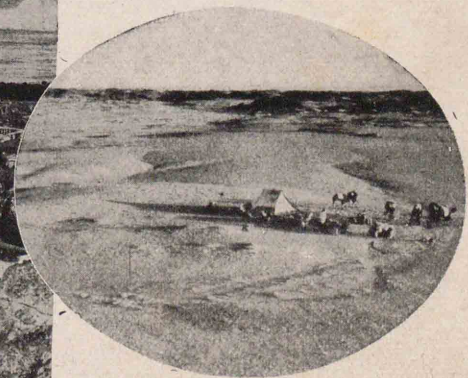


蒙古包の組立

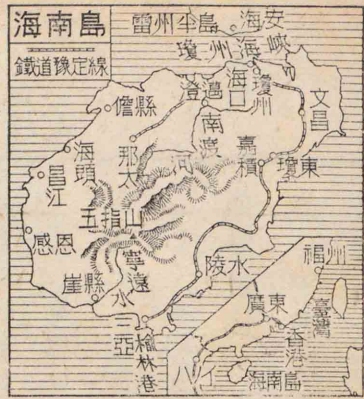
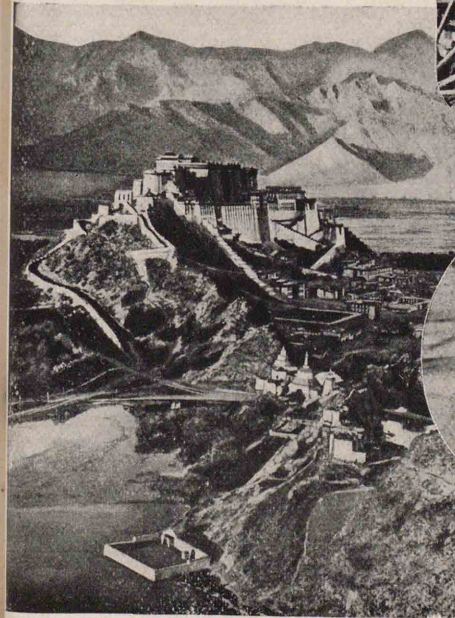
蒙古人と包



ラッサの達頼喇嘛宮殿



ゴビ沙漠

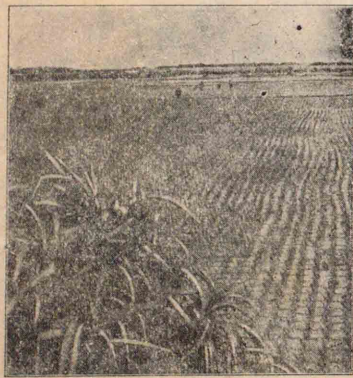


海南島  
四二萬方  
三〇萬人  
香港  
三  
一五萬人

の山地で未開地が廣く、貴陽・昆明(雲南)が各中心である。蒙自・騰越は佛領インド支那(ビルマ)に近い貿易市である。

海南島は廣東省の一部である。我が臺灣より稍、廣く、丘陵に富み、平地が廣い。氣候は熱帶性で、高温・多雨なため、甘蔗その他の熱帯生産に適し、又森林や鑛産に富み、將來の開拓が期待されてゐる。人口は三百萬餘漢族が多く、北岸の海口、南岸の榆林は良港で、同島の門戸をなしてゐる。

香港は廣東灣の一小島で、對岸の九龍と共にイギリス領である。港市をヴィクトリアと稱し、自由貿易港で、仲繼貿易が行はれ、イギリスの東洋に於ける軍事・經濟



海口附近の水田

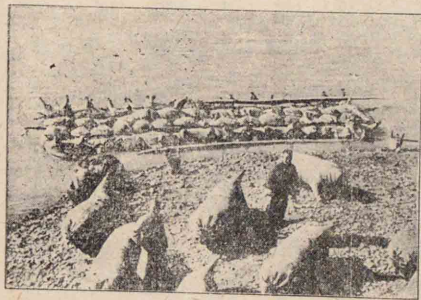






住民政治 住民は約三百萬人で、漢族が多く、蒙古族は僅かにその一割に過ぎない。昭和十二年支那事變の初期に當り、皇軍によつてこの地の治安が回復せられ、やがて昭和十四年九月、蒙人治蒙の標語のもとに張家口に蒙古聯合自治政府が樹立された。次いで新支那中央政權が成立するや、これに参加して高度の自治區域となり、皇軍援護の下に防共の前衛に任じてゐる。

處誌

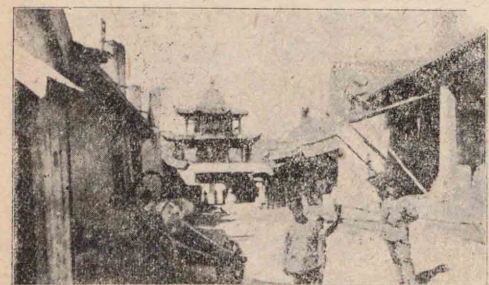


黄河の皮筏

處誌 張家は長城の一關門を占め、北京、外蒙に通ずる交通の要衝に當り、羊毛、毛皮の取引が行はれ、蒙古聯合自治政府の所在地である。北方の多倫諾爾は滿洲國と取引が行はれ、大同は、右佛で名高く、附近には大炭田がある。厚和(歸綏)は外蒙新疆に達する交通の要地に當り、西方の包頭は、黄河

に臨み、京包線の終點で水陸交通の要衝である。西方黄河の屈曲點一帶は、人工灌漑によつて沙漠を開き、農業が盛に行はれ、五原はその中心となつてゐる。

三、外蒙古



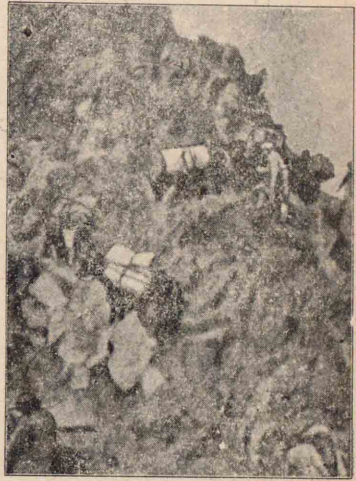
城 賣 買

外蒙古はゴビ沙漠の北部を占め、東は滿洲國に接する廣大な地域で、一帯に高原が連り、北するに従ひ、低下してソ聯領シベリアにつゞく。雨量は少く、草原沙漠の處が多い。人口は約七十六萬で、蒙古族が多く、羊、山羊を遊牧し、喇嘛教を信ずる。漢族は僅かに十六萬餘で、主に農耕に従事する。現在、ソ聯の援助を受けて獨立を宣言し、蒙古人民共和國と稱してゐる。政治、經濟はソ聯に倣ひ、同國と軍事同盟を締結し、恰もソ









商隊の牛

インド洋の水分を遮るので、域内は雨が少く、沙漠、草地、鹹湖が各地に點在してゐる。西藏族は、三百七十萬で、犛牛、羊の牧畜を營み、喇嘛教を信ずる。喇嘛教主達賴喇嘛は、薩拉<sup>ニ</sup>に在つて、政治宗教の實權

を握つてゐる。支那の領土ではあるが、その中心に遠く、且つ交通が不便なので、寧ろイギリスの勢力が大である。日本と支那 支那は我が國に最も近く、古より互に往來し、文化を同じうして、その關係は世界何れの國よりも密接である。我が國は、今次事變により在來の容共、抗日政權を打倒し、以て日支の善隣友好、共同防共、經濟提携の實現を圖り、既に親日防共政府が樹立され、また北支那開發、中支那振興の二國策會社も設けられ、戦後の復

興と、資源の開拓とは次第に實績を擧げてゐる。そのため、在留邦人は事變前に數倍し、支那の對日貿易は振興して第一位となつた。滿洲國に隣接する外蒙古は既に赤化した、内蒙はソ聯勢力の南進を阻止する重要な位置に位して、我が國と共に防共を努めてゐる。我等日本國民は、新興支那、滿洲國と共に、新東亞を建設し、アジア民族のアジアを確立することに邁進すべきである。

### 第三章 南部アジア

南部アジアは熱帯季節風帯に屬し、世界有數の大生産地である。インド支那半島、マレー諸島及びインドを含み、住民は多く文化に後れ、大部は歐米諸國の植民地となつてゐる。

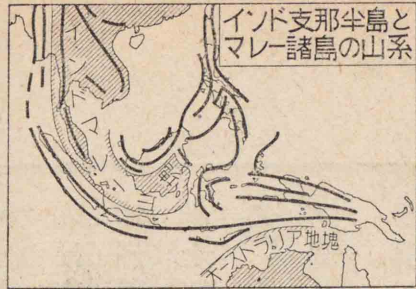
#### 第一節 インド支那半島 マレー諸島

概説 インド支那半島、マレー諸島は、アジア大陸と、オーストラリア大陸

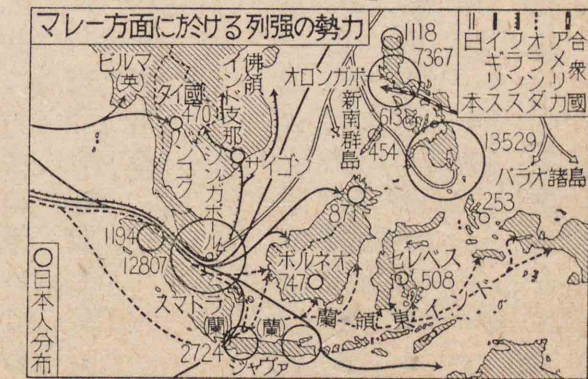
アジア 南部アジア



地勢氣候



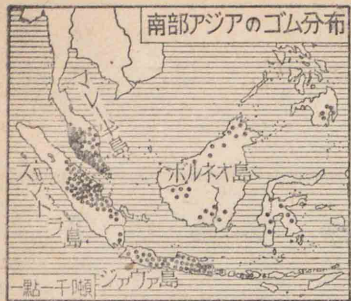
アジア 南部アジア  
との中間を占め、兩大陸をつなぐ陸橋の如き觀を呈し、又太平洋とインド洋とを分つてゐる。世界屈指の熱帯生産地で、豊富な資源と住民の消費力とは經濟的價値を大ならしめ、この地方は英佛蘭の植民地となり、更に日支兩國民も進出し、今や列國勢力の錯綜地域となつた。



地勢氣候 インド支那山脈は數列に分れて、マレー半島・スンダ列島に延び、日本から來た褶曲列はフィリピン・セレベスの諸島に及んでゐる。この列島には、火山脈を伴ひ、その外側には、世界最深海のあるフィリピン海溝や、スンダ海溝等の深海を繞らしてゐる。インド支那半島には、メコン・メナム等の大河が南流し、夫々

産業

農業  
林業



アジア 南部アジア

下流に肥沃な平野を造つてゐる。大部は熱帯季節風帯に屬し、夏は南西風が卓越し、驟雨が多く農業に適するが、冬は東北風が吹いて雨量が少く、乾期となる。東部には夏季に屢、颱風が襲ふ。産業 資源は豊富であるが、資本・勞力が不足なので、未開地が廣く、英・蘭・佛・米等の投資により、僅かに開發されてゐるに過ぎない。農業では米・玉蜀黍・甘藷・煙草等が、土着民によつて作られ、世界一の米の輸出地となつてゐる。白人の投資により、低廉な勞力を利用して農園が經營せられ、甘蔗・椰子・茶・珈琲・規那・ゴム・マニラ麻等を産出し、ゴムは世界の九割に及んでゐる。到る處に熱帯林が繁茂し、インド支



インド支那の米田景觀



鑛業

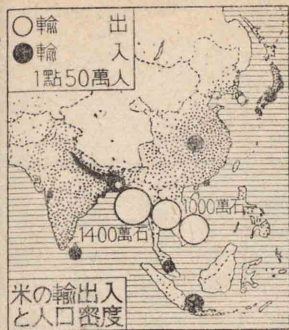
漁業

齒萬方籽  
二五萬人

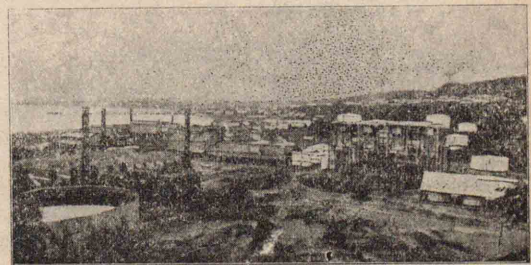
アジア洲 南部アジア

那半島のテイクや、フィリピン・ボルネオのラワン・  
籐等が著れてゐる。鑛産では、マレー半島と、こ  
れにつゞくバンカ・ビリトン兩島の錫は世界の  
過半を占め、スマトラ・ボルネオの石油、佛領イン  
ド支那の石炭、英領マレーの鐵等も知られる。  
漁業も盛で、鰹・鮪・鰺等の漁獲が多く、遠洋漁業  
には、邦人の活動する者が少くない。

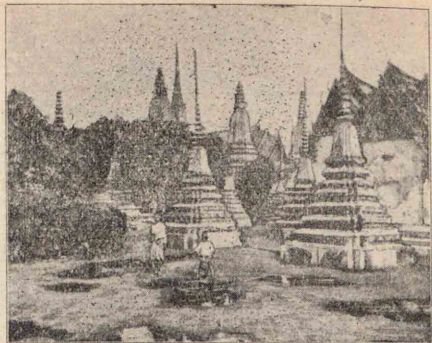
佛領インド支那 十九世紀の末にフランス領  
となつた。メコン川・ソンコイ川下流



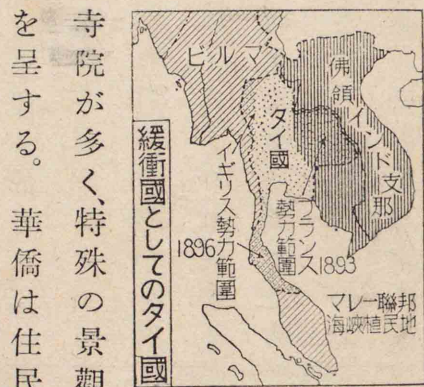
の平野は米を産し、ハイフォン・サイゴン(サイゴン米より輸  
出し、シロンは精米が盛である。これ等は主に華僑によ  
るものが多い。首府ハノイは、支那の昆明・龍州に鐵道を  
通ずる。



ボルネオの油口



タイ國の尖塔寺院



寺院が多く、特殊の景觀  
を呈する。華僑は住民

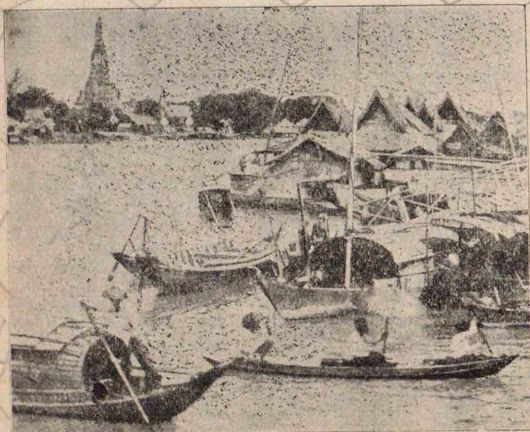
五萬方籽  
二七〇萬人

の五分の一を占め、經濟上の實權を  
握つてゐる。平野に米、半島部に錫  
北部山地にテイクを産し、首府バン  
コクはその集散地として榮え、パ  
ナムを外港とする。古來我が國と  
關係が深く、近年我が文化を輸入し、

アジア洲 南部アジア

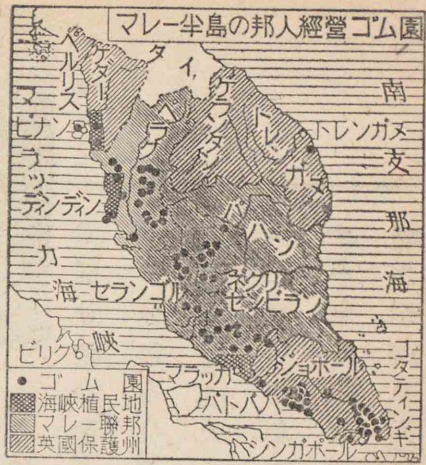
タイ國(シム) 英佛領土の間

に挟まれた立憲君主國であ  
る。住民はタイ族と稱し、佛  
教を深く信じ、各地に壯麗な



バンコク

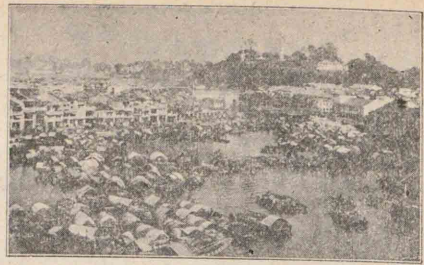
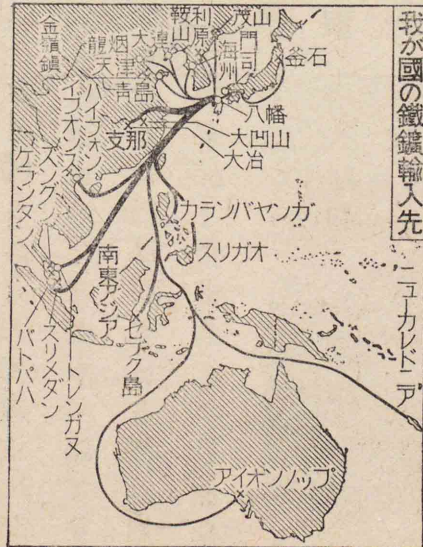




兩國間に定期航空が開かれるに至つた。  
 ビルマ 近年インドより分離して、イギリスの直轄植民地となつた。平野は米産地で、首府ラングーンはその輸出に榮え、山地はティーク材を出し、その他石油、寶石、錫等が多い。舊都マンダレーは内地に於ける商業、交通の中心で、支那との國境に鐵道が通じる。

ビルマ  
 六二萬方籽  
 一四七萬人  
 英領マレー半島  
 一四萬方籽  
 四九萬人

英領マレー半島 西岸はゴムの栽培に適し、世界需要の四割を出し、また椰子、パイナップルも栽培されてゐる。鑛産も多く、錫は世界第一の産額を有し、鐵は邦人によつて採掘せられ、殆ど我が國に供給する。



シンガポール

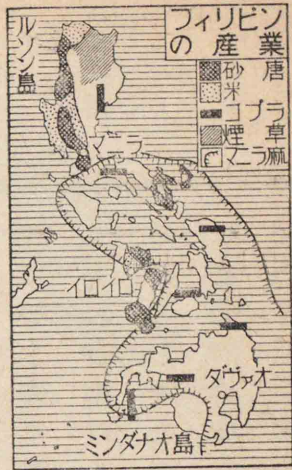
華僑は住民の四割を占め、盛に活動してゐる。シンガポールは、半島の南端にある小島に發達した港市で、東西交通の要衝に當り、仲繼貿易が盛に行はれ、イギリスの東洋に於ける海軍根據地である。またマラッカ、ピナンと共に我が商船の寄航地でもある。

蘭領東インド  
 一九〇萬方籽  
 六七〇萬人

蘭領東インド オランダ本國の六十倍に達する面積を有し、人口が稠密で、一方籽三百人を超え、資源が頗る豊富である。スマトラ島は、石油、錫、ゴム、煙草等を産し、未開地が廣い。ジャバ島は、早くより開拓せられ、耕地はその八割に達して、甘蔗、規那の世界的産地をなし、また米、茶、珈琲、椰子等の産も多い。バタヴィアは總督府の所在地で、スラバヤと共に貿易が榮え、我が國とも取引が行はれ、本國との間に航空路が開かれて





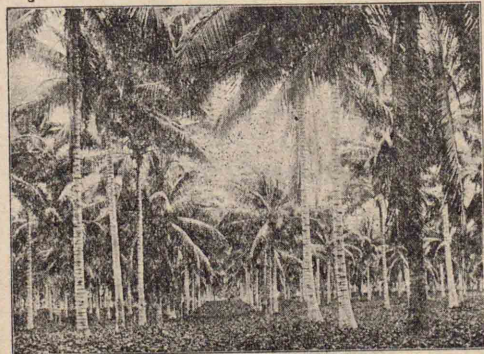


ある。山間の高原にあるバンドンは避暑地として著れてゐる。ボルネオ島は世界第三の大島で、蘭領はその大部を占め、木材、燕窩、椰子、ゴム、石油等を産する。北部はイギリス領で、ゴム、石油等を産し、北方のサンダ

カン附近に邦人のゴム園がある。

セレベス島は珈琲、香料を産する。モルッカ諸島は古來香料諸島と稱せられ、香料の産が多く、アンボイナはその輸出港である。

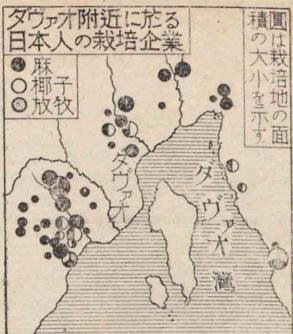
米領フィリピン 熱帯性氣候で、近海は颱風が発生し、屢、我が國や支那を襲ふ。甘蔗、煙草、椰子、マニラ麻等が栽培せられ、ダバオ附近には邦人約一萬四千人が活躍してゐる。



ダバオの日本人椰子園

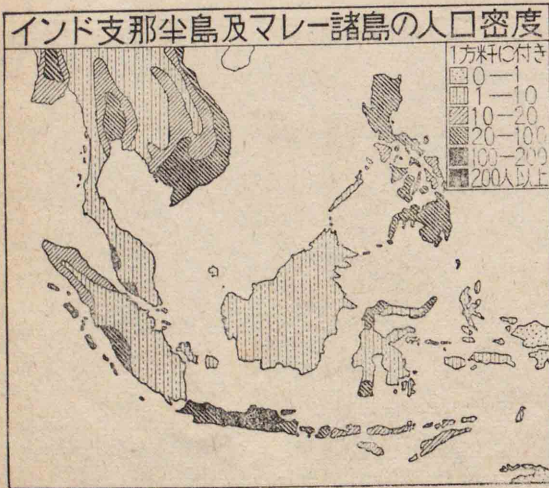
米領フィリピン  
三萬方軒  
一三〇萬人

住民政治



首府マニラは農産の輸出に榮え、カヴィテは米國東洋艦隊の根據地である。

住民政治 住民は一億二千萬に餘り、民族は複雑である。インド支那半島は、インド支那族のアンナン人・タイ人・ビルマ人等佛教徒が多く、マレー諸島は海岸島嶼住民で、回教を信じ、フィリピンは唯一のキリスト教國である。その他華僑六百二十萬、インド人七十萬等の移民があり、經濟的に重要な地位を占め、我が國の移民も亦各地で活躍してゐる。原住民は文化の程度が低く、多くは英、米、佛、蘭等の植民地として白人の支



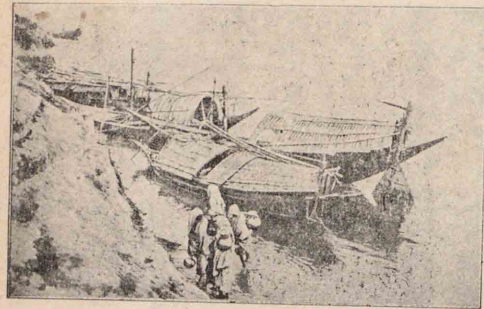






地勢  
北部山地

概説  
四〇〇萬方  
三〇〇〇萬人



ブラマプトラ河

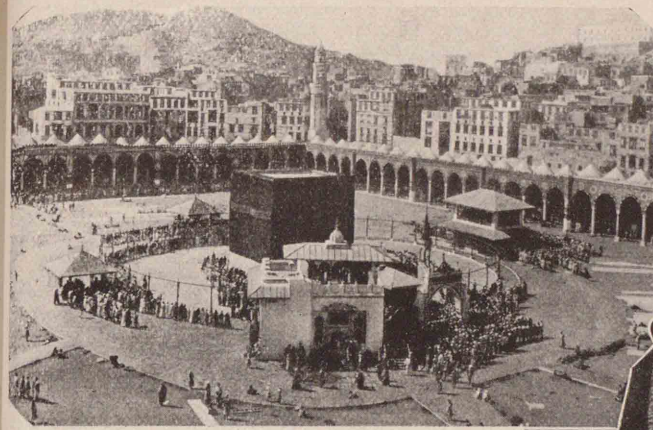
アジア洲 南亞アジア

地勢 北部には世界の最高峯エヴェレスト(八八二米)を戴くヒマラヤ山脈やカラコルム山脈等、高峻な山脈が連り、支那との間に著し

五千の活動も實に目覺しいものがある。又我が國はこの地方より、ゴム、砂糖、麻、木材、石油、鐵等を輸入し、我が織物類、石炭、雜貨等を輸出して、貿易高は七億三千萬圓(昭和十二年)に及び、我が汽船の寄航地も多く、經濟上頗る重要な關係を有してゐる。

### 第二節 インド

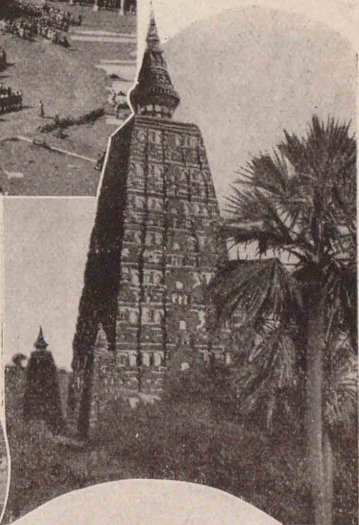
概説 インド洋に突出する三角形の大半島とその基脚部キキョウブとから成り、面積は我が國の約六倍に當る。大部は熱帶に屬し、世界的の豊饒地ホウジツチである。世界最古の文明が起り、熱帶中、人口の最も稠密な地方である。



メッカの回教靈場(カーバ)



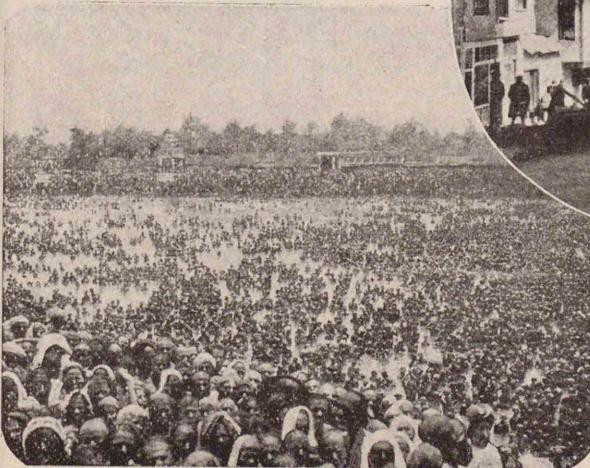
デリー市の鳥瞰



ブダガヤの大塔

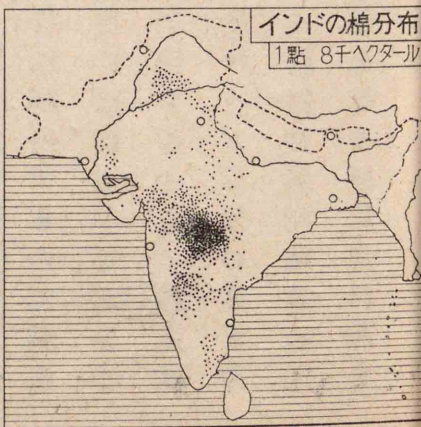
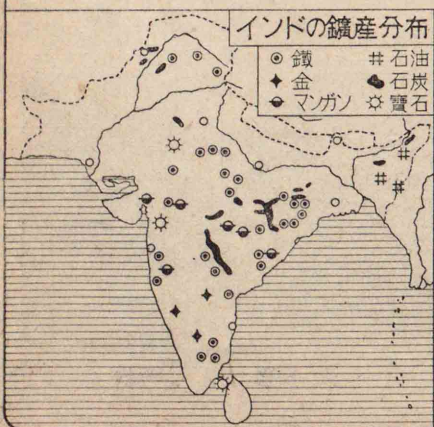
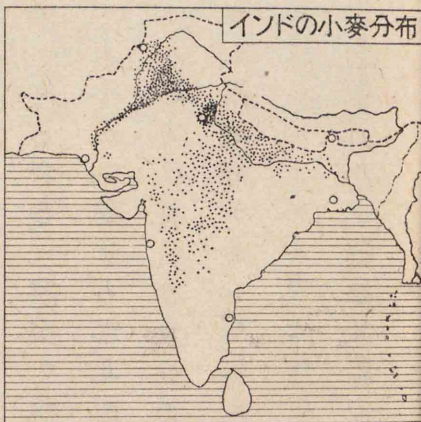
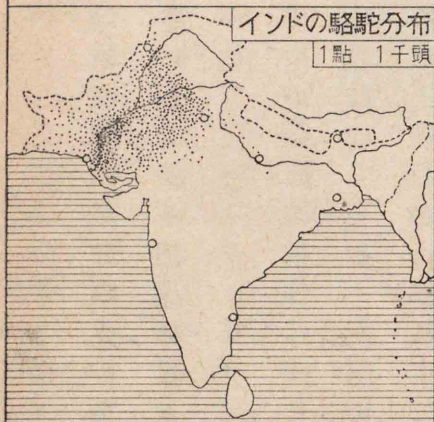
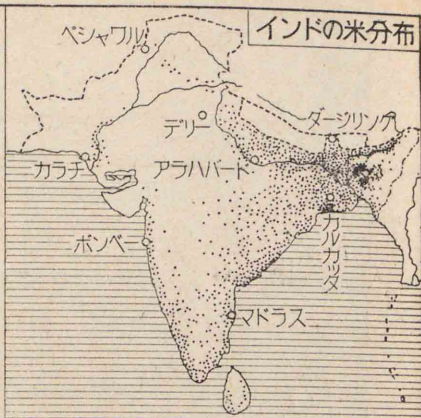
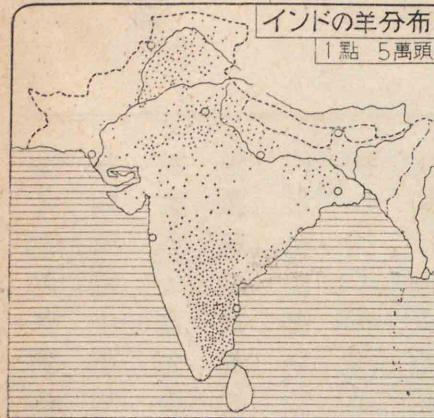


アンカラ  
(トルコの首府)



ヒンズー教徒の沐浴



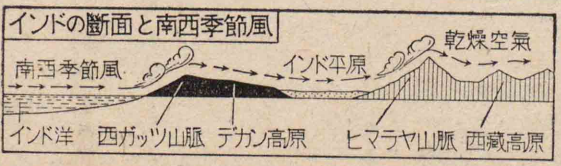
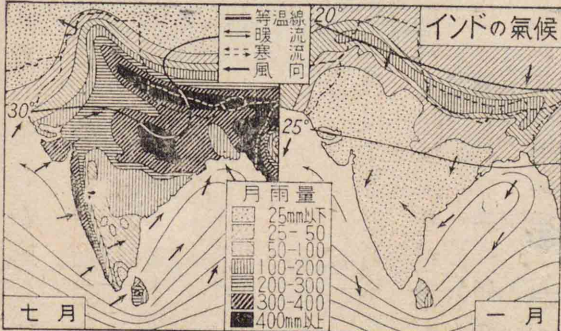


氣候

ヒンドスタン平原  
デカン高原

い自然國境をなし、また交通の障壁となつてゐる。この山脈の南方は大生産地のヒンドスタン平原で、ブラマプトラ・ガンジス・インダス等の諸川が流れる。半島部の大半はデカン高原が占め、東方に緩斜し、西縁は海岸に急斜してゐる。海岸は一般に屈曲に乏しく、半島の南端に近くセイロン島がある。

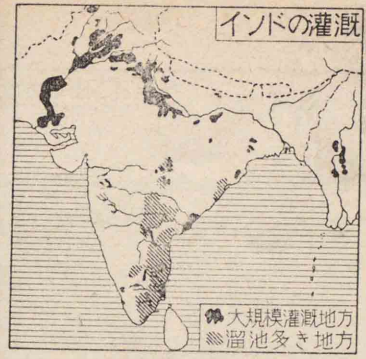
氣候 大部は熱帯で、一般に高温であるが、北西部の山地は溫和である。夏季は南西季節風がすぐれ、西海岸北部山麓に降雨が多く、中にも北東部山麓のアッサムの雨量は世界第一である。冬季は北東風となり、一般に乾期となる。北西部は雨量に乏



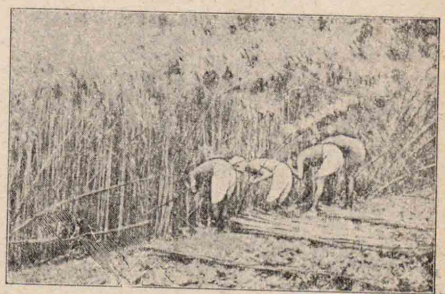


産業  
農業

工業  
牧畜

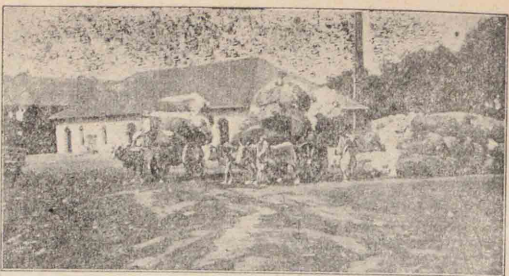


しく、草地・沙漠が廣い。  
産業交通 平地・高原は開拓が進み、農耕が行はれる。雨量の多いガンジス河流域は米・甘蔗・黄麻の世界的産地で、アッサムやセイロン島には茶が多い。デカン高原は棉作に適し、米國に次ぐ世界第二の産地である。西部の少雨地には大規模の人工灌漑が行はれ、主に大

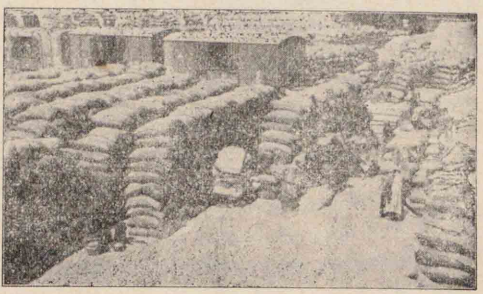


黄麻の刈入れ

麥・小麥等が作られる。家畜を耕作に利用するので、到處に黄牛・水牛が飼養せられ、北西部には駱駝・羊等が多く、カシミール地方は有名なカシミア織を産する。鑛産は北東部に石炭・鐵等、デカン高原に金・マンガン等の産がある。近年ボンベイ・カルカタ等には紡績・製麻・製鐵等の近代工業が勃興した。貿易は農産畜産等の原料・食料品を



インドの棉搬出



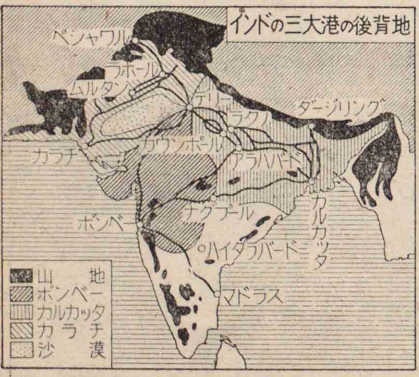
カラチ港の小麥積出

輸出し、精製品を輸入する。取引はイギリスを第一とし、日・米・獨・佛等と行はれ、カルカタ・ボンベイ・カラチ・マドラスは主な貿易港である。鐵道は七萬料に近く、河川と共に開發に役立ち、海運はイギリス船を主とし、我が汽船も活躍してゐる。イギリス本國より航空路が通じ、更にオーストラ

交通  
住民

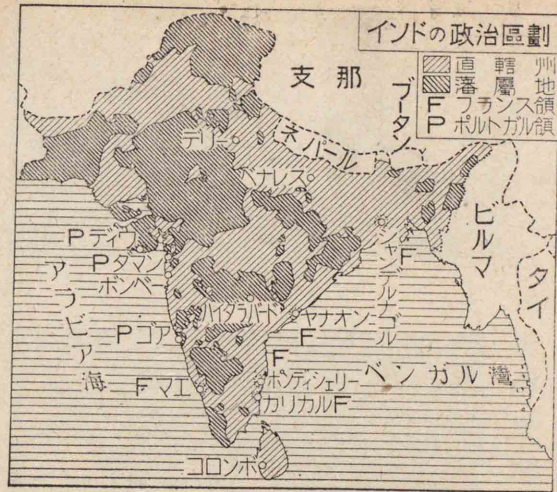
リアに連絡する。  
住民 三億七千萬と稱せられ、ガンジス河下流に多く、古い歴史を有するが文化の程度が低く、無教育者が九割に及んでゐる。

アジア 南部アジア

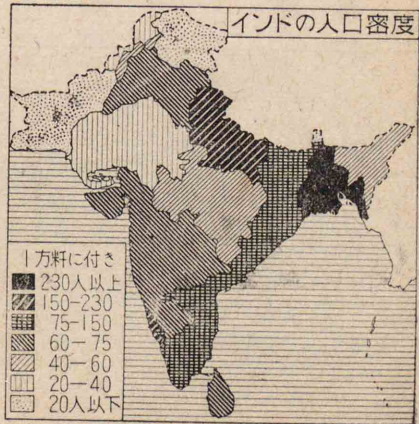




政治



ヒンヅー族は略七割を占め、厳格な階級制度を墨守し、原住民のドラヴィダ族は、奴隷として虐待されて来た。この地に發生した佛教は、今では僅かにセイロン島に限られ、大部はヒンヅー教を奉じ、西部には八千萬の回教徒があつてこれと對立してゐる。

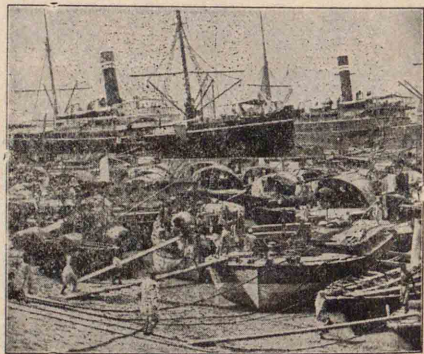


政治 十七世紀の中頃からイギリス東インド會社が進出してその勢力を扶植し、一八五八年以來イギリス政府の直轄地となつた。ベルチスタンを含み、インド帝國と稱し、イギリス國王を皇帝に仰ぎ、總督によつて治められる。近年

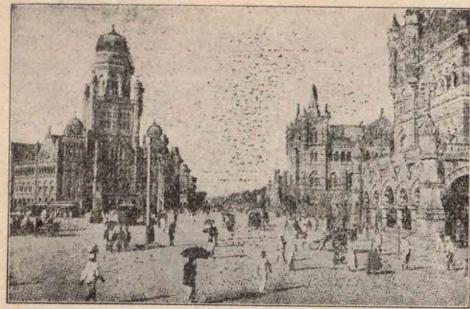
處誌

民族精神が高まり、自治獨立を要求してゐる。

處誌 **カルカッタ**は、インド第一の都會で、ヒンドスタン平原の大生産地を控へ、貿易が盛に行はれ、近時紡績・製麻等の工業が勃興した。ベナレスはヒン



カルカッタ港



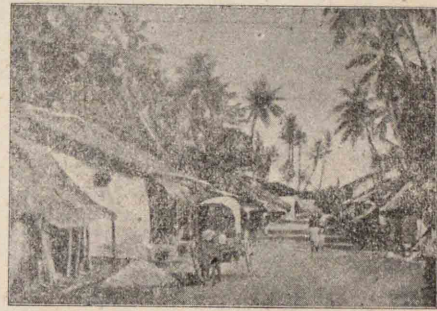
ボンベイ

ズー教の聖地である。德里はムガル帝國の舊都で、壯麗な宮殿・寺院が多い。先頃は、近郊にニューデリーを建設し、こゝに總督府を移した。ボンベイはデカン高原を後背地として綿工業に榮え、棉花の輸出が盛で、我がボンベイ航路の終點である。セイロン島 イギリスの直轄植民地である。年中高温多雨で、茶・ゴム・椰子・珈琲及び亞鉛・寶石等を産し、首府コロ



昭南島  
昭南港  
日本とイン

概説



セイロン島の景観

我が綿布雑貨を輸入し、棉花・牛皮・麻等を我に供給してゐる。近年  
 国内産業を保護するため、日本綿布の輸入を制限するに至つた。  
 カルカッタ・ボンベイ・コロンボは我が汽船の寄航地である。

第三章 南西アジア

概説 アジア・ヨーロッパ・アフリカの漸移地帯に當り、乾燥氣候で、草地・沙漠

地勢氣候産業

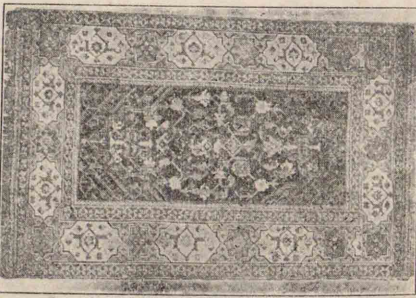


エウフラテス河畔の景観

が廣く、農業・牧畜が行はれる。住民は五千三百萬  
 に達し、何れも回教徒で、多くは白人の勢力下にあ  
 るが、近年民族的に自覺し、白人の勢力を脱して獨  
 立しようとする氣運が盛になつた。

地勢氣候産業 北部にはイラン高原が東西

に連り、南部のアラビア高原との間にメソポ



ペルシア絨毯

タミア平原・ペルシア灣を挾む。  
 高原は酷熱寡雨で、草地・沙漠が連り、アラビアの泉地オアシスに  
 馬駱駝、北部高原に羊・山羊等の牧畜が行はれ、絨毯・毛織  
 物等を産する。メソポタミア平原はティグリス・エウフ  
 ラテス兩河の流域を占め、世界最古のバビロニア文化  
 の發祥地である。今では小麦・煙草・棉・米・棗・椰子等を産  
 し、文化は低い。地中海沿岸は、棉・玉蜀黍・葡萄・オレンジ

アジア 南西アジア

アジア 南西アジア

ボイティンドルグ  
ヒマラヤ山中のネパール・ブータン兩國は會長

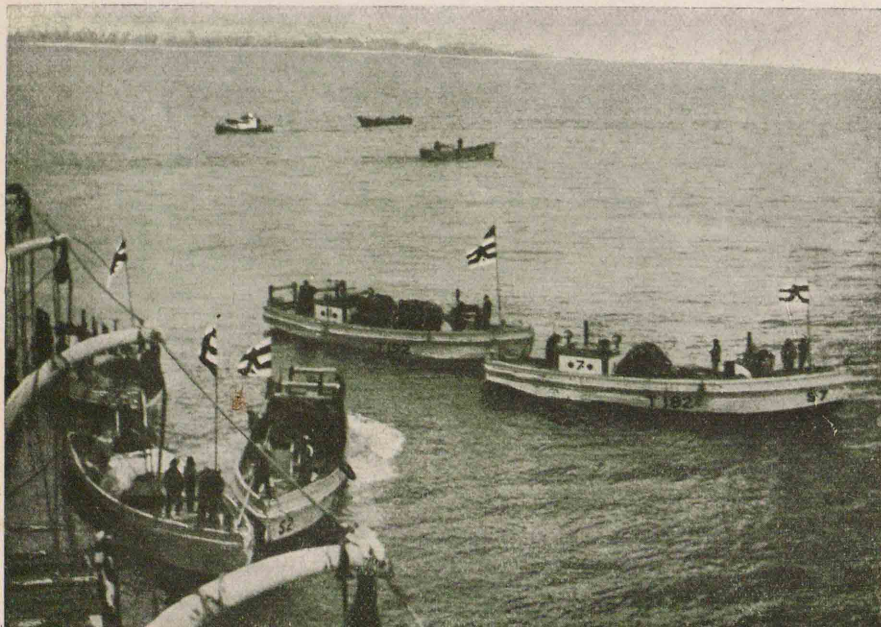








シベリアの落葉松の原始林



北洋に活躍する我が漁船

トルコ(歐洲の領土を含む) 兵萬方 人二〇萬

アジア洲 南西アジア

に委任せられた。近年回教徒の活動は目覺しく、イラクは既にイギリスの委任統治を離れて獨立し、シリアも亦フランスとの間に獨立の協定が成立した。サウディアラビアはアラビア半島の大部を統一して英領のアデン、英保護領のオーマンと對立してゐる。英國はその委任統治地パレスタインにユダヤ人國家を建設せんとしてゐる。  
イエルサレムはキリスト教の聖地で、巡拜者が多く、東方にケラクがある。トルコは海峽地帯を挟み歐亞に跨る立憲共和國である。曾ては強大な國家であつたが、歐洲大戰に敗れて領土が縮小した。首府アンカラは牧畜地



イスタンブール





北樺太のオハ油田



キルギスの草原



ツングースのキャンプ



カムチャツカの東海岸



ウラディウオストク港

の中心で、交通の便がよく、イスタンブールは黒海の入りを扼し、  
亞連絡の要衝である。 齒

サイプラス島はイギリス、ロードス島はイタリに屬し、何れも地中海東  
部に於ける軍事上の根據地である。

日本と南西アジア 近年本邦綿製品の進出は著しく、棉、食鹽、石油  
等を彼れに仰ぎ、貿易は將來性を有する。

### 第五章 ソ聯領アジア

ソ聯領アジアは北極海斜面及びこれにつゞく内陸流域及び太平洋斜面・  
コーカシアを主とする地域で、アジア洲の三分の一に達する廣大な面積  
を占め、ソヴェト聯邦全面積の四分の三に當つてゐる。

#### 第一節 コーカシア

裏海・黒海の間位し、コーカサス山脈によつて内コーカシア・外コ  
アジア洲 ソ聯領アジア

日本と南西  
アジア

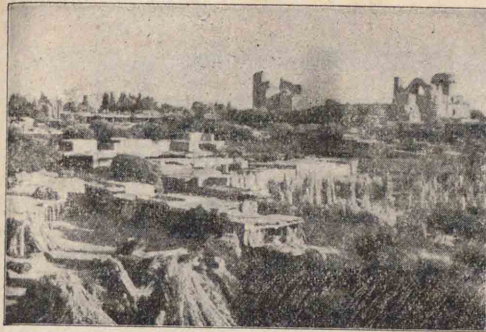


コーカシアに分れる。内コーカシアはロシア共和国に屬し、外コーカシアはアゼルバイジャン・アルメニア・ジョージアの三共和国より成る。農業が行はれ、またバクト<sup>五</sup>の附近は石油の産が多く、バクト<sup>五</sup>に送油管を通じ、ここから歐洲各地に輸出される。

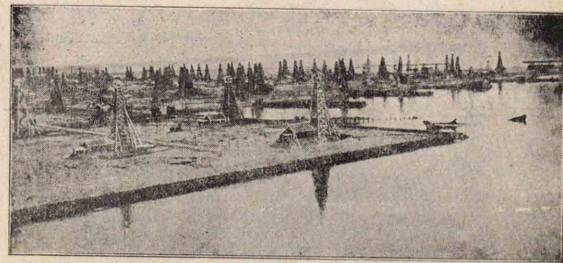
### 第二節 中央アジア

裏海東方の内陸流域を主とし、東部は支那に接し、一般に高峻である。

西部はキルギス草地・ツラン低地が連り、その間にバルハン湖・アラル海等の鹹湖がある。沙漠草地が廣く、牧羊が行はれ、又河畔は灌漑によつて棉花・小麥・果實・繭等を産する。中央アジア・タシケント・トルクシブ鐵道は



サマルカンド



バクトの油田

二五〇萬方  
一五七〇萬人  
概説

地勢

相連つてサマルカンド・タシケント等の都市を通じ、政治經濟上の重要線となつてゐる。<sup>二</sup>住民は回教徒のトルコ族が多い。ソ聯はこの地方を足場として新疆・アフガニスタンに進出を企ててゐる。

### 第三節 シベリア

概説 主として北緯五十度以北に位し、著しく北偏する廣大寒冷な地域で、面積は我が國の十九倍に達する。滿洲國・支那及び我が國に隣接し、これ等の諸國と重大な關係を有してゐる。

地勢 南東部にサヤン・ヤブロノイ・スタノヴォイ等高峻な山脈が連り、北西に緩斜して廣大なシベリア平原となり、こゝにオビ・イニセ・イレナ等の大河が流れてゐる。黒龍江は、滿洲國との境をなして流れ、オホーツク海に注ぐ。南境に近く、世界最深のバイカル湖（二五二三米）がある。太平洋岸にはカムチャツカ半島が突出してオホーツク海を抱き、北極海沿岸は出入が多い。

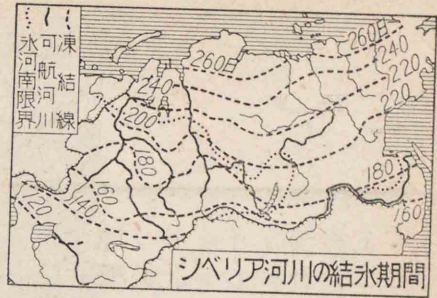


氣候 冬季が長く寒気が酷しいので河川が凍結し、レナ河流域には世界の寒極がある。夏季は短い、大陸性氣候のため割合に暑く、森林が繁茂し農業が行はれる。

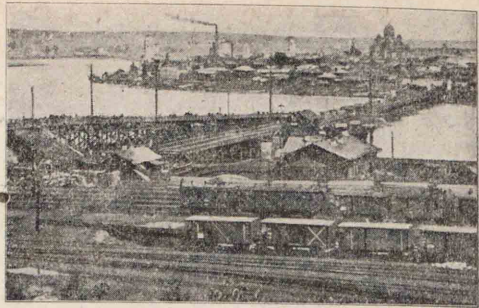
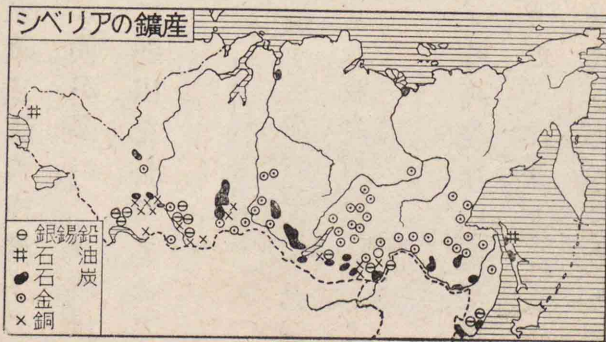
地勢氣候・産業等の關係上(一)高地帯(二)草地帯(三)森林帯(四)凍土帯の四區に分けられる。

産業交通 (一)高地帯 南東部の山岳

地帯で鑛産の埋藏が多く、石炭はソ聯第一のクズネツを初め各地に産し、金・鐵・銀等も多い。また我が國の經營に係る北樺太のオハ油田・ツエ炭田も知られてゐる。これ等の鑛産を利用し、東部のハバロフスク・コムソモルスク及び西部のクズネツ・イルクツク等

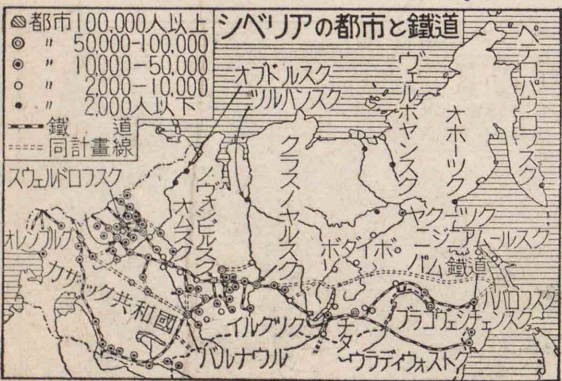
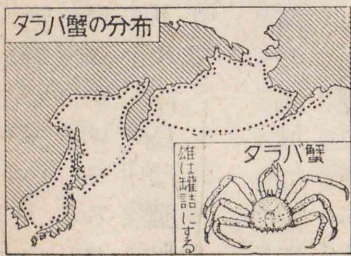


氣候 産業交通 高地帯



イルクツク

には製鐵・車輛・飛行機製粉等の工業が發達した。東部のウラディウオストクはシベリアの門戸で商港軍港を兼ね、車輛・兵器・食料品・造船等の工業が行はれ、敦賀との間に定期航路が開かれてゐる。これ等の諸工業は一九三二年より五箇年計畫によつてその發達を計つたものである。又黒龍江ウスリー二鐵道を複線化し、更に北方にバム鐵道の新設を企て、航空路を開くなど、交通運輸の強化につとめてゐる。オホーツク海及び附近の河川は鯨・鱈・鮭・鱒・タラバ蟹





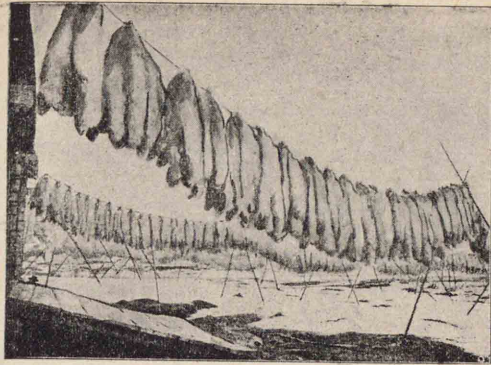
等の魚族に富み、邦人の出漁者が多い。カムチャツカ半島東岸のペトロパウロフスクは漁業の根據地で、コマンドル諸島は臘膾獸の繁殖地として名高い。

草地帯  
森林帯

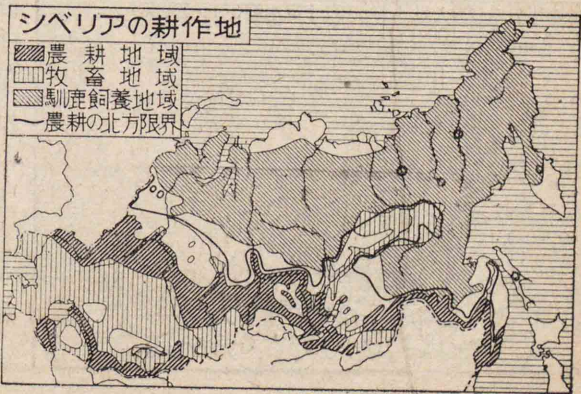
(二) 草地帯 主としてオブ河の流域で、肥沃な黒土に被はれ、夏に雨が多

いので麥類、馬鈴薯等を産し、シベリアの穀倉と稱せられる。西方のウラル山脈は林産、産産が豊である。

(三) 森林帯 草地帯の北を東西に連る密林地帯で、木材、毛皮獸(狐、貂、リス)を産し、チタ、ヤクーツクはその集散地である。



ヤクーツクの毛皮乾燥



凍土帯

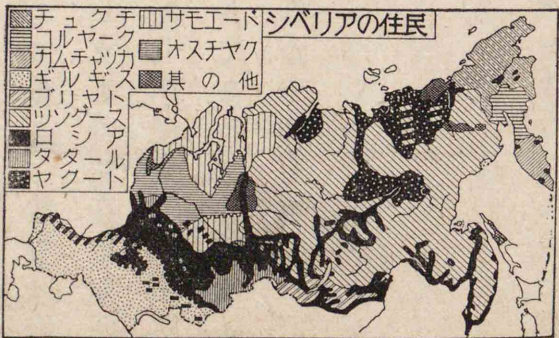
(四) 凍土帯 極北の低地で、一年の大部は凍結し、夏季は僅かに蘚苔類が生ずる。土人は馴鹿を飼ひ、狩獵を行つて生活する。近年この地を経て北米極東に通ずる航路、航空路の開拓が着眼せられてゐる。

住民政治

住民政治 住民の九割はロシア人である。

初めは流刑植民地であつたが、一九〇四年シベリア鐵道の開通後、農民の自由移住が著しく増加し、鐵道沿線に移民の定着を見たもので、この外に少數の原住民が住んでゐる。民族の別により自治州と直轄州とに分れ、何れもロシア共和國に屬してゐる。

十六世紀以來のロシア極東政策は今も依然つゞけられ、一九二四年には外蒙古を獨立せしめてこれを共產化し、近年極東軍を増派





アジア洲 ソ聯領アジア

し、經濟を強化して、絶えず進出の機を覗つてゐる。  
 日本とシベリア 明治三十七八年戦役の結果、我が國はロシアより南樺太を取り、カムチャツカ半島オホーツク海沿岸の漁業權を獲得した。また第一次歐洲大戰後、北樺太の石油・石炭の採掘權を得、今や北洋に活躍する邦人は二萬數千人に上つてゐる。然るに近年、ソ聯は滿洲國境を侵してその治安を攪亂し、支那の共產軍を援助して我が大陸政策を妨害する外、故意に我が北洋漁業・鑛業を壓迫し、樺太國境を侵すなど、絶えず問題を惹起してゐる。我等は速に東亞の安定を計り、防共の施設を強化して眞の平和を招來しなくてはならない。

第六章 總括

産業 アジア大陸は面積が廣く、地勢・氣候が複雑なもので、天産が豊

農産

牧畜

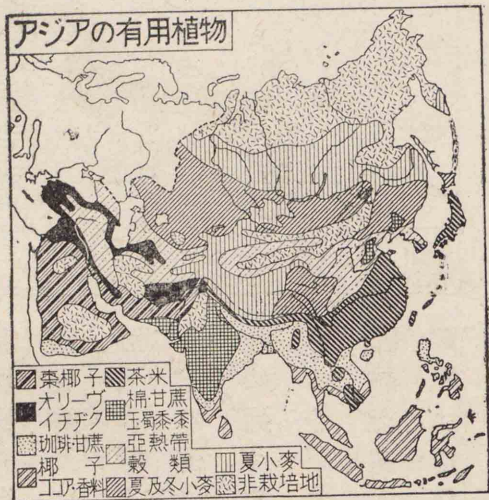
森林

鑛産

水産

工業

交通・商業

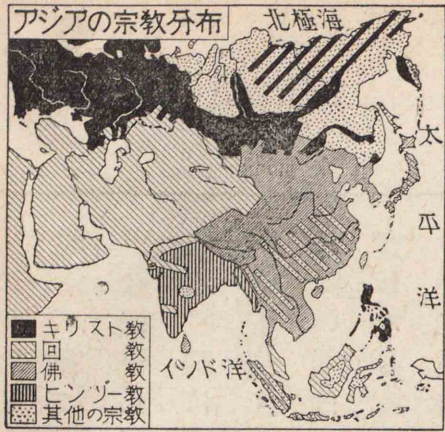


富である。季節風帯には、米・茶・棉・甘蔗・ゴム等の農産が多く、養蠶と共にこの地帯の特色である。中央より西部に互る高原地帯は乾燥して草原が連り、羊・山羊・馬・牛等の牧畜が行はれるが、近年人工灌漑によつて次第に農業が発達して來た。熱帯・亞寒帯には夫々特有の森林が

繁茂し、石炭・石油・鐵錫等の鑛産も多いが未だ開拓が進んでゐない。北東部の海上は世界有數の漁場で、我が國が世界第一の水産國として發展してゐる。手工業は各地に行はれてゐたが、近代工業は我が國が最も發達してゐる。

交通・商業 人力・馱獸による地方がかなり廣く、近時、自動車



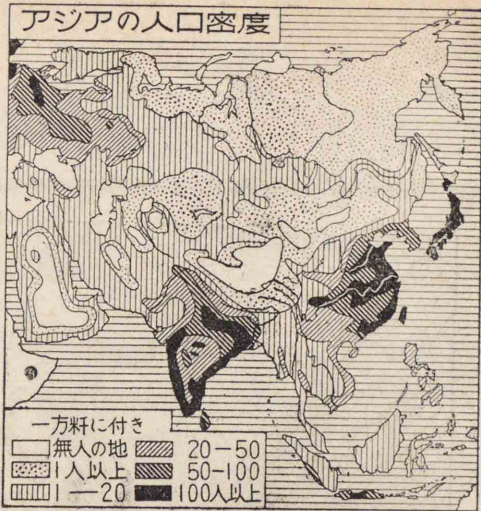
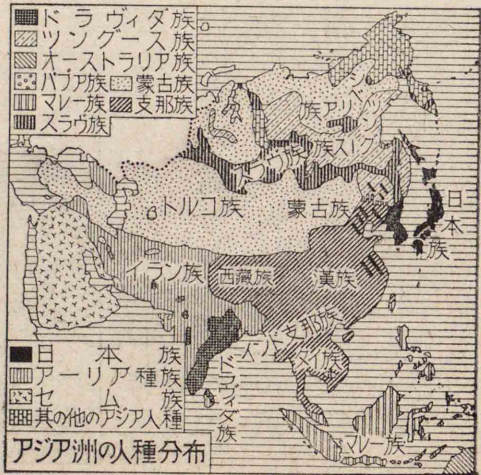


アジア洲 總括

アジア洲の宗教分布は、キリスト教、仏教、ヒンズー教、その他の宗教に分けられる。キリスト教は、東南アジア、オーストラリア、インドなどに分布し、仏教は、東アジア、東南アジア、中央アジアなどに分布し、ヒンズー教は、インドに分布し、その他の宗教は、東南アジア、オーストラリア、インドなどに分布する。

住民

住民 世界人口の過半に達し、東部南部の季節風帯に稠密で、北西部の寒帯或は乾燥地には稀薄である。住民の四分の三はアジア人種で、主に中央山地以東に分布し、南東部にはマレー人種が住み、その他の地方には概ねヨーロッパ人種が居住する。支那・インド・パピロニアは世界文化の發祥地であつたが、今は一般に文化の程度が低く、我が國以外は著しく歐米諸國に劣つてゐる。宗教は、佛教、回教、ヒンズー教、キリスト教等が行はれてゐるが、これ等は何れもアジアに發生した

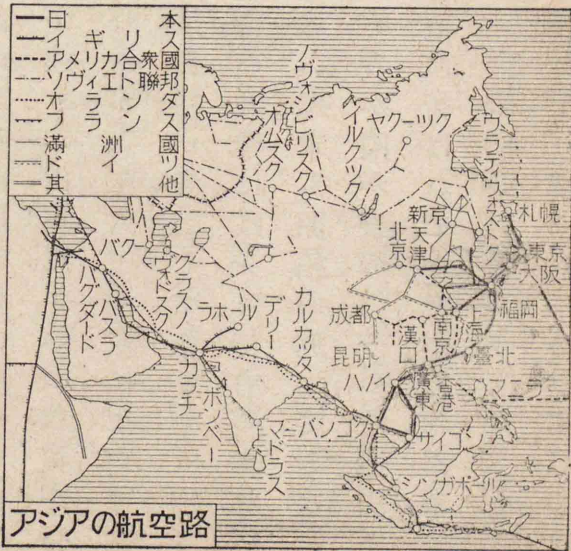


アジアの人口密度は、我が國・滿洲・支那及び歐米各國より、その植民地に通ずるもの等が著しい。海運は極東を中心に日英兩國船を主とし、米・佛等の汽船も活躍してゐる。貿易は食料・原料を輸出し、加工品を輸入する地

鐵道 航空 海運 貿易

アジア洲 總括

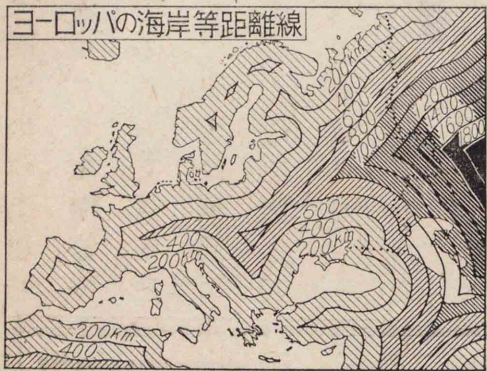
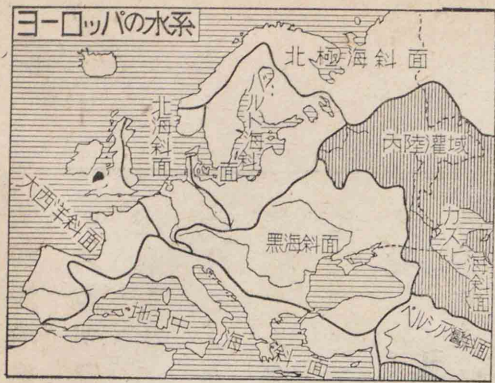
鐵道網は、我が國・滿洲・インド等に發達し、亞歐連絡の重要鐵道も通じてゐる。河川交通は揚子江以外に見る可きものが無く、航空路は











海岸は屈曲に富み、肢節の多いことは各大陸中第一である。

原 中央大平  
海 岸  
河 川

ある。東地中海の地方及び大西洋のアイスランドには活火山が多い。中央大平原は、廣大な地域を占め、ヨーロッパの三分の二に及んでゐる。一般に舊氷河の堆石に被られた平野や、氷河湖が多く、ヴォルガ・ドンド・ニエブル・ダ・ニューブ(ドナウ)・ライン等の河川は、緩流して氷河湖急流は発電に供せられる。



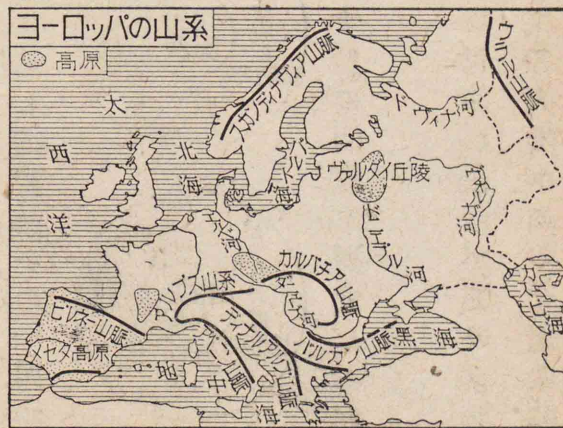
ピレネー山脈

北西部山地は、スコットランドに亘つてスカンディナヴィア半島よりアイスランドに亘つては、東部は數多の地塊に分れてゐる。北西部山地は氷河の侵蝕を受けることが大きく、レネー山脈やメセタ高臺と共に西地中海を抱いてゐる。これ等の山地の北方には、臺地が横たはり、東部は數多の地塊に分れてゐる。

地 北西部山

南部山地

西部と南部とに山地がつゞいてゐる。南部山地は、アルプスを中心として東部に、カルパチア・バルカン・ディナル・アルプ等の諸山脈があつて、その間にハンガリー盆地を含んでゐる。西部は、アペニン山脈よりアフリカ洲のアトラス山脈に連り、イベリア半島のピレネー山脈やメセタ高臺と共に西地中海を抱いてゐる。これ等の山地の北方には、臺地が横たはり、東部は數多の地塊に分れてゐる。







モスコウのクレムリン



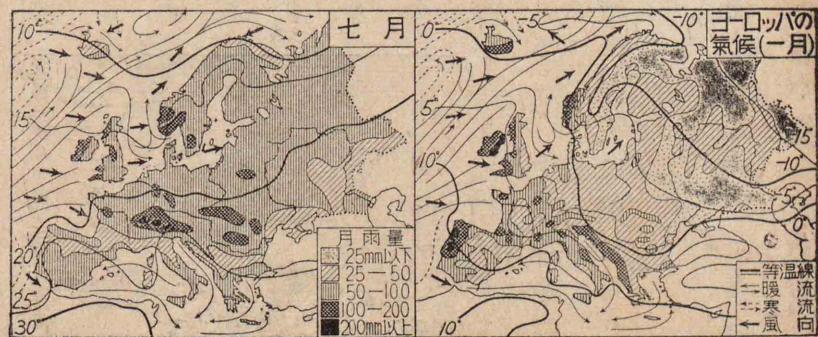
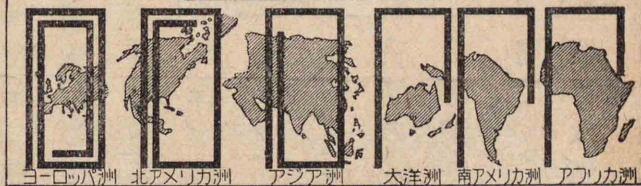
ストックホルム

氣候

第一回 六洲 序説

大西洋沿岸は沈降性の土地で、ボスニア灣・バルト海・北海等の浅海を生じてゐる。又洋中を流れるメキシコ灣流は、氣候に影響する所が多く、地中海と共に交通に利用されてゐる。氣候 土地が北偏してゐるため、東部内陸地方は冬季が長く、寒冷で大陸性氣候を呈してゐるが、西海岸はメキシコ灣流と偏西風のため、海洋性氣候を呈する。地中海岸は、夏は高温で乾燥し、冬は温暖で比較的降雨が多く、所謂地中海式氣候で

各大洲海岸出入比較





フィンランドの製材所



ロフォーテン島の漁船

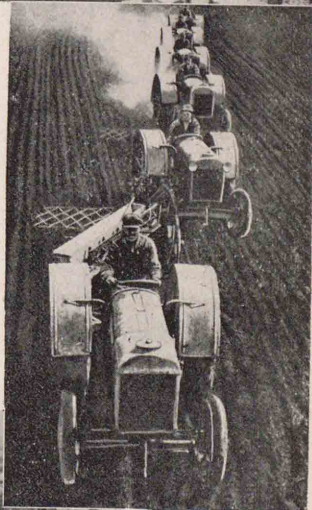
ワルソー



ゴルキーの市街



ロシアの國營農場



ある。かかる地形と氣候とは、この洲を大生産地帯とし、多くの民族國家の割據を誘致したのである。

## 第二章 東部ヨーロッパ

略ウラル山脈以西の廣大なロシア平原で、ヨーロッパの過半を占める。海洋と隔たることが遠いため、大陸性氣候となり、冬が寒い。ソヴェト聯邦が大部分を占め、西部に僅かにバルト三國がある。

### 第一節 ソヴェト聯邦

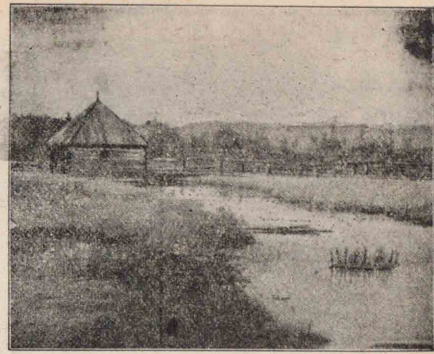
概説 ソヴェト聯邦は、ヨーロッパの東半を占め、全領土は世界陸地の六分の一に及んでゐる。第一次歐洲大戰後、社會主義に基づく政治を布き、最近は軍備の充實と領土の擴張とに努め、近隣の諸國に大きな壓力を加へてゐる。

地勢氣候 大部は氷蝕によつて生じた臺地で、中央のヴァルダイ丘

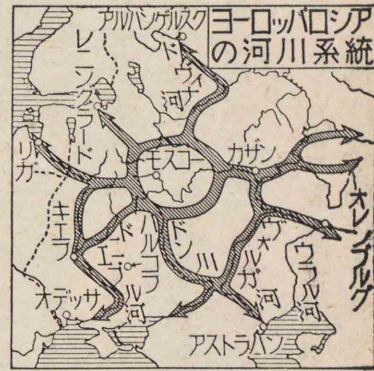
地勢氣候

四、五、萬方  
二、三、萬人  
概説



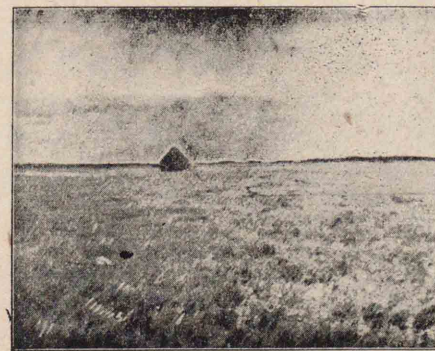


ヴォルダイ丘



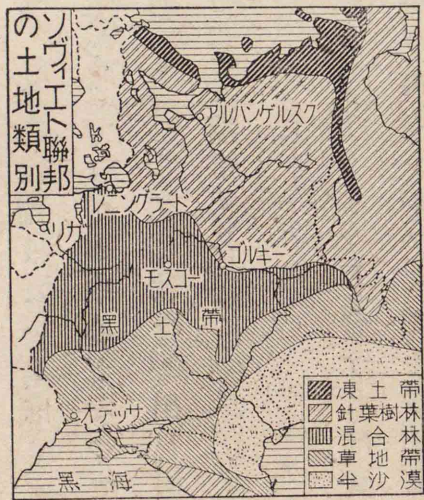
が氷結するが、大陸性気候で夏

季は気温が上り、農業が盛である。これ等の気候により、北から南にかけて凍土帯から樹林帯草原帯と漸移し、別にカスピ海沿岸には沙漠がある。  
**産業** 古來農業國として知られ、國民の七割がこれに従事してゐる。殊に南部の黒



黒土帯の景觀

土帯は、小麥・大麥・稗麥・玉蜀黍・甜菜・馬鈴薯等の世界的産地で、歐洲の穀倉と稱せられる。キエフ・ハルコフには農産物の集散加工が行はれ、オデッサはその輸出港である。南部の草地を初め、國內には廣く馬・羊・山羊・牛豚・鶏が飼養され、殊に馬の頭數は世界第一である。森林も廣く、木材・木工品・毛皮等を産し、一部は開拓されて黒麥・亞麻等が作られる。

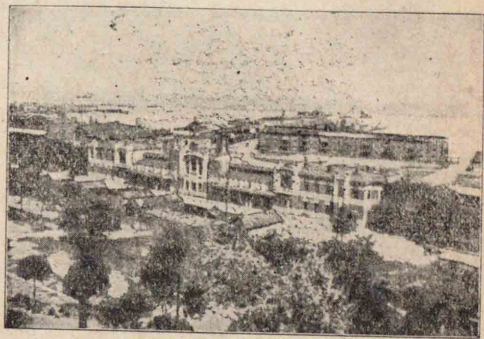


ウラル山地には金・白金・銅・鐵等の鑛産が豊である。一九二八年以來、産業五箇年計畫を反復實施し、農業の國營化と共に産業の綜合的發達を圖つた結果、製鐵・機械・車輛・製粉・電氣等の諸工業が著しく

進み、モスコ・レニングラード・rostフスターリングラード等の



交通・商業



工業地が勃興し、世界の工業國として數へられるに至つた。

交通商業 鐵道はモスコイを中心として遠く極東・中央アジアに及び、その延長八萬  
オ デ ッ サ 港  
港が發達した。海運は振はないが、南はオ  
運河も利用せられ、カザン・ゴルキー等の河  
港が發達した。海運は振はないが、南はオ  
デッサ、北はレニングラードが中心となつて

る。貿易は主に英獨との間に行はれ、林産物・農産物を輸出し、機械鐵製品を輸入してゐる。尙國內には定期市が各處に開かれ、  
ルキイは古來有名である。

住民政治

住民政治 住民は一億二千萬に及び、アジアロシアを合すれば、實  
に一億七千萬に達する。大部はスラヴ族のロシア人で、性質は粗

野で極端に走り易いが、忍耐力が強く、ギリシヤ教を奉じ、文藝音楽に長じてゐる。この外南部にドイツ人・ユダヤ人・トルコ人・北部にフィン人・ラップ人等の歐亞兩民族が住んでゐる。一九一七年の革命により十五世紀以來の舊ロシア帝國が崩壊し、一九二二年大ロシアを中心として新にソヴィエト社會主義共和國聯邦を組織し、モスコイを首府として、世界最初の共產國家を建てた。その後、國力の充實に努めてゐるが、近時極東に大軍を置いて滿洲國境を侵し、また歐洲動亂の波に乗じてポーランドの東半を併せ、フィンランド・バルト三國に進出し、更にバルカン方面にも侵入して、漸次勢力を擴張し世界赤化を圖つてゐる。

日本とソ聯

日本とソ聯 我が國とは極東に於て領土が近接するのみでなく、友邦滿洲國の成立によつて彼我の關係が益々複雑となつた。元來ソ聯の國是は我が國體と相容れず、しかもその極東政策は東亞



の新秩序を妨げることが甚だしく、今後のソ聯の動向には深い注意を拂ふ必要がある。

附 バルト地方

バルト海東岸地方には世界大戦後エストニア(エストニア人)、ラトヴィア(レット人)、リスアニア(リスアニア人)の三小國が舊ロシアから獨立して國を建て、ゝゝゝが最近ソ聯に再び併合された。何れも、土地が平坦で農林牧畜業等が行はれてゐる。

第三章 北部ヨーロッパ

フィンランドからスカンディナヴィア半島、ユトランド半島を含む地方である。

第一節 フィンランド

堆石丘や氷河湖を初め、氷河の遺跡が多く、湖水は灌溉發電に利用せられる。全土の四分の三は森林がつゞき、水力電氣を利用して製材、パルプ、マ

元萬方  
三〇萬人

スウェーデン

四萬方

六六萬人

ノルウェー

三萬方

二九〇萬人

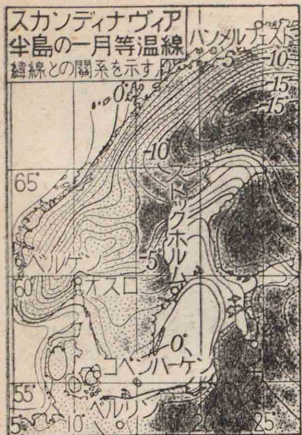
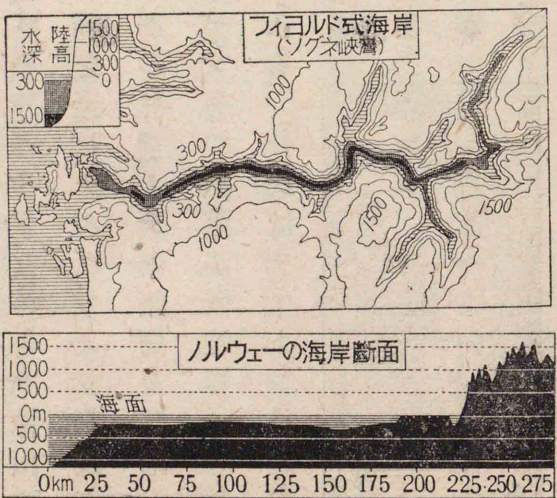
チ製造が行はれる。首府ヘルシンキは木材、パルプを輸出する。住民はアジア人種のフィン族が多く、大戦後に興つた共和國であるが、一九三九年、ソ聯の侵略を受け、目下その勢力下にある。

第二節 スウェーデン

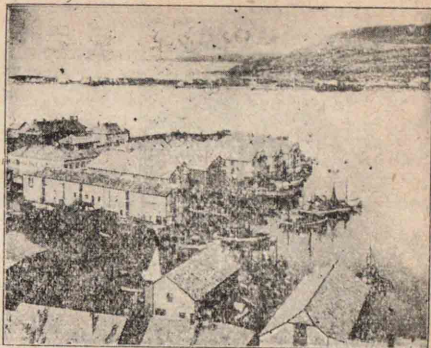
ノルウェー

スカンディナヴィア山脈が半島の脊梁

となり、兩國の自然的國境をなしてゐる。山脈の西部は峽灣、絶壁をなし、瀑布を懸けるに反し、東部はバルト海に向つて階段状に低下し、瀑布線を作つて水力を供給してゐる。大西洋岸は偏西風と、メキシコ灣流(暖流)との爲に、高







ハンメルフェスト

温多雨となり、北端のハンメルフェストも不凍港である。然し、東岸は大陸性氣候で、バルト海は冬季凍結する。又北部では夜半の太陽、極光等の現象が現れる。

山地は一般に森林に富み、水力電氣の利用により木材、バルブ、紙、マッチ等を産し、オスロ、ベルゲン等より輸出する。北部には良質の鐵鑛を産し、ナルヴィクより英獨に輸出せられる。また北部のロフォーテン諸島及び沿岸

には鯨、鱈等の漁獲が夥しく、ベルゲン等の漁港が發達し、ノルウェーの捕鯨船は兩極地方に活躍してゐる。住民はチーントン族が多く、着實勤勉で新教を奉じ、各立憲王國を作つてゐる。スウェーデンの首府ストックホルムは形勝の地を占め、工業が榮え、ゲーテボルグに運河を通じる。



スウェーデンの製材製紙工場



ユトランド半島の牧場

ノルウェーの首府オスロは、近年沿岸諸港と共にドイツ軍の侵略を受け、以來同國はドイツの勢力下に置かれるに至つた。

第三節 デンマーク

低平なユトランド半島と、附近の島嶼とより成る。模範的農業、牧畜國で、酪製品、肉類、鶏卵等の産が多く、その大部はイギリスに輸出される。チーントン族で新教を奉じ、教育も進歩し、女子は勤勉力行の美風をもつてゐる。立憲王國であつたが、今次の歐洲動亂に於いてドイツに征服せられ、その勢力下に置かれた。首府コペンハーゲンハルはバルト海の門戸に當つてゐる。

アイスランドは火山島で活火山が多く、間歇泉も



デンマークの土地類別

四萬方軒  
三〇萬人

三〇萬方軒  
三〇〇萬人

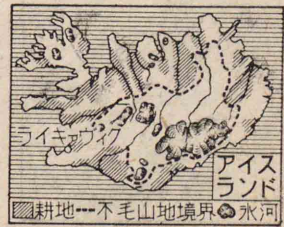


ある。デンマークを戴く獨立君主國で、首府はライ  
キャプクである。

### 第四章 中部ヨーロッパ

三萬方  
五〇萬人

バルト海よりアルプスに至る地方で、ドイツを中  
心とし、ポーランド・スロヴァキア・ハンガリー・スイス等の諸國があり、

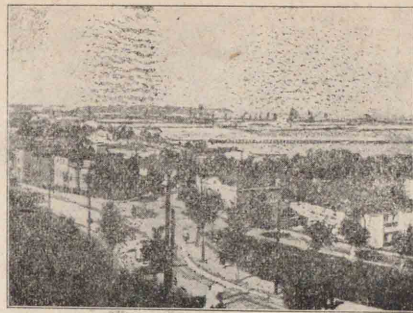


耕地—不毛山地境界—水河

政治上ドイツの勢力が最も強大である。

#### 第一節 ポーランド

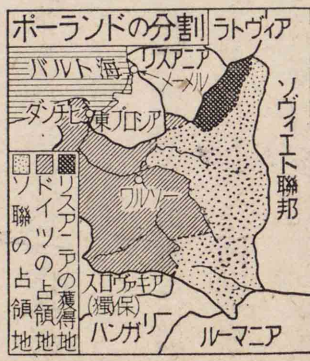
ソ聯とドイツとの中間に在り、南部のカルパチア山麓は  
鑛産に富み、石炭・鐵・岩鹽・石油等を産し、クラカウ附近には  
工業が發達してゐる。中部以北の平原は森林が廣く、漸  
次開拓されて農産が豊である。ロヅには紡織業が行は  
れ、首府ワルソーは交通・商業の中心に當る。海岸のグディ



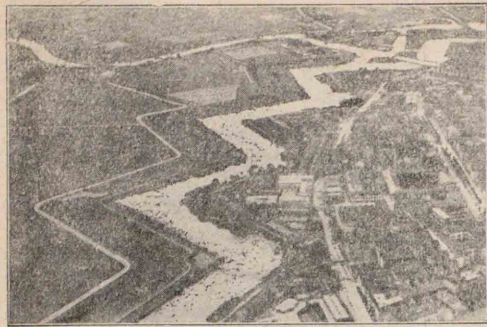
グディニア港の景觀

二千方  
四萬人  
畜萬方  
八五〇萬人

ニアは唯一の自國港として建設され、ダン  
チヒ港と共にポーランドの門戸をなして  
ゐる。ポーランド人は國民の七割を占め、西部  
にはドイツ人、東部にはウクライナ人、白口  
シア人が多い。歐洲大戰後復活して共和  
制を布き、産業が進み、軍備も充實したが、一九三九年獨  
ソ兩國のために占領された。



ポーランドの分割



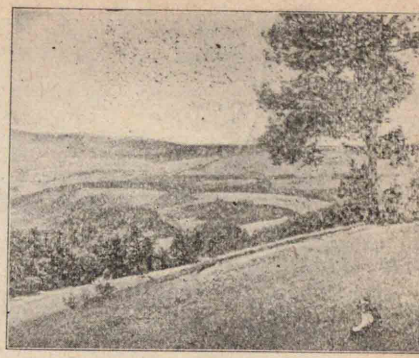
ダンチヒ港

ダンチヒ自由市 もとドイツ領で、大戰後、國際聯盟の保護  
の下に自由市としてポーランドの門戸となつてゐたが、最  
近再びドイツ軍に占領された。

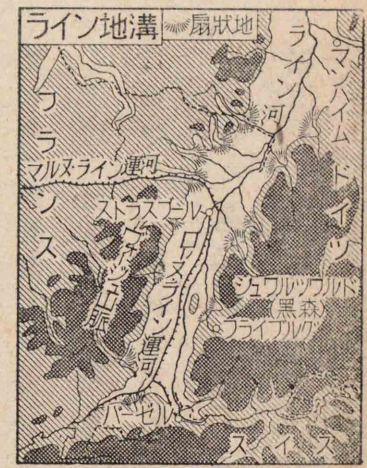
#### 第二節 ドイツ

概説 ヨーロッパの略中央を占め、十數箇國の國境に接して  
ゐる。大戰後、一時國勢が衰へたが、近年頗る勃興し、その活





黒 森



の山地が連り、その間にバヴァリア臺地・ライン地溝・ボヘ

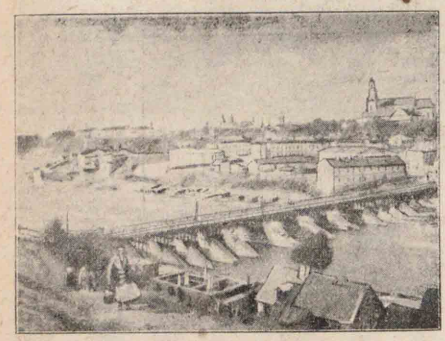
ミア盆地等がある。北部はヨーロッパ大平原の一部で、ライン・エルベ・オーデル等の河川が北西に流れてゐる。海岸は沈降性で遠淺となり、河口は三角江を呈する。

氣候 山地の多い南部は、北部の平野と氣候に大差無く、西部は溫和であるが東に進むにつれて大陸性氣候となる。バルト海沿岸は冬季には氷結する。

産業

産業 自然資源等に恵まれてゐないが國民性の優秀な此の國民は能く瘠土を開墾して、これが利用をはかり、以て各種産業を著しく盛ならしめてゐる。耕地は國土の二分の一に當り、平野の四分の一は牧場に利用せられ、林制は世界の模範と稱せられる。就中工業は世界獨得の地位を占め、國內に不足な石油・ゴム・綿・羊毛等も、その代用品の生産に成功してゐる。

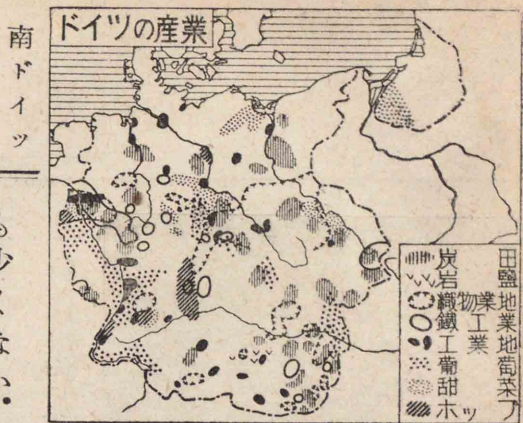
北ドイツ



メーメル

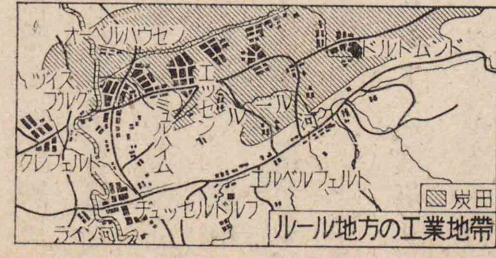
- 一 北ドイツ 東部の東プロシアと、近年リ
- スニアから復歸したメーメル地方とは
- 木材・穀類の産に富み、これ等はケーニヒス
- ベルグ・メーメル<sup>三</sup>の二港より輸出される。
- 中部は農業・牧畜に利用せられ、稈麥・燕麥・馬
- 鈴薯・甜菜・牛豚等の産が多く、首府のベルリ
- ン及びマゲデブルグ<sup>三</sup>製糖はその中心であ





南ドイツ

も少くない。河谷低地には農業が行はれてゐる。サクソニア・シレジアには石炭・鉄・亜鉛等の重要産が多く、ドレスデン(美術工芸品)・ライプツヒ(出版業等の工業地)が発達し、ドレスラウは農業の集散地である。



る。海岸地方のハンブルグ・ブレーメン等の商港では、造船業が盛である。

西部のルール地方は豊富な炭田が横たはり、これを利用してエッセンに製鋼(クルップ會社)業が勃興し、ケルンに機械・化学工業、ゾイスブルグに造船業が発達してゐる。

(二)南ドイツ 一帯に丘陵性の山が多く、林業が発達し、また礦物の埋藏

ポヘミア地方には沃野が連り、馬鈴薯・麥類

も豊かなため、各種の工業等が盛で、舊都ブライグ・ピルゼン等の工業市がある。モラヴィア低地は農産地である。

バヴァリア高地は牧場森林が多く、ニュールンベルヒは玩具・鉛筆

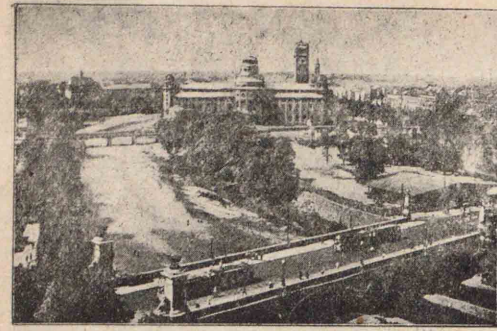


ホップの栽培

樂器等の木工品に著れる。またダニューブの河谷は麥類の産に富み、ミュンヘンにはビール醸造が行はれる。オーストリア地方は大部分が山地で、森林が廣く、水力

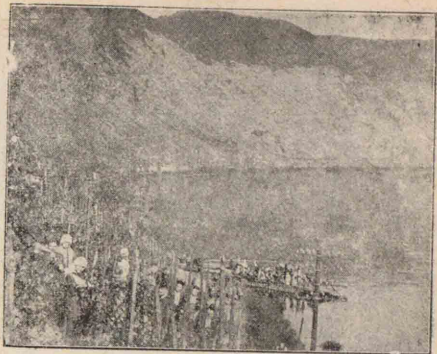
利用のバルプ製紙が行はれる外、産業は一般に振はない。舊都ウィーンは美術工芸に著れる。

ライン河の上流は所謂ライン地溝で、氣候・風景に恵ま



ミュンヘン





ライン河谷と葡萄園

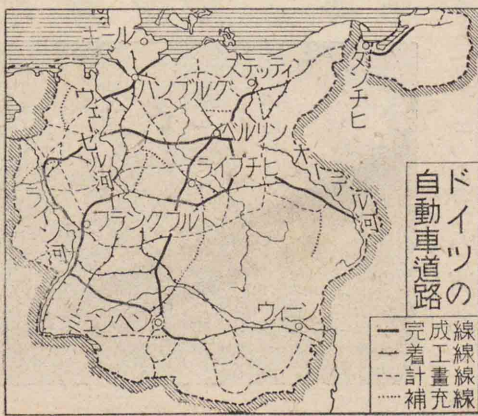
れ、麥、煙草、葡萄の産が多く、またザール地方（一九三五年復歸の石炭を利用して、フランクフルト・マインツに機械、化學工業が行はれる。

ライン河はアルプ山中に源を發し、ライン地溝帯を北流する。沿岸一帯は葡萄園・ホップ園がよく開け、大工業地を開き、峽谷部には奇岩が峙ち、古城址が散見して一幅の繪畫を見る如く、國人はこの河を「父

ライン」と愛稱する。

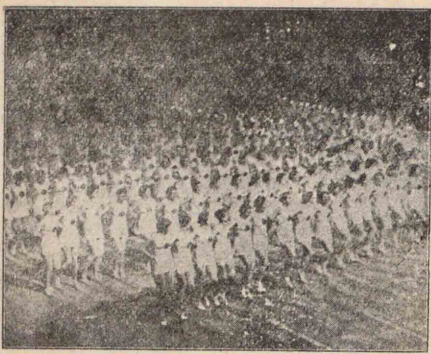
交通・商業

交通・商業 交通は著しく發達してゐる。鐵道の延長は我が國に二倍し、全國に通ずる國營自動車路線もその設備・速力共に優れ、各河川は緩流して連河運河を通



ドイツの自動車道路  
線線線線線  
成工畫充  
完着計補

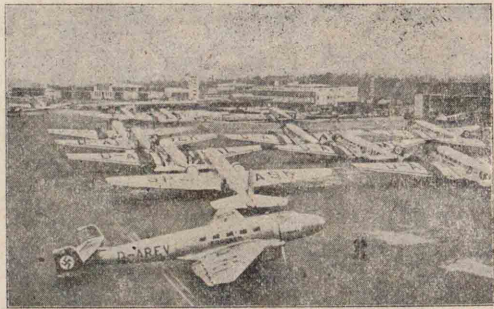
住民政治



ドイツ婦人の健康體操

じ、北方にキール運河がある。航空路の發達は世界第一で、ベルリンを中心として歐洲各地及び遠く南米に至り、商船も優秀船を備へて世界に雄飛し、ハンブルグは世界的の大貿易港である。貿易は主に自國船により精製品を輸出し、原料・食料品を輸入する。取引先は米・英・佛及び日本・滿洲國等で、オランダを通過するものも少くない。

住民政治 大部分はチュートン族に屬するドイツ人より成り、新教舊教が行はれる。國民は勤儉で産業に努力し、學究心が優れ、この國は學術の淵藪といはれる。女子も質素で男子と共によく働き、志操が極めて堅實



ベルリンのテンペル  
ホーフ飛行場

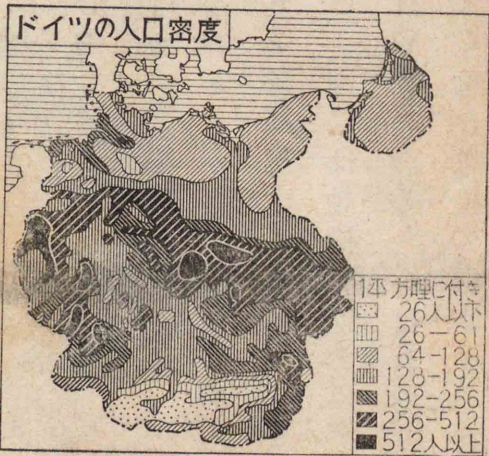


である。大戦後、多くの領土と植民地の總てとを失ひ、多額の賠償金を支拂つて國力が疲弊したが、國民の絶えざる努力と、政府の秩序ある統制との下に漸次國勢が回復して來た。偶、ヒトラー總統が立つに及んで、國權回復、大ドイツ民族國家の建設を目指して國威の發揚に努め、一九三五年ザールの

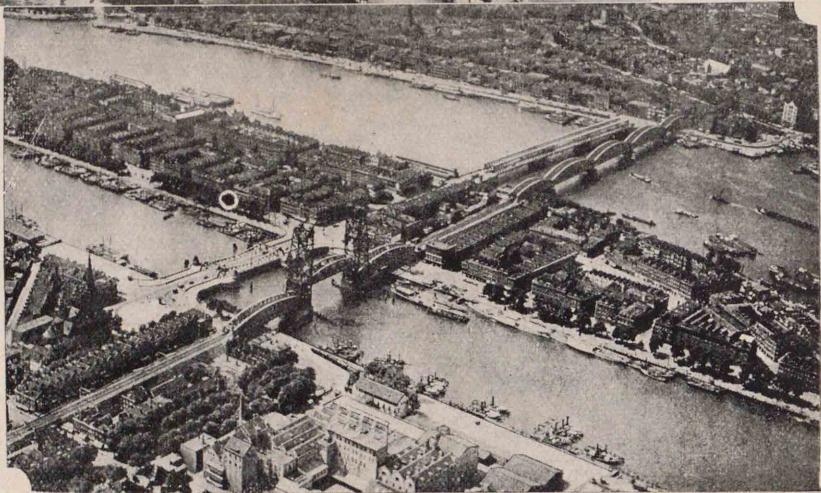
ドイツ國土の消長

年次	面積	人口
一九一〇(天戰前)	五、四一〇 <small>千</small> <small>萬</small> <small>軒</small>	五、八四五〇 <small>千</small> <small>人</small>
一九一九(天戰直後)	四、七二〇	五、九八五〇
一九三九(現今)	六、三三〇	八、三四〇一

回收を手始めに、オーストリア・ズデーテン地方、ボヘミア・モラヴィアを併せ、スロヴァキアを保護下に置き、更にメーメル地方を回收して、人口は八千萬を越えるに至つた。加ふるに



ベルリン



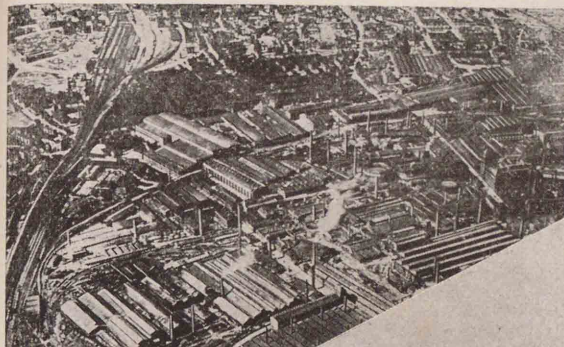
ロッテルダム



アントワープ



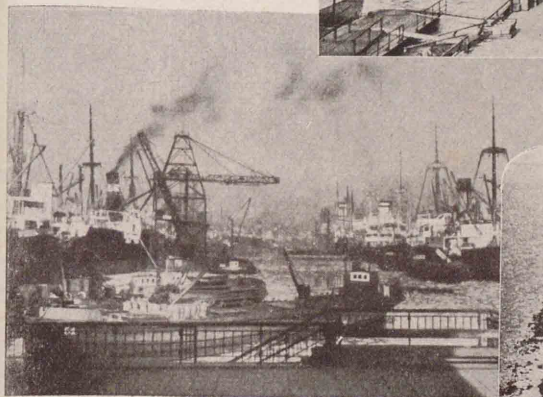
エッセンの  
クルップ製鐵所



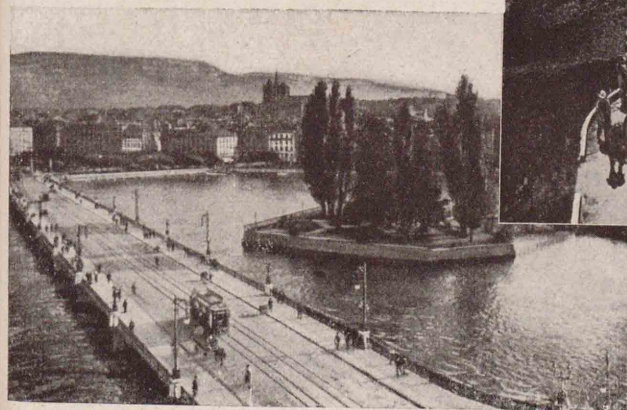
ブダペスト



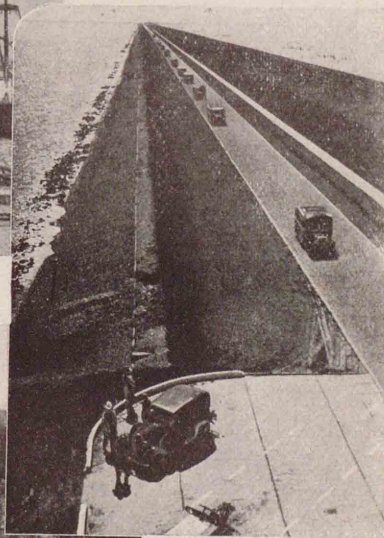
ブレーメン港



ジュネーヴとモンブラン橋



ゾイデル海  
の堤防



日本とドイツ

四萬方  
二五萬人

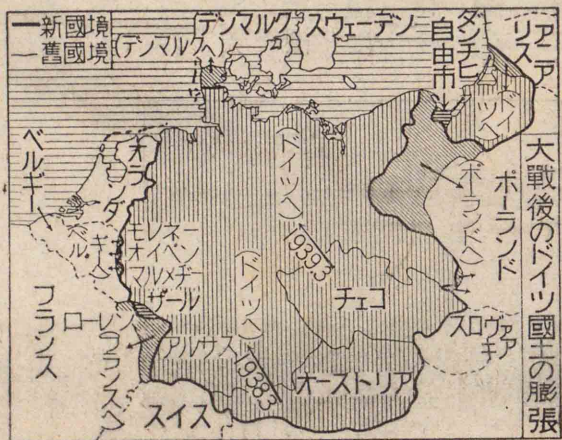
一九三九年九月、ダンチヒの回收を圖り、今次動亂を惹起したが、既にソ聯と共にポーランドを分割し、更にデンマーク・ノルウェー・オランダ・ベルギー・フランスを席捲し、英國と覇を争ふ等、今やドイツは歐洲第一の強國となつた。

**日本とドイツ** 我が國の軍事學術は、この國の影響を受けることが多い。殊に近年滿洲國を承認し、また防共協定を締結し、更に日獨伊三國同盟を結ぶ等、兩國の關係は益々親善を加へ、且經濟上に於ても密接な關係を有してゐる。

第三節 スロヴァキア

ドイツの南東に位し、舊チエコスロヴァキアの一地方であつたが、一九三九年

ヨーロッパ 中部ヨーロッパ



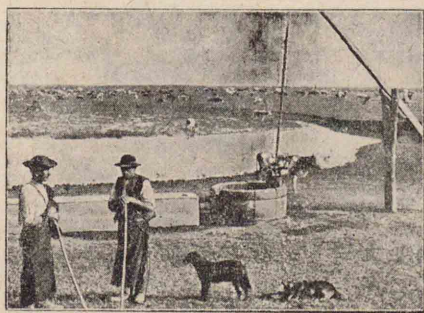


三〇萬方軒  
二七〇萬人

三月獨立してドイツの保護國となつた。住民は西スラヴ族に屬するスロヴァク族で、舊教を奉ずる。カルパチア山地は鑛産に富み山麓平地には牛羊等の牧畜が行はれる。首府はブラティスラヴァである。

#### 第四節 ハンガリー

ハンガリー盆地の一部を占める小内陸國で、ダニューブ河によつて黒海に、鐵道によつてアドリア海に通ずる。雨量が少く、中央に草地(プスタ)が連り、農業牧畜が行はれる。住民はアジア人種に屬するマジール族で、大戰後、領土は三分の一に減じて國勢が振はなかつた。近年チエコスロヴァキアの解體にあたり、ルテニア地方の併合に成功した。首府ブダペストはダニューブ河に跨り、交通商業政治の中心である。

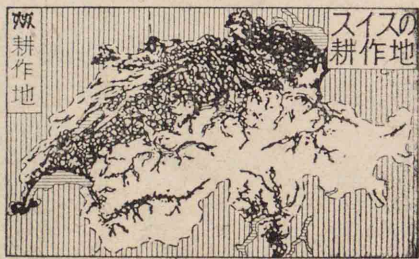


プスタの景觀

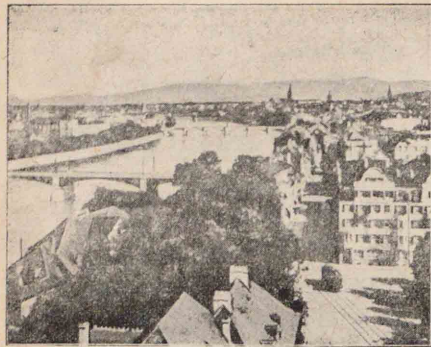
四萬方軒  
四八萬人

#### 第五節 スイス

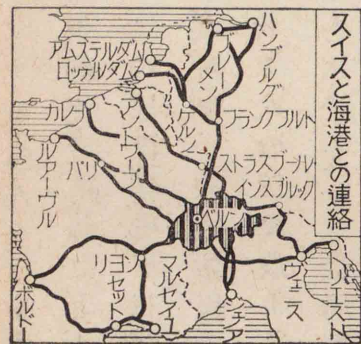
アルプスとジュラ山脈との間に位する内陸國で、マツテルホルン・ユングフラウ等の高峰が聳え、レマン・ルツェルン等多くの氷河湖と相俟つて山水の美に富んでゐる。湖畔の低地には農業が行はれ、山地には森林が繁茂し、牧牛酪業も行はれる。水力電



スイスの耕作地



バーゼル



スイスと海港との連絡

氣が豊富なため輸入原料を用ひて、時計絹織機械等、比較的高價な精巧品の製造が盛である。チューリヒ、バーゼルは工業地として著れる。鐵道は殆ど電化せられ、アルプスにはシンプロン・サンゴタルド等の大トンネルが通じる。



貿易はジェノア・マルセイユ・アントワープ等に行はれ、また観光登山客による収益も年一億圓に上る。この國は獨佛伊三強國間に介在する緩衝國で、共和制を布き、住民もドイツ人・フランス人・イタリー人の三民族より成り、公用語には三箇國語を用ひる。永世局外中立を宣言し、首府ベルンには萬國聯合郵便事務局、ジュネーヴには國際聯盟本部、萬國赤十字社本部等の國際的諸機關が設けられてゐる。



### 第五章 西部ヨーロッパ

オランダ・ベルギー及びイギリス・フランスの地域で、自然に恵まれ、資源が豊富で諸文化は高度に發達してゐる。何れも本國は狭い

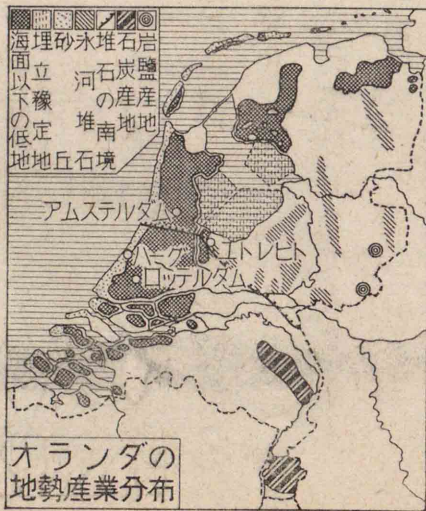
が海外に廣大な植民地を有してゐる。

#### 第一節 オランダ(和蘭)

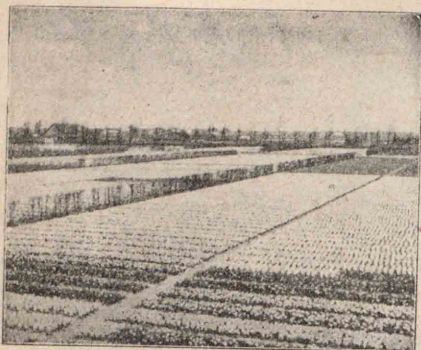
自然 北ドイツ平原の西に接し、大部分は低平でライン河・マース河の三角洲上を占め、國土の四分の一は海面以下にある。従つて

砂丘堤防によつて海水の侵入を防ぎ、排水してポルダーを造つてゐる。西風が卓越して概ね温暖多雨である。

人文 地味が肥沃で、園藝・牧牛に適し、ハーレムはこの業の中心で、花卉・バター・チーズ・煉乳は、この國の重要輸出品である。アムステルダム・ロッテルダムには獨英より



オランダの地勢産業分布



ハーレムの花卉園

三五萬方  
八四萬  
入  
自然

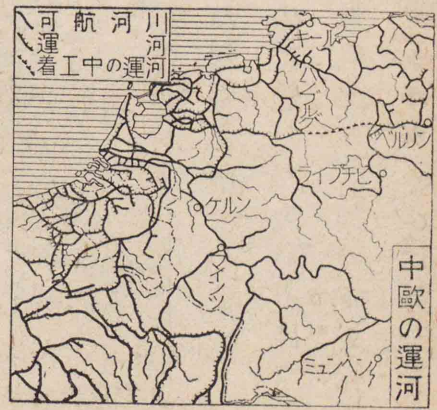
人文



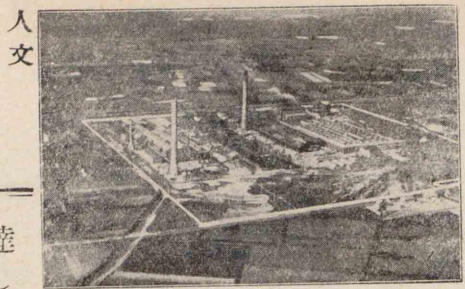
輸入の石炭鐵によつて造船業が盛である。首府ハーグに國際裁判所がある。運河の發達は世界に類なく、獨英、白佛等の國々と仲繼貿易が行はれる。住民はチュートン族で新教を奉じ、婦人は清潔を好む。早くから海外に發展し、本國に六十倍する植民地を領有してゐる。今回第二次歐洲戦争に捲きこまれ、本國はドイツ軍のため占領された。我が國とは昔から貿易を行ひ、我が文化の開發につくし、且つ現在も蘭領東インドに於て、經濟上密接な關係を有してゐる。

第二節 ベルギー(白耳義) 附ルクセンブルグ

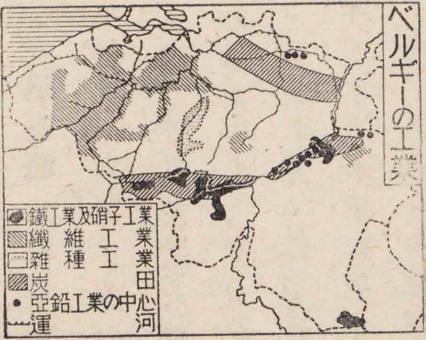
自然 北部はオランダに續く低地で、東南部に向ひ次第に高くなる。この間にマス・シルト等の河が流れ、運河も多い。氣候は海



三萬方籽  
八六萬人  
自然

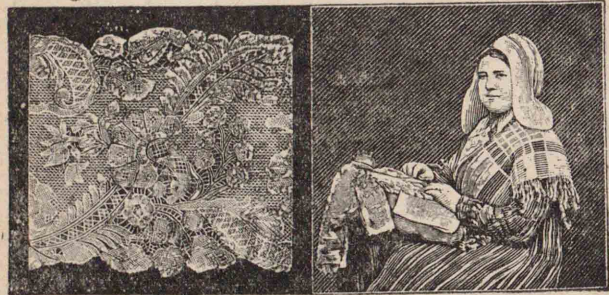


ベルギーの化學工場



洋の影響を受け溫和で雨量が多い。人文 低地丘陵地は溫暖で雨量に富み、麥類、甜菜、亞麻等を産する。アルダシヌ高原の北縁には、フランスにつゞく大炭田があつて工業が發

達し、リエージュは鋼鐵、亞鉛の精鍊業、カン麻布、綿布の製造に著れる。従つて原料を輸入して工業品を出し、佛、獨、蘭、英等と仲繼貿易を行ふ。アントワープはこの國第一の貿易港で、ライン河流域の門戸である。人口の稠密なことは世界第一で、ラテン・チ



ベルギー婦人のレース編み



トン兩民族の混合地帯に當るため、兩語を公用語とし、一般に舊教が行はれてゐる。本土は狭いが、これに八十倍する植民地がアメリカにある。今回オランダと共に、本國はドイツ軍のため占領された。首府ブルッセルは交通の要衝に當り、レースを産する。

ルクセンブルグ 大公國でドイツ人が多く、豊富な鐵鑛は主にベルギーに供給される。首府をルクセンブルグといふ。

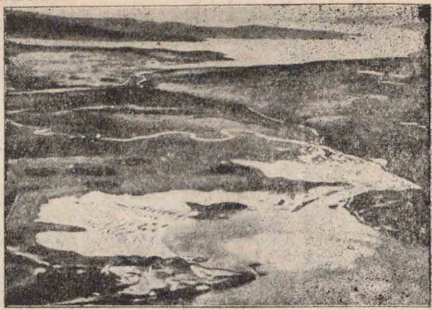
### 第三節 イギリス(英吉利)

概説 イギリスはヨーロッパ大陸に近い島國で、大陸を制する優れた位置を占めてゐる。面積は我が國の三分の一、人口は二分の一に過ぎないが、早くから商業國として世界に發展し、その植民地は面積に於て世界の五分の一、人口に於ては實に人類の四分の一を占めてゐる。

地勢海洋 大ブリテン・アイルランドの二大島と數多の屬島とから成る。大ブリテンの北部はスカンディナヴィア半島と對應して山

二萬方紬  
四二〇萬人  
概説

地勢海洋



スコットランドの峽灣景

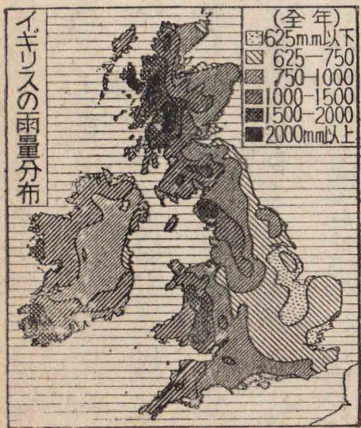
勝ちて海岸は峽灣をなし、處々に美しい氷河湖を湛へてゐる。南東部は北歐大平原の續きで概して平原が多い。アイルランドは低い山地を繞らし、湖沼に富む。チームス・ハンバー等の河川は舟運に適し、且河口が三角江となつて複雑な海岸線を作つてゐる。

氣候 緯度からいへば北樺太と等しい位置にあるが、メシキコ灣流と偏西風との影響を受け溫暖・濕潤で、霧が多

氣候  
産業

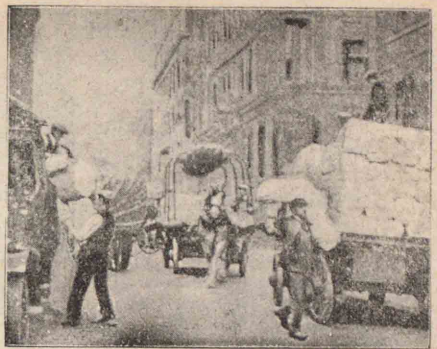
く、雨は西海岸に殊に多い。  
産業 商工業に従事するものが國民の二分の一を占めるに反し、農民は僅か一割に足りないから食料が不足である。

イングランドは、沃野が連り、小麥・馬鈴薯を産し、牧牛が行はれる。ペニン山地の



イギリスの雨量分布





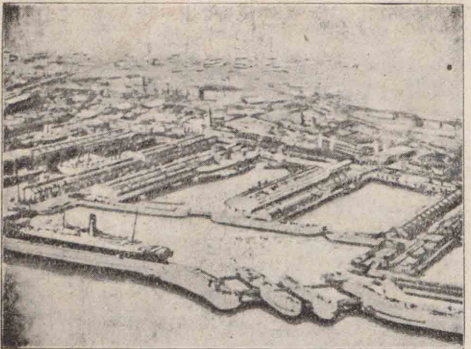
マンチェスターの綿布搬出

附近は鐵石炭の産に富み、西側のランカシャー地方は濕潤な氣候を利用してマンチェスターを中心にして世界屈指の紡織業が發達した。東側のヨークシャー地方は雨が少く牧羊が行はれ、リーディング・ブラッドフォードを中心として毛織業が興り、パーミンガム(製鐵機械・シエフィールド(夏物)等、一帯の工業地は黑煙空を覆ひ、黑郷地方と呼ばれる。北海は世界三大漁場の一で、鯨等の産が多く、沿岸に

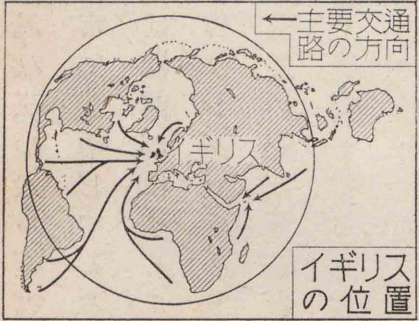
漁港が發達し、又ニューカッセルは造船、ミッドルズブラは製鐵に榮える。ウールスは良質の石炭を産し、カーディフはその輸出港である。スコットランドの中央大地溝帯に農業が行はれ、又石炭鐵も多く、グラス



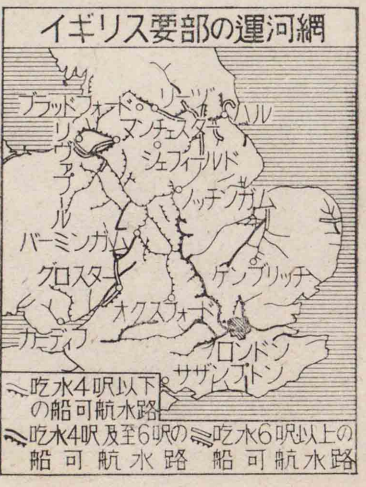
交通・商業



リヴァプール港



ゴーに造船・紡織等が發達した。アイerlandは農業・牧畜が行はれ、ダブリンに醸造業、ベルファストには製麻業が盛になつた。交通・商業 交通が頗る發達し、殊に商船は世界の三分の一



を占め、ロンドン・サザンプトン・リヴァプール等の良港を有し、世界第一の海運國である。航空路は國內は勿論、遠く南阿・濠洲等の植民地に通じてゐる。貿易額は世界第一に位し、原料・食料を輸入し、精製品を輸出してゐる。





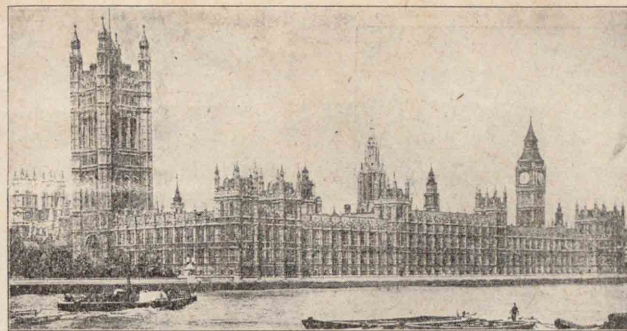
ロンドンの鳥瞰とタワーブリッジ



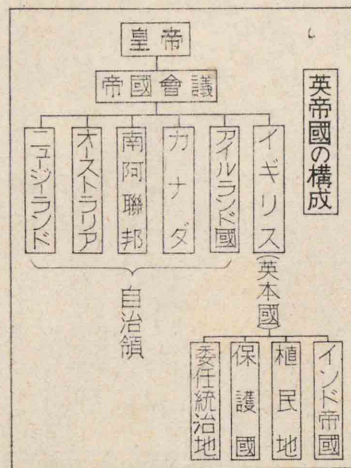
ドーヴァー海峽



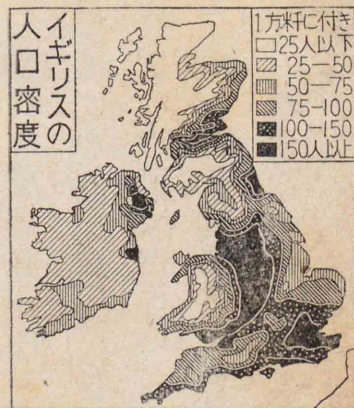
パリのシャンゼリゼー街



イギリスの國會議事堂



住民政治 世界第三の人口稠密國で、住民の四割は都市に集中してゐる。原住民のケルト族は、北西部に多く、チートン族のアングロサクソン人が主要民族をなし、新教を奉じ、着實勤勉で實利に長じ、通商航海に勝れてゐる。教育は進み、早くから女子參政權

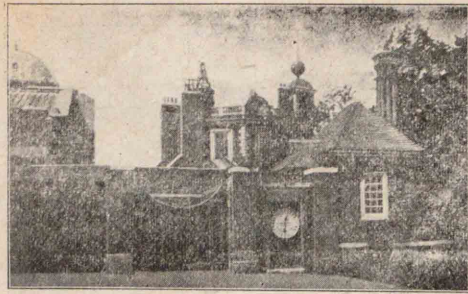


が認められてゐる。本國は大ブリテン・北アイルランド聯合王國と稱し、世界最古の立憲國である。十六世紀以來、海外各地に廣い植民地を獨占し、これ等

住民政治

ヨーロッパ 西部ヨーロッパ





グリーンニチ天文臺

ヨーロッパ 西部ヨーロッパ

の領土を合せて大英帝國を組織した。インド・南阿・カナダ・濠洲等の大生産地は本國に豊富な原料を供給すると共に本國商品の一大市場となる。又香港・アデン・ジブラルタル等、軍事・經濟上の重要地點を領有し、比類のない商船・軍艦を以て自國貿易の保護・發展に努めてゐる。然るに近時その植民地は自治獨立を叫び、その商品の販路もまた後進諸國によつて次第に蠶食されてゐる。殊に第二次歐洲大戰に際してはドイツの強襲にあつて、今や老大國危しの感が深い。

**處誌** 首府**ロンドン**はテムズ河に跨り、世界第三の都會で、商業・金融の世界的中心である。その東部には**グリーンニチ天文臺**があり、北西の**オクスフォード**、北東の**ケ**

處誌

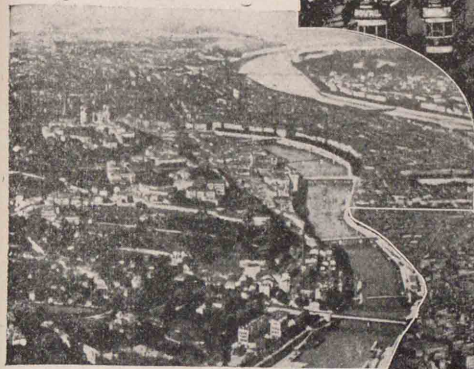
の領土を合せて大英帝國を組織した。インド・南阿・カナダ・濠洲等の大生産地は本國に豊富な原料を供給すると共に本國商品の一大市場となる。又香港・アデン・ジブラルタル等、軍事・經濟上の重要地點を領有し、比類のない商船・軍艦を以て自國貿易の保護・發展に努めてゐる。然るに近時その植民地は自治獨立を叫び、その商品の販路もまた後進諸國によつて次第に蠶食されてゐる。殊に第二次歐洲大戰に際してはドイツの強襲にあつて、今や老大國危しの感が深い。

イギリスの主要領土

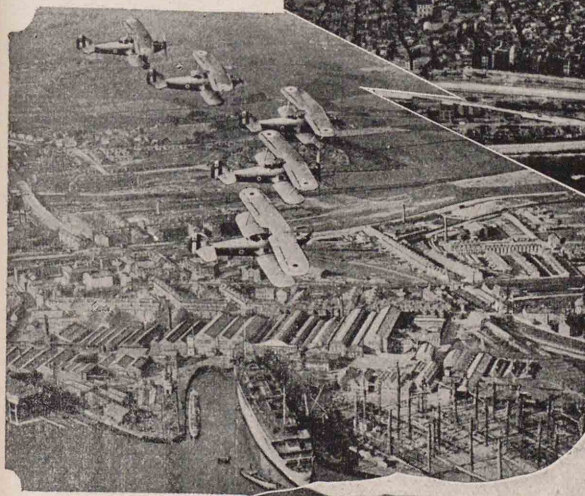


■英領 (保護地委任統治を含む)

ダブリン市街



ローヌ河畔の  
リヨン



マルセーユの航空景

モナコ

イギリスの  
造船所





ンブリッヂには有名な大學がある。ドーヴァーは大陸に渡る要津で、ポーツマスは軍港である。リヴァプールはマンチェスターその他工業地の門戸に當り、スコットランドの舊都エディンバラは學術文藝の中心で、出版業が盛である。アイルランドは、近年、その大部が自治領となり、ダブリンに首府を置いてゐる。

日本とイギリス 我が國と國情の類似する點が見られ、嘗ては日英同盟を締結したこともあり、インド・オーストラリア等の植民地は現今我が重要な貿易先となつてゐる。かくて彼我の商品は競争の地位に立ち、彼はあらゆる手段を講じて我が商品の進出を防退してゐる。又政治的には我が新東亞建設の目的を認識せず、米佛等と共に支那の抗日政權を援助し、陰に陽に我が國力の發展を阻止しようとする等、最近兩國の關係は圓滑をかいてゐる。

日本とイギリス

五萬方人

概説

地勢氣候 産業

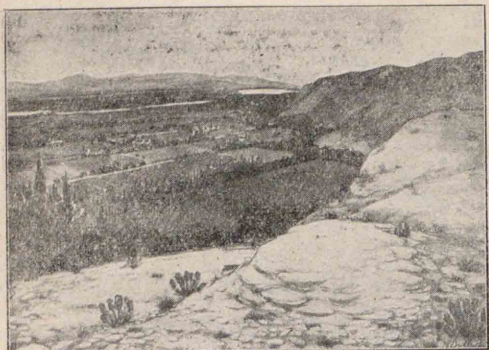
#### 第四節 フランス(佛蘭西)

概説 フランスは、西部ヨーロッパの中部に位し、大西洋と地中海とに面してゐる。本國の面積は我が國の八割であるが、植民地は本國の二十二倍に達する。夙くから文化が開け、曾ては全歐を風靡したこともあるが、今は國勢が衰へた。

地勢氣候 東南部にはアルプス、西南部にはピレネー

山脈が連り、何れも高峻で、イタリイ・スペインに對する自然的國境をなしてゐる。中央高地を中心にセイヌ・ロアール・ガロンヌ・ローヌ等の諸川が放射狀に流れ、その流域に盆地平野が開けてゐる。一般に溫暖多雨で、殊に南部は所謂地中海性氣候で、冬が暖いから果樹の栽培が行はれ、保養地が連つてゐる。

産業 農業が盛で、農民は國民の三分の一に餘り、北部



野平谷河



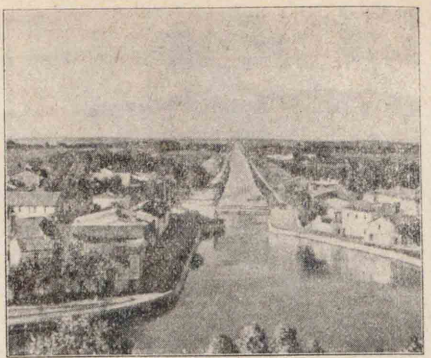
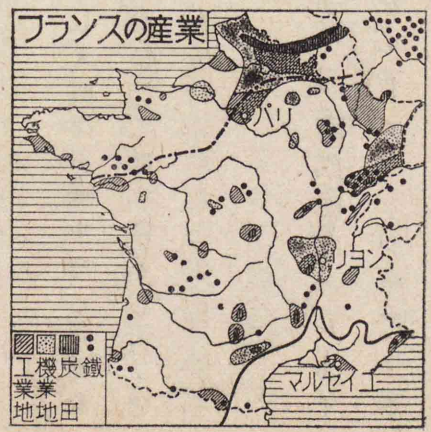


フランス南東部の葡萄園

交通・商業

には、大麥・小麥・馬鈴薯・甜菜を産し、南部には玉蜀黍が多い。地中海岸はオリヴ・柑橘等を産し、葡萄は北部海岸を除く全土に栽培せられ、ランス・ポルドーは葡萄酒産地として世界に名高い。ナントは製糖で著れる。ローヌ河谷には養蠶が盛で、リヨンに絹織が行はれる。石炭・鐵産地に近く、ナンシー(製鐵)、ルアン(製鐵)、メス(製鐵)に近く、サンテティエンヌ(製鐵)鐵産地にサンテティエンヌ(製鐵)機械等の工業都市が勃興した。パリ雜貨は流行の先驅をなし、廣く世界に輸出される。

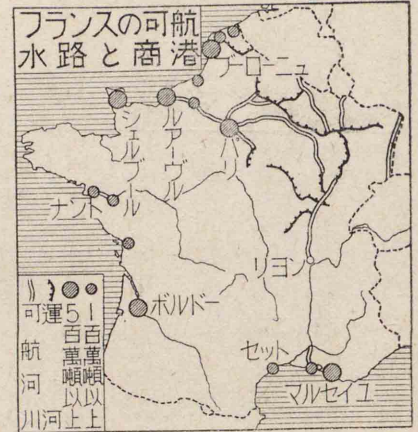
**交通・商業** 地中海・北海・ビスケー湾は、連河運河によつて結ばれ、鐵道・海運・航空路も完備し、遠く東アフリカ・佛領インド支



ローヌ河とセツト河とを結ぶ運河

住民政治

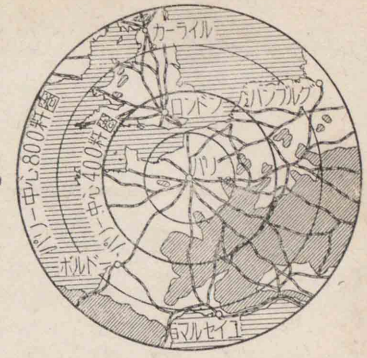
族のフランス人て、舊教を信ずる。夙くより文化が發達し、特に藝術方面に優れ、その言語は外交・社交上に用ひられてゐる。この國は列強中、人口増加が最も少い國で、政府は女子の保護につとめ、その對策に腐心してゐる。立



那に定期航空が開かれてゐる。カレーはイギリス海峡横斷の要津である。輸入の大部は原料・食料で、輸出は精製品がその八割を占める。

**住民政治** 概ねラテン

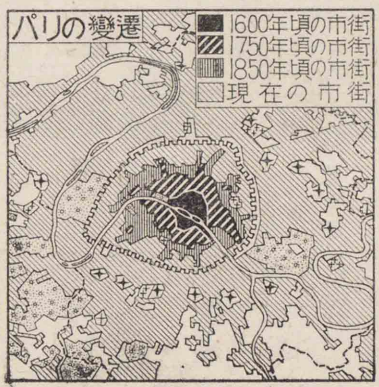




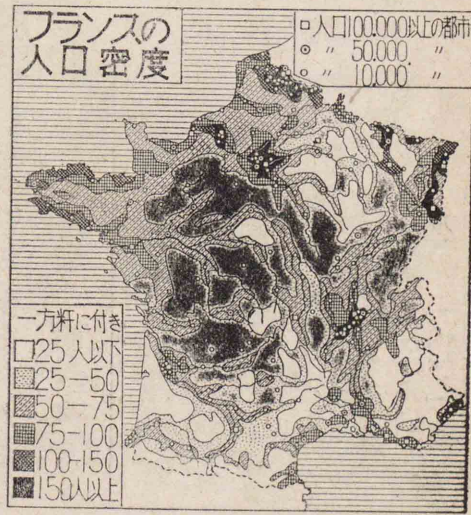
處誌

憲共和國で、世界大戦にドイツに勝つて一時隆盛を誇つたが、今次の第二次歐洲大戦に際してドイツ軍の猛攻により、これに降伏するに至つた。

處誌 首府



パリはパリ盆地の中央に位し、歴史上の遺蹟に富み、美術の都として世界にその華麗を誇つてゐる。南西郊外のヴェルサイユには有名な宮殿がある。ルーヴルはパリの門戸に當り、英米との取引に榮え、半島部のシルブー



1110

日本とフランス

ル・ブレストは軍港である。マルセイユはこの國第一の貿易港で東洋アフリカとの取引が盛んで、石鹼、植物油の製造が行はれる。リヴィエラ海岸は温暖で風景が美しく、ニースは保養地である。



リヴィエラ海岸



ルーヴル

日本とフランス 我が國の軍事學藝法律等はこの國に負ふ所が多かつたが、今も美術家の往來が行はれる。貿易その他に於て國交は厚いが、政治問題については、對立する場合が少くない。

モナコ リヴィエラの小公國で遊覽者が多く、公設賭場の収益で國費を辨



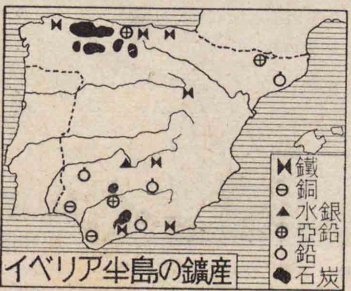
ずる。その海洋博物館は世界に名高い。

### 第六章 南部ヨーロッパ

南部ヨーロッパは、地中海に面するイベリア・イタリア・バルカンの三半島を含み、ヨーロッパでは最も早く開けた地方である。

#### 第一節 イベリア半島

北部にはピレネー・カンタブリア二山脈が東西に連り、南部のシエラネヴァダとの間に高原が続き、大河は概ね西流する。山地は大陸性気候で雨が少く、牧畜が行はれ、**ビルバオ**の鉄を始め水銀・銅・鉛等の産は豊か<sup>ニ</sup>で、多くは鑛石のまま、英獨伊に輸出される。地中海岸はオリブ。



スペイン  
 五萬方人  
 二四五萬方人  
 ポルトガル  
 九萬方人  
 七三萬人

マドリード市街



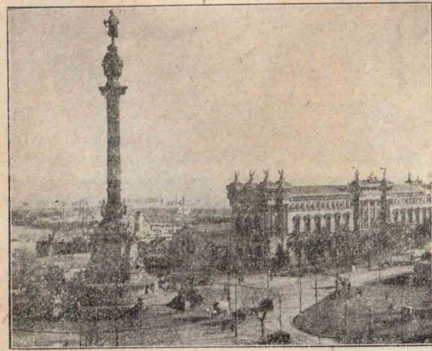
ローマ市内の  
ヴァティカン市  
(中央はセントペテロ寺)



ネーブルスとヴェスヴィウス







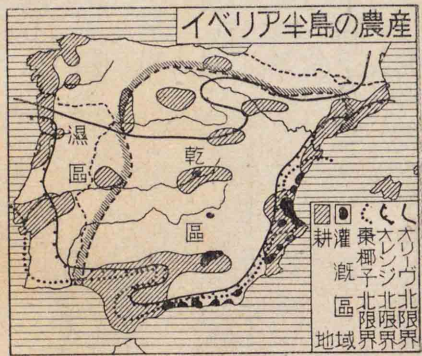
バルセロナ

ヨーロッパ

南部ヨーロッパ

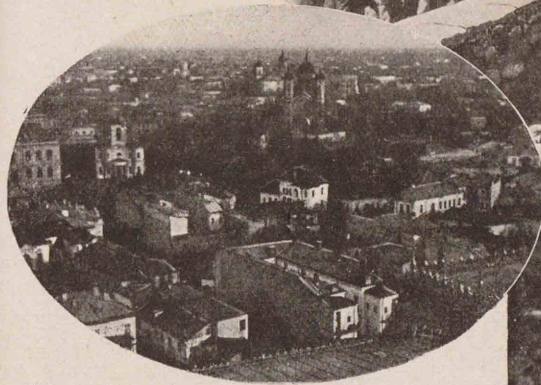
とめないで、國勢は振はない。スペインは屢、内亂を  
 た。現在國民は射倖心が強く、闘牛を楽しみ、産業につ  
 つたが、植民政策を誤つたため、その大部を失ふに至つ  
 到る處に植民地を獲得し、一時は我が國とも交渉があ  
 國を建ててゐる。兩國國民は、曾ては世界  
 舊教を奉じ、スペイン・ポルトガル二共和

葡萄・コルク櫛ガシが多く、バルセ  
 ロナはコルクを輸出し、紡織  
 業が盛である。大西洋岸は  
 多雨で葡萄、玉蜀黍、小麥を産  
 し、ポルトはポトワイン  
 の輸出港である。住民の大  
 部はラテン族で



一三三

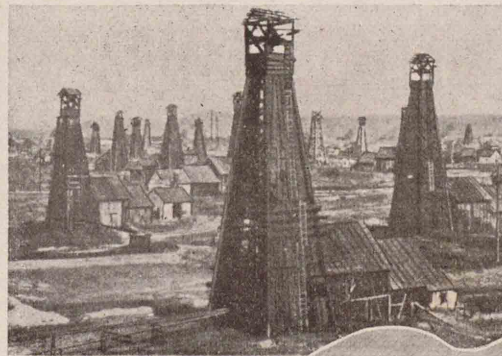
アテネの展望



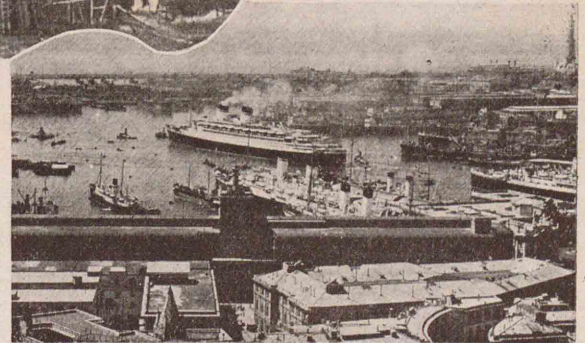
ブカレスト市



ギリシャの薔薇採取

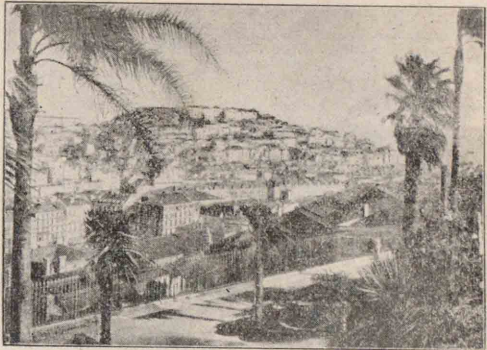


ルーマニアの油田



ゼノア港





リスボン

繰返したが、近年フランコ政権が確立し、獨伊兩國を背景として防共を標榜してゐる。首府はマドリードである。ポルトガルの首府リスボンは葡萄酒・コルクを輸出する。

バレアル諸島 スペインの東地中海にあつて、軍事交通上、樞要な位置を占める。

ジブラルタル 地中海

の西口を扼し、英國の直轄植民地で、要塞貯炭所がある。

アンドラ バスク族の小共和国で、佛西兩國の保護を受けてゐる。

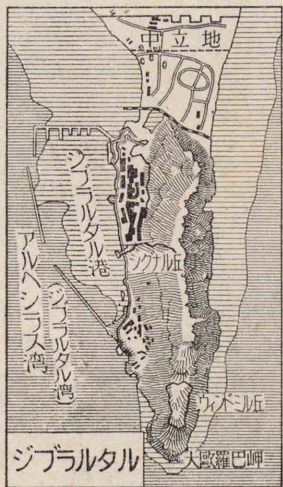
五方軒  
二五萬人

三萬方軒  
四五萬人

概説

### 第二節 イタリー(伊太利)

概説 イタリーは地中海の中央に突出する半島と數箇の島嶼とから成



地勢氣候



アルプス山麓の水湖河

り、アフリカ・バルカン半島と相對し、密接な關係を有する。面積・人口とも我が内地の二分の一であるが、近時バルカン・アフリカに進出して著しく領土を擴張した。

### 地勢氣候

北部には高峻なアルプスが連つて、自然的國境となり、これから流れるポー河は、ロンバルデー平原を開いてゐる。アペニン山脈は、半島の脊梁をな

し、シシリー島よりアフリカに連る。ヴェスヴィアス・エトナ等有名な火山が聳え、屢地震が起る。一般に地中海性氣候を呈し、夏は乾燥し、冬は雨が多く温暖であるが、北部は稍大陸性である。

産業 ロンバルデー平原はこの國第一の生産地で、小麦・玉蜀黍・米等の農産が多く、山麓は養蠶が盛である。半島は農産に乏しく、僅

産業

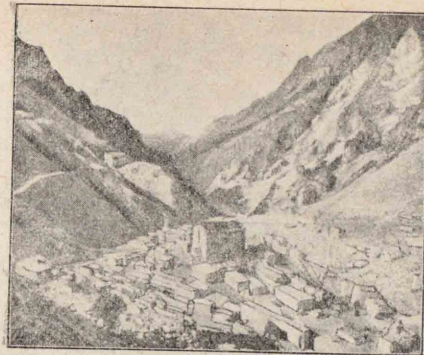


交通・商業  
住民・政治

かに葡萄・オリーブを産する。鑛産は硫黄・大理石は豊であるが、石炭・石油等が少い。近年水力利用の近代工業が興り、ミラン(紡織・<sup>一三</sup>チューリン(紡織・車軸)・ネーブルス(製糖機械)等に工業が勃興した。

交通・商業 この國は

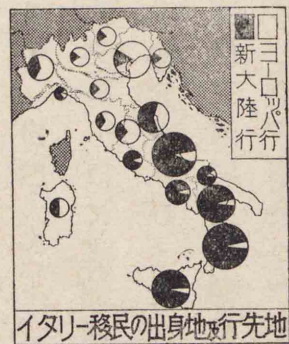
スエズ運河開通以來、歐亞連絡の世界的航路に直面し、又鐵道はアルプスを越えて中歐諸國に通じてゐる。<sup>三</sup>ジノ・ア・ブリンディシ、<sup>四</sup>ネーブルス、<sup>五</sup>フィウメはこの國の門戶、中歐の南門として發展してゐる。貿易は次第に増加して石炭・棉等を輸入し、綿織・人絹製品を輸出する。  
住民・政治 人口が稠密な上に、増加率も大であるから、



大理石の採掘



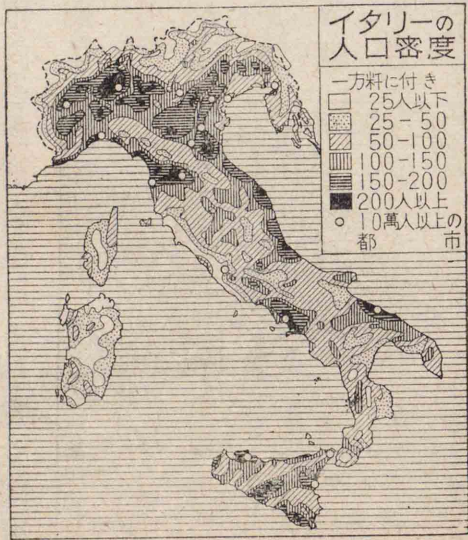
國外移民が多く、過去五十年間に一千万人に達した。



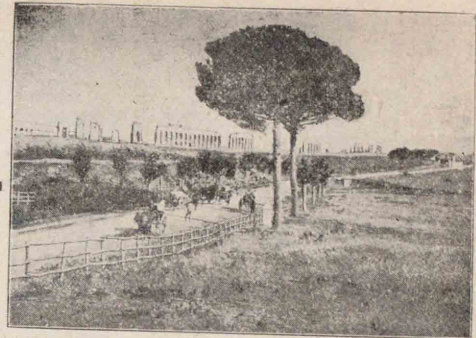
イタリア移民の出身地

住民はラテン族のイタリア人が多く、熱情的で藝術に長じ、女子も極めて勤勉である。立憲王國で、

統一後未だ百年にならぬが、次第に國勢が振ひ、近年ムッソリーニ首相統率の下に國民一致協力し、エチオピア・アルバニア二國を併せて植民地は本土の十倍に達した。又今次大戰には、ドイツとの軍事同盟に基づいて英佛に宣戦し、地中海・バルカンの制覇を目指し往年のローマ大帝國の實現を期してゐる。





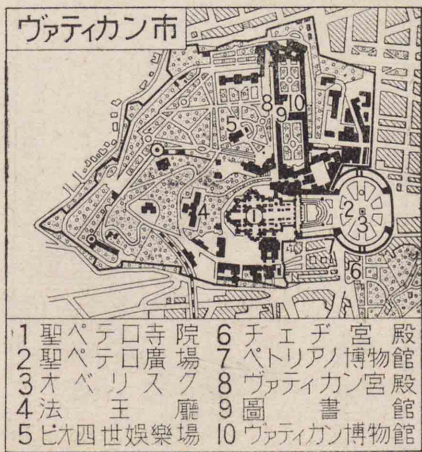


ローマ郊外の遺蹟

處誌 首府ローマは、ローマ帝國の舊都で、當時の遺蹟が多く、フロレンス<sup>一六</sup>は美術の都で、西方のピサは斜塔に名高い。ヴェニス<sup>三</sup>は曾て盛な商工業地で、硝子寶石細工を産し、シシリ<sup>二六</sup>島のパレルモ<sup>四</sup>は果實、硫黃の産が多い。サルデーニア島は鐵産地である。

ヴァチカン市 ローマ市内の西部を占める小獨立國家で、ローマ法王廳の支配に屬し、法王廳等がある。

日本とイタリー 自然人文上我が國との類似點が多い。既に滿洲國を承認し、我と防共協定を結び、また今次歐洲大戰に日獨伊三國同盟を締結する等、極めて親善の關係を保つてゐる。



- |        |        |      |      |        |        |        |        |        |         |
|--------|--------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1 聖ペテロ | 2 聖ペテロ | 3 法王 | 4 法王 | 5 世娛樂場 | 6 聖ペテロ | 7 聖ペテロ | 8 聖ペテロ | 9 聖ペテロ | 10 聖ペテロ |
| バチカン   | バチカン   | バチカン | バチカン | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン    |
| 聖堂     | 聖堂     | 聖堂   | 聖堂   | 聖堂     | 聖堂     | 聖堂     | 聖堂     | 聖堂     | 聖堂      |
| バチカン   | バチカン   | バチカン | バチカン | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン   | バチカン    |

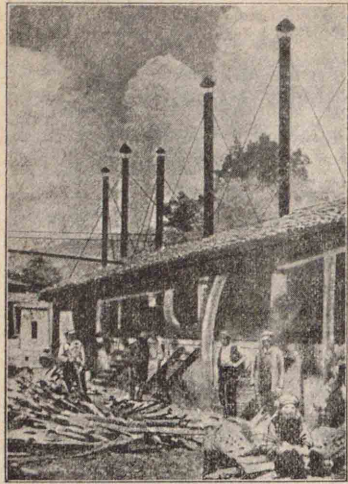
處誌

〇西方人  
一〇四人  
日本とイタ  
リー

サンマリノ アペニン山中にある古い小共和國である。マルタ島 地中海にある英領の小島で、その主邑ヴァレッタは英國地中海艦隊の根據地である。

### 第三節 バルカン半島

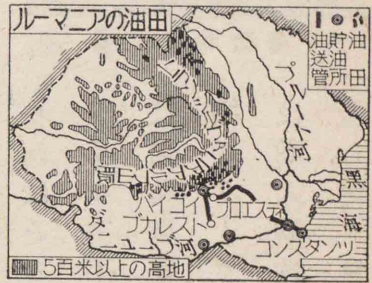
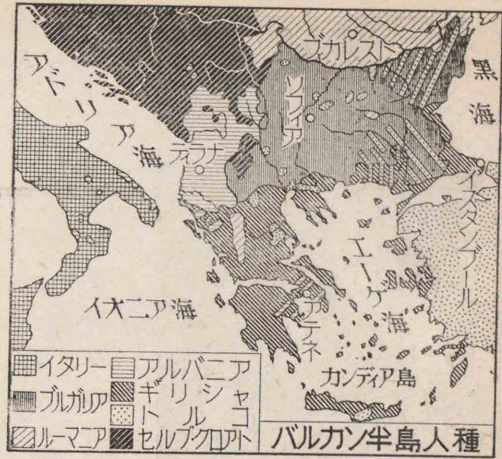
バルカン半島はヨーロッパとアジアとの接觸地帯で、兩大陸連絡の陸橋である。トランシルヴァニアアルプ・バルカン・ディナルアルプ・ピンドス等の山脈が連つて、この半島を數地域に分つてゐる。ドナ



薔薇油の工場

ウ河はその間を貫流して黒海に注ぎ、下流にワラキア平原を展開してゐる。地中海沿岸は屈曲・島嶼に富み、地中海性氣候を呈し、葡萄酒・オリヴ油・薔薇油等を産する。内陸地方は稍大陸性を呈し、麥類・玉蜀黍・甜菜・煙草等を産し、テッサロニキ・ブカレスト・ガラツ等はその



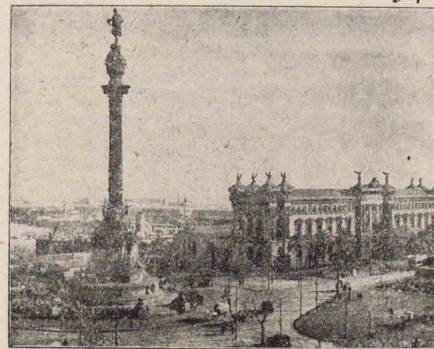


つて古來紛亂を重ね、歐洲の噴火口と稱せられる。

集散地である。北東部には石油を産し、プロエステ<sup>八</sup>で製油が行はれる。バルカン半島は歐亞諸民族の混合地域で、複雑な地形と相俟つて小民族國家が分立してゐる。従

二五萬方籽  
一四五萬人  
三萬方籽  
一九〇萬人

ユーゴスラヴィア 南スラヴ族の立憲王國で、テッサロニキを門戸とする。首府はベルグラードである。  
ルーマニア ラテン族(ルーマニア人)の立憲王國で、大戰後領土が倍加し、首府はブカレスト



ベルグラード市街

二〇萬方籽  
六七萬人  
三萬方籽  
六五萬人

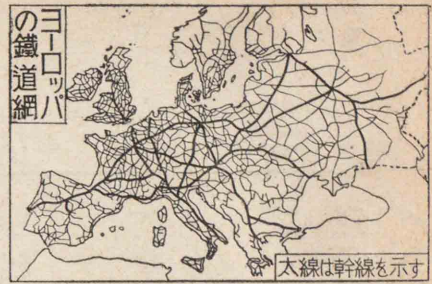
トである。  
ブルガリア 南スラヴ族(ブルガリア人)の立憲王國で、舊領土の回收を計つてゐる。首府はソフィアである。  
ギリシャ ギリシヤ人の立憲王國で、古い歴史を有し、首府はアテネである。  
これ等弱小國は民族的に一致しないのみでなく、強國に依存するので、これに乗じて、ソ聯はその大民族國家の建設と海洋への出口とを求めて南進し、ドイツは石油とダニューブの水運を要求し、伊はアドリア海の制覇を期してアルバニアに進出し、英佛は其等を抑制せんとして干渉する等、バルカン諸國は多事多難である。

第七章 總括

産業 地形氣候に恵まれ、資源が豊富な上に、文化が進んでゐるため、自然はよく利用せられ、産業が著しく發達してゐる。略中央を

産業

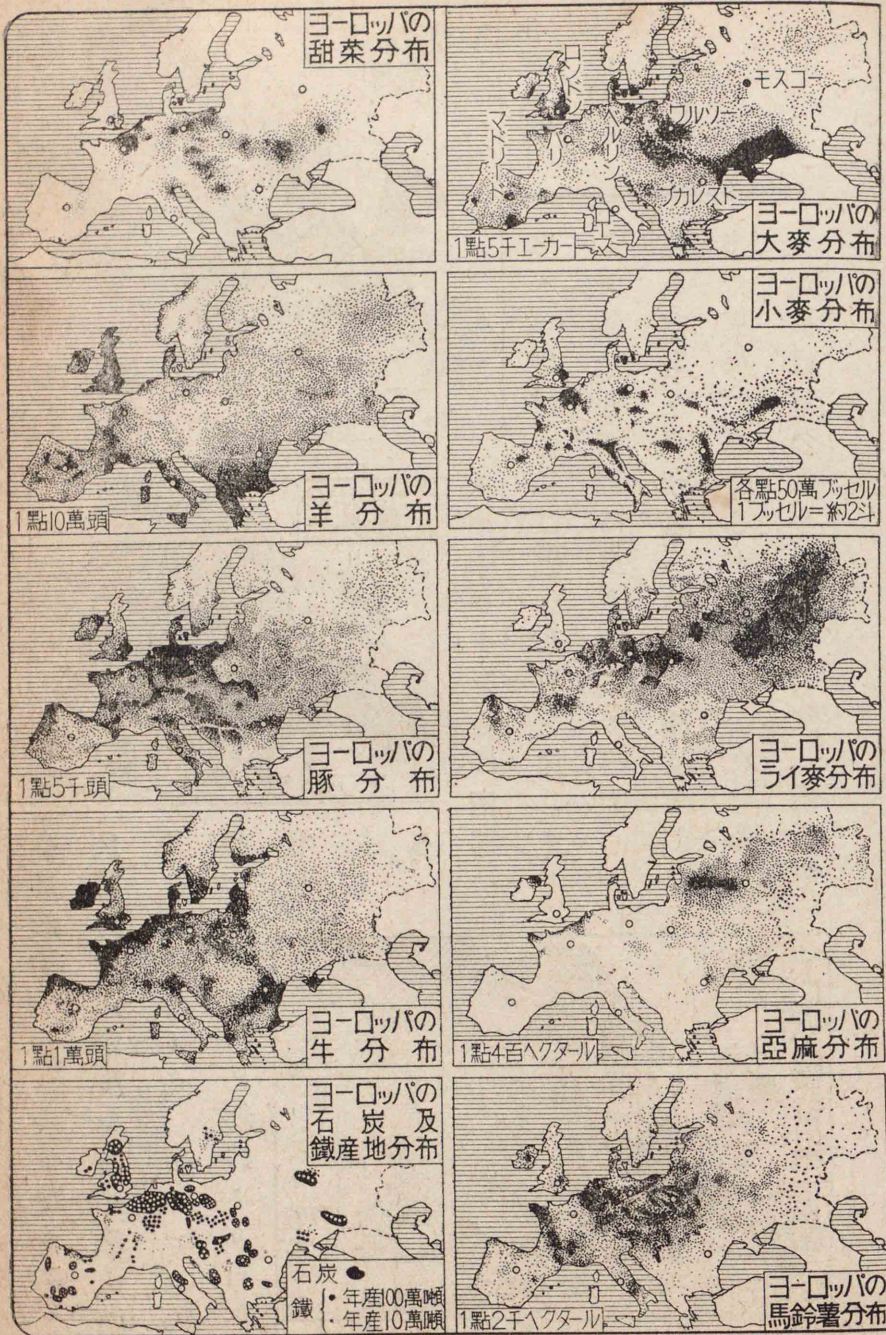
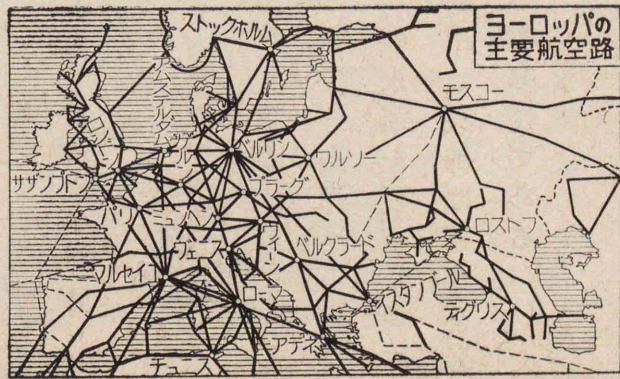




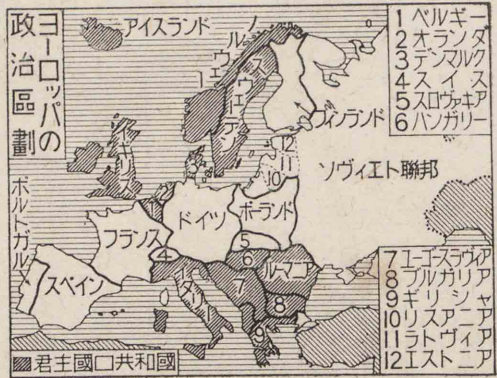
交通・商業

東西に連る大平原は農業が進み、麥類、馬鈴薯、甜菜等が多く、その東部は穀倉といはれる。北東部は木材、バルブの産に富み、近海は世界有数の大漁場である。西歐は一般に食料が不足であるが、鐵石炭が豊で、英、佛、白獨等の世界的工業國が連り、近年ソ聯の工業も急激に發展した。

交通・商業 交通機關もよく備はり、鐵道延長は世界の三分の一に及び、その密度は實に世界第一である。河川は運河網の發達と相俟つて、内陸交通を助け、航空路は遠く他の大陸へ開けてゐる。英、蘭、諾等海運國が多く、北米との往來が繁く、貿易が頗る盛で、世界經濟の一中心となつてゐる。

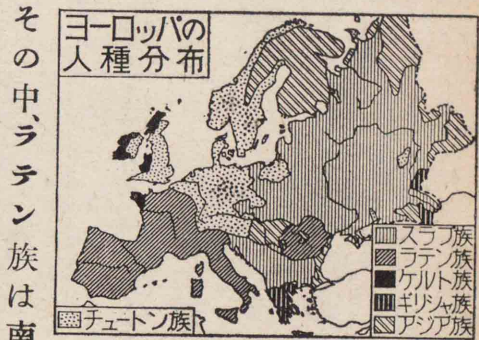
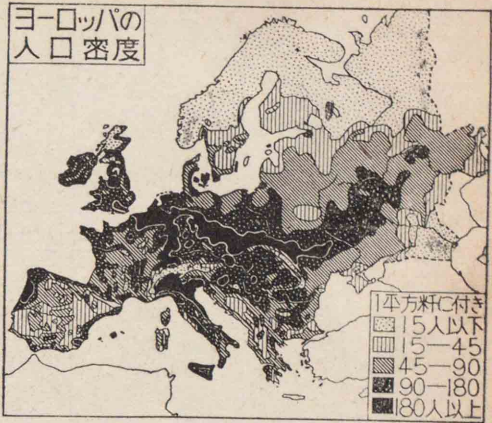






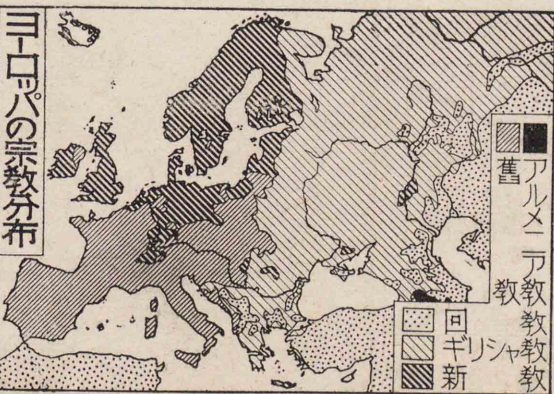
の國家を壓迫してゐる。獨立國家は大小三十餘を數へ、その中獨逸二國は、各國家意識を強調し、國民精神を鼓舞して政治的・經濟的に現状打破を主唱し、英佛は民主主義を強調し、現状維持を圖つて對立したが、遂に第二次歐洲大戰となり、將に英佛等の舊勢力の壞滅を見ようとする情勢にある。

住民政治



その中、ラテン族は南部に多く、典雅で藝術に優れ、舊教を信じ、チュートン族は北西部に多く、着實で研究心に富み新教を奉ずる。スラヴ族は東部に多く、素朴で忍耐力が強い。これ等の三大民族は他の弱小民族を支配し、或はそ

住民政治 人口は五億を超え、世界最大の密度を有し、殊に西半に稠密である。ヨーロッパ人が九割を占め、概ねキリスト教を信じ







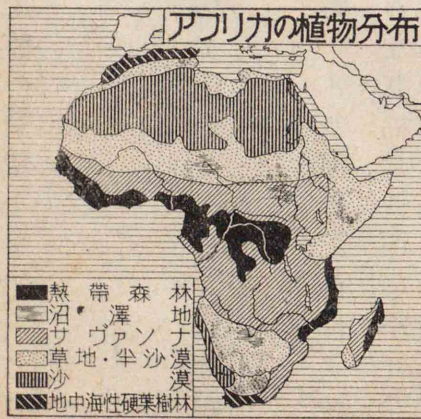


氣候



繁茂し、南北兩端は冬季、溫暖多雨の地中海式氣候を呈し、稍開拓が進んでゐる。中央熱帯林の南北兩側は、サヴァンナよりステップに漸移し、更に北部にはサハラ・リビア、南部にはカラハリ等の沙漠となつてゐる。バオバブ樹の孤立する草原には獅子・象・斑馬、密林にはゴリラ・大蛇・河馬

アフリカ洲 序説

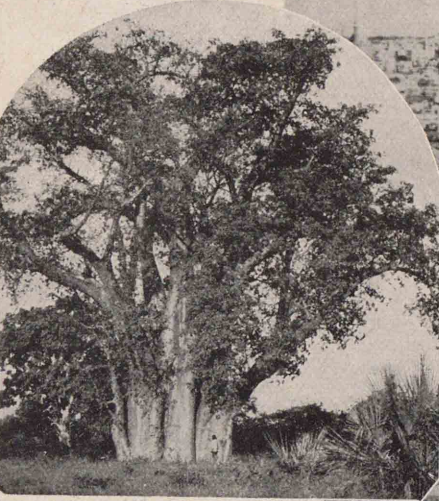


一四七

カイロ市街

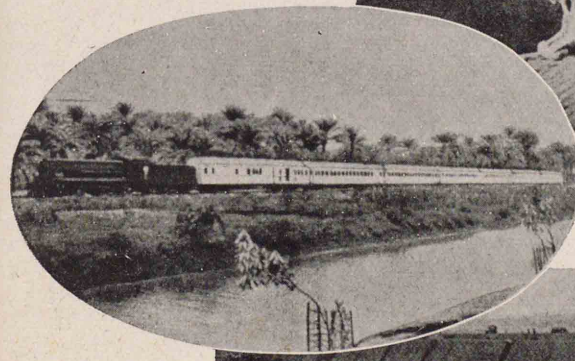


サハラ沙漠

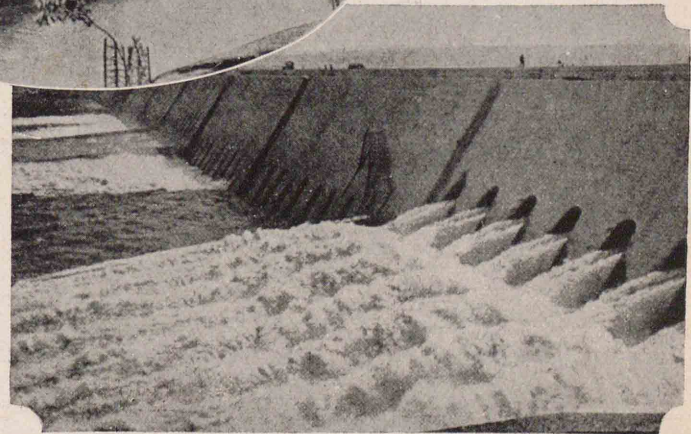


バオバブ樹

スエズ運河地帯を  
走る列車



アスワンの大堰堤



沼を伴ひ、これより發するナイル・コンゴ等の大河は諸所に急流瀑布をなして海に注いでゐる。海岸は概ね單調で良灣に乏しい。氣候 大部は熱帯に屬し、中央の赤道地方は炎熱多雨で、熱帯林が

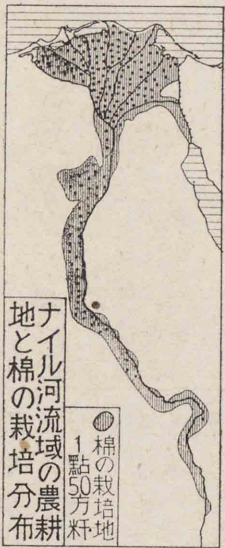
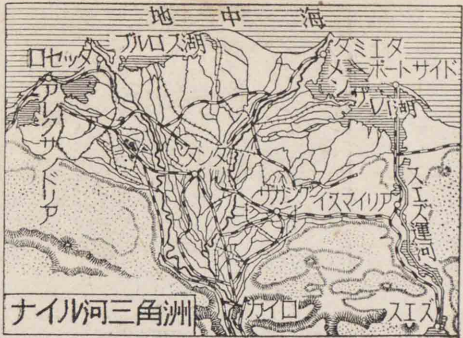


鱷等、巨大獾猛な動物が横行して本大陸獨特の景觀を呈する。

### 第二章 北部アフリカ

地中海沿岸地方で、氣候がよく、比較的開拓が進んでゐる。古來歐洲との關係が深く、その植民地が多い。

エジプト  
九萬方  
五三萬人



エジプト 大部は沙漠であるが、ナイル河の氾濫によつて、河谷・三角洲は豊饒な農耕地となり、棉・甘蔗・煙草・小麥の産が多く、燐礦も少くない。スエズ運河は一八六九年フランス人レセップズによつて開かれ、その南北の入口にポルトサイド・スエズがある。住民の大部はナイル流域に密集し、セム族のエジプト人が多く、回

教を奉ずる。一時イギリスの保護國となり、大戦後獨立したが、依然イギリスの勢力が強大である。首府 **イロ** は交通の要地に當り、附近に、ピラミッド・スフィンクス等古代文化の遺蹟が多く、**アスワン** 附近には灌漑によつて棉が作られる。**アレクサンドリア** は古來著名な商港で、我が汽船も綿織物・人絹織物を齎して寄航し、棉を積んで歸る。

**バルバリ地方** エジプトより西の地中海沿岸で、主に佛伊に分屬

方  
バル  
バリ地

バルバリ地方		國名	所屬	面積	人口
イ	領	リ	ビ	一八〇萬方	八萬人
チ	ユ	ニ	ス	一六〇萬方	二〇〇萬人
ア	ル	ジ	モ	三〇〇萬方	七〇〇萬人
コ	佛	領	モ	四〇〇萬方	三〇〇萬人
ロ	西	領	モ	三三〇萬方	一五〇萬人
モ	タ	ン	ジ	六〇〇萬方	八萬人
中立地帯	中立地帯	中立地帯	中立地帯	中立地帯	中立地帯

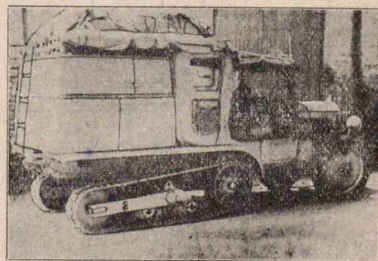
し、果實・アルファ草を産し、アトラス山地・内陸の草地には牧畜が行はれ、モロッコ革の産が



サハラ

アフリカ洲 東部アフリカ  
ある。住民は主にセム族で回教を奉ずる。

サハラ 世界第一の大沙漠で、大部はフランス領である。點在する泉地オアシスを連ねて沙漠横斷の隊商路が開けてゐるが、近時自動車オモトビがこれに代りつゝある。北部は鑽井によつて開拓が進められてゐる。



沙漠横斷の自動車

### 第三章 中部アフリカ

スダン地方

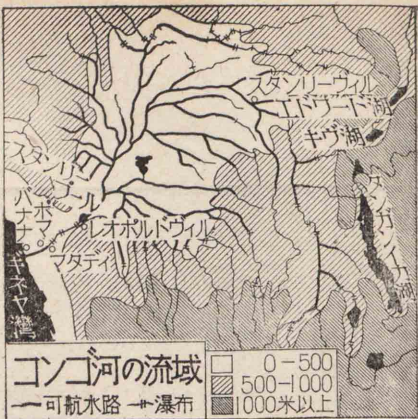
スダン地方 リビア・サハラ兩沙漠南方のステップ・サヴァンナ地帯で、

三萬方人  
二萬方人

河谷・海岸に僅に棉・椰子油・ココア等を産する。住民はネグロ族が多い。アングロエジプトスダン五はイギリス・エジプトの共同政治が行はれ、首府ハルツームは交通商業の中心である。西部スダン

リベリア  
三萬方人  
二萬方人

主に佛領で、その間に英領・葡領及びリベリア共和國等がある。



下ギネア地方 ギネア灣東岸を指し、熱帶性氣候でパンツ族が多く、少數のピグミー矮人を混へ、佛・白・葡の三國に屬分する。白領コンゴは廣大な盆地を占め、金剛石は近時急に産額を増して世界第一となり、尙ゴム・椰子油・銅・金等の産が多く、コンゴ河は水量が豊で、大陸横斷路の一部となつてゐる。

大西洋には、ナポレオン一世の配所として有名なセント・ヘレナ島を初め、多くの火山島が散在し、交通上の要地となつてゐる。

### 第四章 東部アフリカ

下ギネア地  
方  
白領コンゴ  
三萬方人  
二萬方人  
九萬方人

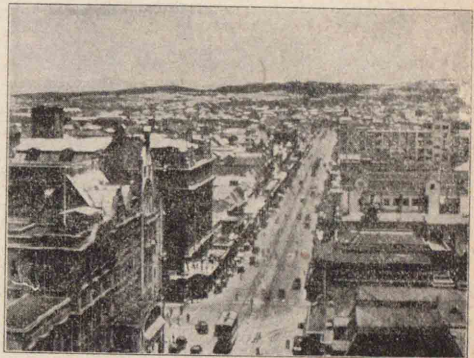
東部は紅海の南岸よりザンベジ河の下流に至る地域で、其の西部にはアフリカ大地溝帯が連る。熱帶海岸に甘蔗・コブラ等を産し、紅海沿岸に鹽が作られる。高原には羊・牛の牧畜が行はれ、珈琲・

アフリカ洲 中部アフリカ









ダーバン

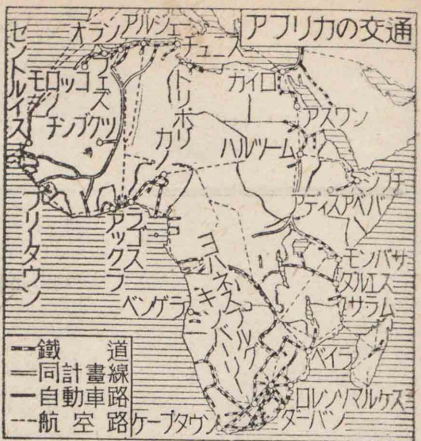
の自治州より成り、ブレトリアに聯邦政  
府を置く。聯邦議會のあるケープタウン  
は、アフリカ縦貫鐵道の起點で、金、小麥、  
羊毛等を輸出し、ダーバンと共に我が南  
米航路の寄航地である。

ベチアナランド、ローデシアはイギリスの  
保護地、舊獨領南西アフリカは南アフリカ  
聯邦の委任統治地である。

### 第六章 總括

#### 産業

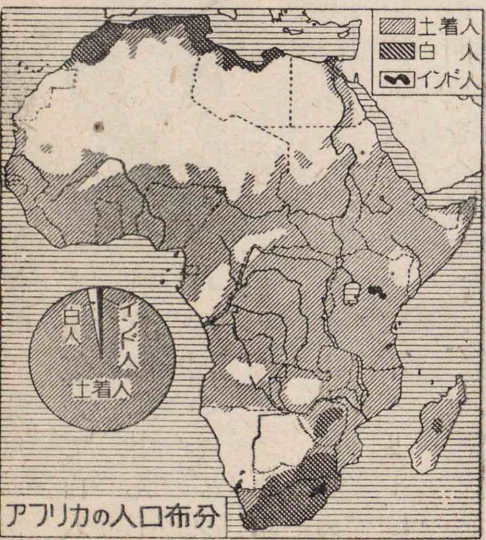
産業 大部は酷熱で密林・沙漠が廣く、南部の鑛産以外はあまり産  
業は振はない。近年ナイル河畔その他に、人工灌漑による農耕が  
漸く進んで來た。



交通商業  
住民政治

交通商業 交通は自然的障害が著しく、今尙原始的  
で、馱獸人力による場合が多い。近時、南北縦貫鐵道  
を始め、多くの自動車路が次第に發達し、又歐洲より  
航空路も開かれるに至つた。物々交換の原始的商  
業が残存し、貿易は主に領有國との間に行はれる。  
近時我が商品の進  
出が著しい。

住民政治 アフリカ人種は三分  
の二を占め、主として中部以南に  
居住する。ヨーロッパ人種は北部  
南部に分布し、支配的地位に立つ  
てゐる。ハム・セム族は回教、白人  
はキリスト教を奉ずる。土人は



アフリカの人口分布









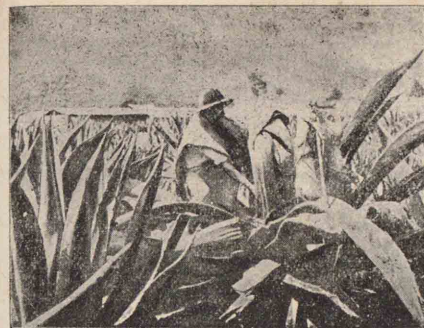
カリフォルニアに於ける我が移民の農場



カリフォルニアに於ける果樹園



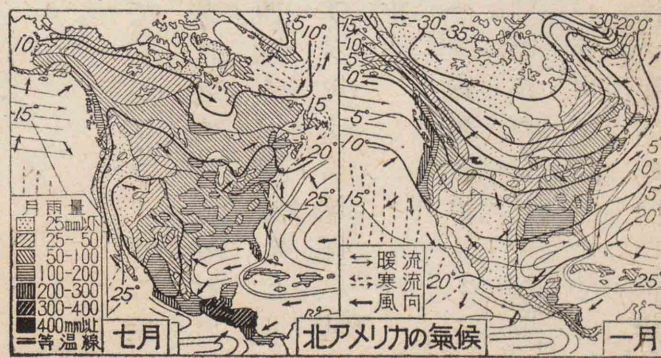
北アメリカの棉の栽培景



龍舌蘭

ピューマ、海狸、蜂雀、響尾蛇等は本洲特有の生物で、棉、甘蔗、サボテン、龍舌蘭

は濃霧が多い。太平洋岸の北部は日本海流と、西風とて雨が多く、南部は乾燥する。内陸は大陸性氣候で雨が少く、草原や沙漠がある。サボテン、龍舌蘭、し、北部はラブラドル寒流が南下して寒く、寒暖二流の接する附近は濃霧が多い。太平洋岸の北部は日本海流と、西風とて雨が多く、南部は乾燥する。内陸は大陸性氣候で雨が少く、草原や沙漠がある。サボテン、龍舌蘭、



氣候・生物

北アメリカ洲 序説

第一の長流ミシシッピ河が流れ、五大湖等が横たはつてゐる。海岸は一般に屈曲に富み、特に北部には峽灣、島嶼が多い。氣候・生物 大部は温帯に屬する。大西洋岸の南部は貿易風帯に屬し、酷熱で雨が多く、中部はメキシコ灣流に面して海洋性氣候を呈し、北部はラブラドル寒流が南下して寒く、寒暖二流の接する附近は濃霧が多い。太平洋岸の北部は日本海流と、西風とて雨が多く、南部は乾燥する。内陸は大陸性氣候で雨が少く、草原や沙漠がある。サボテン、龍舌蘭、



九七萬方  
 一二三萬  
 人  
 概説  
 業 地形・氣候・産  
 東部山地

珈琲等は他から移植されたものである。

## 第二章 北部地方

北方にあるので気温が低く、不毛地が多い。廣大な地域であるが人口が少く開拓が不十分である。

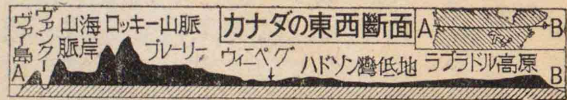
### 第一節 カナダ(加奈陀)

概説 面積は略ヨーロッパに匹敵し、南部は開拓が進んで、資源に富み、イギリスの主要自治領となつてゐる。

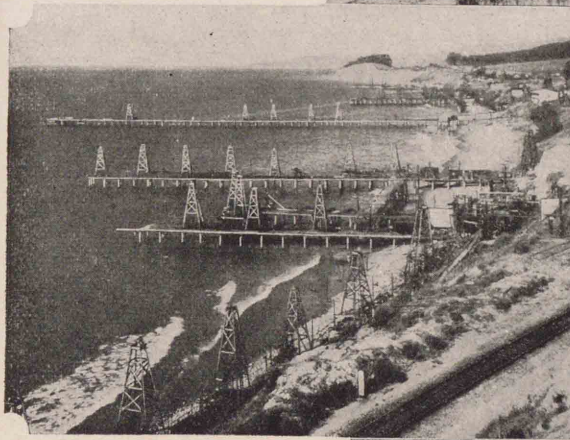
地形氣候産業 東部はローレンシア臺地が連り、ニッケルの産に富み、セントローレンス河谷には附近の森林と、ニアガラの水力とを利用して、製材・パルプ・製紙が行はれ、オタワ・モントリオール・ケベック等の工業地が勃興してゐる。近海は漁業が盛で、不凍港のハリファクスは漁港・商港

北アメリカ洲 北部地方

一五九



カリフォルニア  
 の油田



カナダの  
 小麦收穫



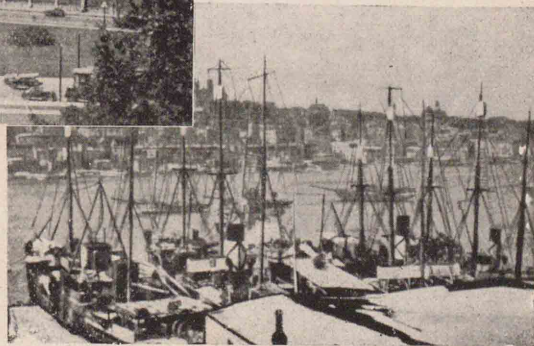
オタワ市



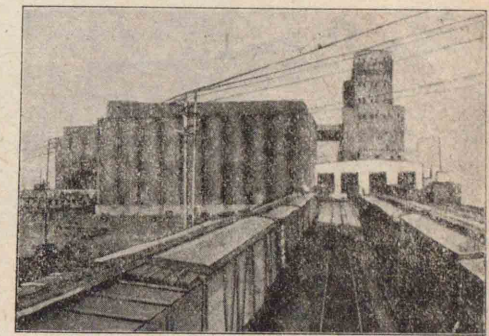
ビッツバーグ



セントジョンズ港







ポートアーサーの大穀物倉庫

北アメリカ洲 アメリカ合衆國

一六〇

として榮えてゐる。中部平原は雨が少く、**ウニペグ**附近には牧牛酪業が行はれ、又小麥、**馬鈴薯**を産し、五大湖沿岸の鐵銅と共に**ポートアーサー**で集散される。西部山地は白金、**石炭**等の鑛産に富み、温暖多雨で森林が發達してゐる。海岸には**鮭**の漁獲が多く、中心地の**ヴァンクー**

中部平地  
西部山地  
交通・商業  
住民政治

**ヴァンクー**は木材を輸出する。  
**交通・商業** 南部には東西横斷鐵道が通じ、五大湖は水運に利用されるが、冬季は凍結する。貿易は主に英米との間に行はれる。  
**住民政治** 曾てはフランスの植民地であつたが、十八世紀以來イギリス領となつたもので、イギリス人は過半を占め、東部には**フランス**

二萬方軒  
元萬人

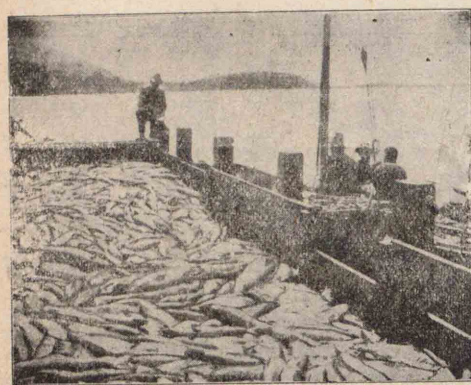
一五萬方軒  
六萬人

ンス人が住み、北西部に少數の土人が居住する。聯邦組織で、**カナダ**自治領と稱せられ、**オタワ**に首府を置く。議會、軍備を有し、國際上、恰も獨立國の觀がある。

**ニューファンドランド** 木材、パルプの産が多く、近海は**鯨**、**鱈**等の世界的漁場となり、首府**セントジョンズ**は商港、漁港として知られる。

第二節 アラスカ

附グリーンランド



フレザー河の鮭漁

**アラスカ** 山が多く寒氣が酷しいので、開拓が遅れ、山地の金、近海の**鮭**、**膾**、**豚**、**獸**の外、産業上見る可きものがない。近年、**アジア**洲に對する交通、軍事の上から重要視せられ、**アリューシャン列島**中の**ウナラスカ**は軍港となつてゐる。

北アメリカ洲 北部地方

一六一



二六萬方籽  
一七萬人

支四萬方籽  
二五〇萬人

概説

地勢海洋

北アメリカ洲 アメリカ合衆國  
グリーンランド 世界最大の島でデンマークに屬し、僅かにエスキモー人が漁獵を行つてゐる。

### 第三章 アメリカ合衆國

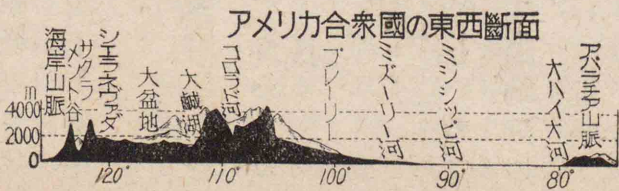
概説 温帯の中央に位する廣大な地域を占め、列強中最も資源に富み、その國勢は新大陸の全土に及ぶ。

地勢海洋 東部にはアパラチア山脈が連り、その山麓臺地と海岸平地との間には瀑布線が發達し、發電地帯となつてゐる。

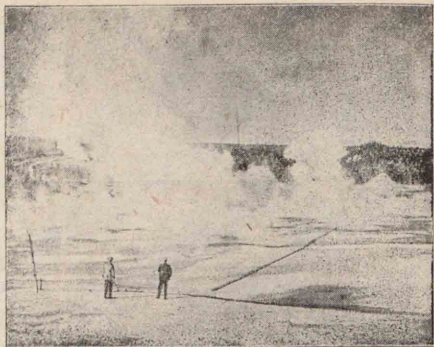
西部のコルディラ山系はロッキー・シエラネヴァダ海岸等の諸山脈が三列に縦走し、その間に大盆地・コロラド高原及びカリフォルニア盆地を含む。ロッキー



米支面積比較



アメリカ合衆國の東西断面



氣候

泉(温歇間園公石黄)

山脈は火山脈を伴ひ、北部に間歇温泉の多い黄石公園がある。中央平原は主にミシシッピ河の流域である。

東海岸の北部はリアス式となつて良港が多く、南部は砂濱が連り、西海岸は一般に單調である。

氣候 南部は高温多雨で熱帯生産地となり、北部に進むに従ひ雨量を減じ、草原となる。メキシコ灣流に臨む東

海岸は氣候が良好であるが、屢ハリケーンと呼ばれる熱帯旋風に襲はれる。西部の高原は乾燥不毛地が廣く、太平洋岸は地中海性氣候を呈し、冬は温暖である。

産業 國土が廣く、資源が豊富な上に、その利用開發がよく行はれ、産業は著しく發達してゐる。

産業

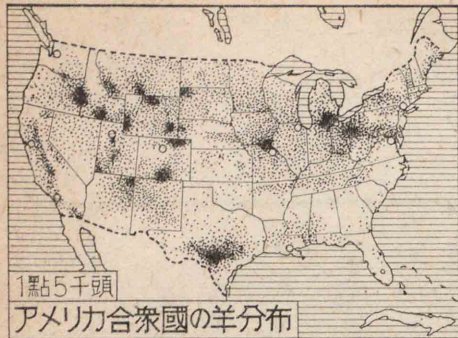
北アメリカ洲 北部地方

北アメリカ西部の雨量分布

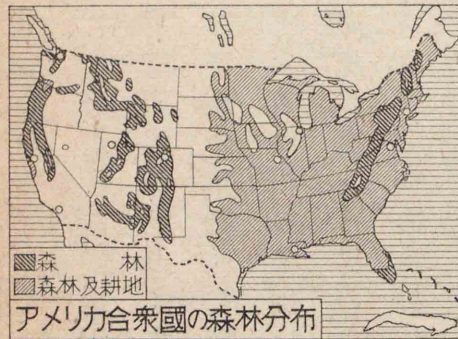
黒點の多少は雨量を示す  
數字は年雨量(mm)を示す



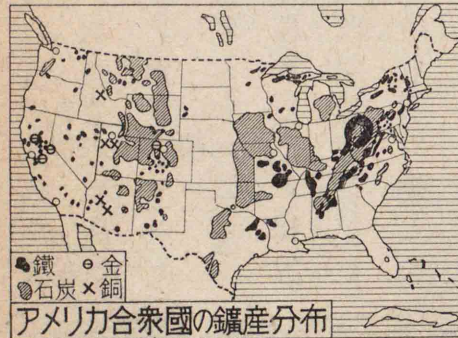




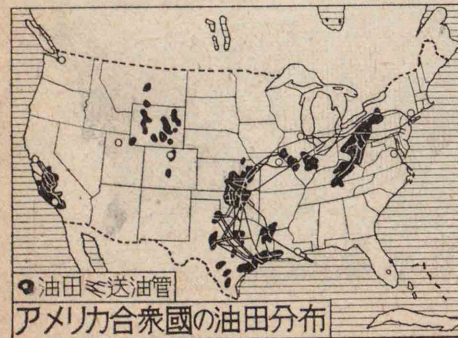
1點5千頭  
アメリカ合衆國の羊分布



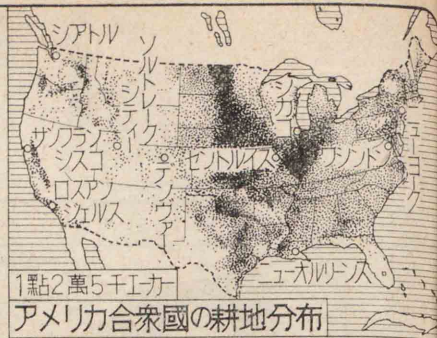
■森林  
■森林及耕地  
アメリカ合衆國の森林分布



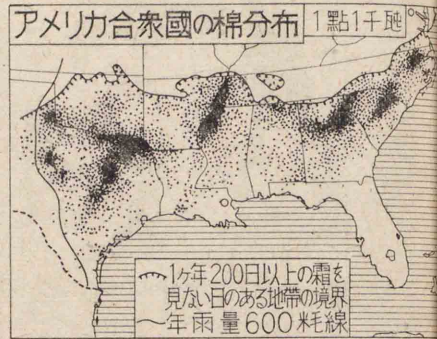
●鐵 ●金  
●石炭 ×銅  
アメリカ合衆國の鑛産分布



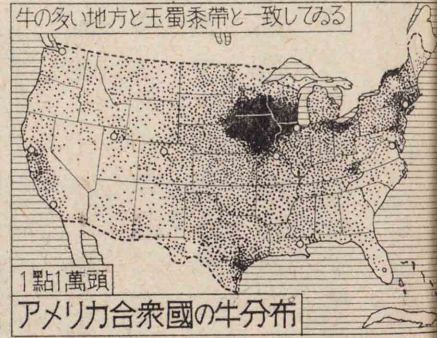
●油田 ○送油管  
アメリカ合衆國の油田分布



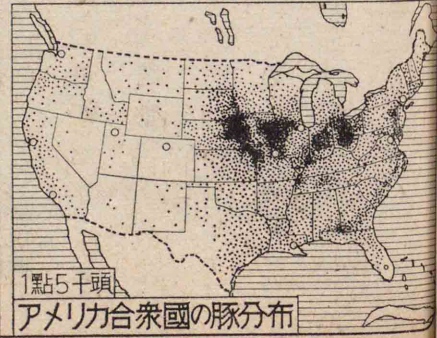
1點2萬5千ヘカ  
アメリカ合衆國の耕地分布



1點1千担  
アメリカ合衆國の棉分布  
1年200日以上の霜を  
見ない日のある地帯の境界  
年雨量600耗線



牛の多い地方と玉蜀黍帯と一致してゐる  
1點1萬頭  
アメリカ合衆國の牛分布



1點5千頭  
アメリカ合衆國の豚分布

中部

東部

等の工業市が興つた。近海は鱈鯨等の好漁場で、沿岸には牡蠣の養殖も行はれ、ボルティモアは罐詰業が盛である。  
中部 五大湖の附近は鐵(全國の七〇%)を産し、又、石油、石炭も多く、且ナイアガラの多量の水力發電によつて、ピッツバーグ、クリーヴランド(共に製鐵・機械・デトロイト(自動車・飛行機)等の工業地が發達してゐる。



アメリカ合衆國の東部工業地帯

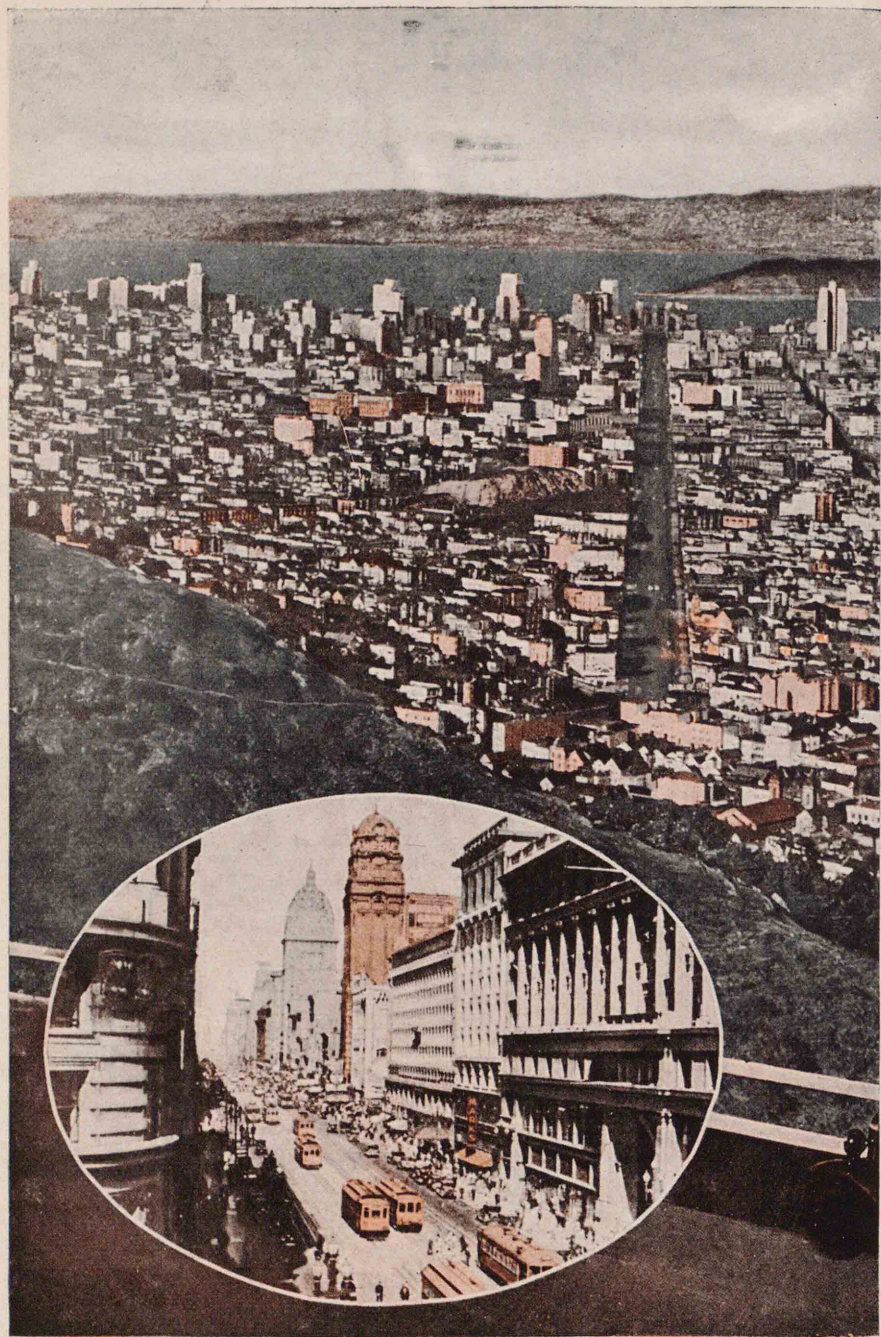
東部

臺地・平地には良質の棉・煙草を産し、アパラチア山地の豊富な石炭・石油、鐵及び瀑布線の水力を利用して機械・紡織・製油・煙草製造等が行はれ、ポストン、フィデルフィア、リッチモンド、





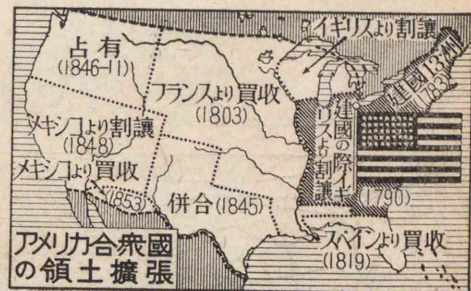




サンフランシスコの鳥瞰と中心街

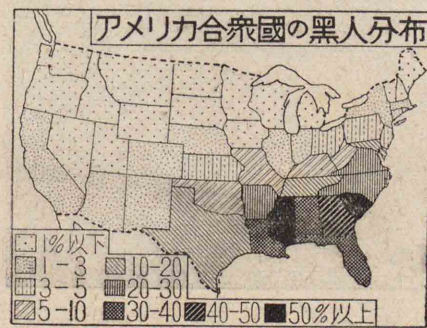
住民政治

北アメリカ洲 南部地方



には一千万の黒人が農業に従事してゐる。教育が進み、男女同権で、一般に女子は尊重せられる。一區四十八州より成る聯邦共和国で、嘗ては移民を歓迎したが、近年これに制限を加へ、殊に東洋移民を禁止した。モンロー

もイギリスに次いで第二位である。航空路は國內は勿論、遠く南米・フィリピンに及んでゐる。貿易は英・加・日・佛・獨等との間に行はれ、パナマ運河開通以來、商圏が著しく擴大した。  
**住民政治** 人口は一億三千万に近いが、人口密度は我が國の十分の一に過ぎない。チュートン系の白人が大部を占め、キリスト教を奉ずる。南部





處誌



北アメリカ洲  
アメリカ合衆國

サンフランシスコ  
金門海峡  
サンフランシスコ

時著しく發展し、サンフランシスコ

主義を唱へ、汎米政策を實行して新大陸に勢力を伸ばし、國際間に重きをなしてゐる。

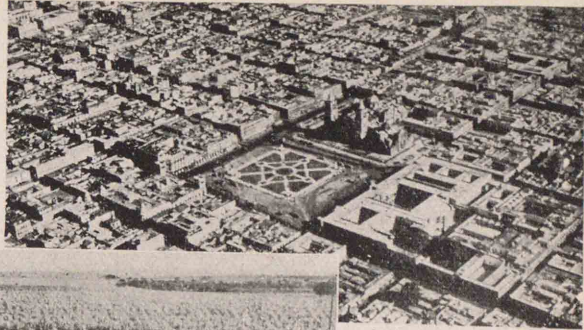
處誌 東部は主として商工業區をなしてゐる。ニューヨーク(紐育は米國の東半を後背地として發達した世界最大の商工業市で、大建築が聳えてゐる。郊外のパターソンは我が生絲を輸入して絹織に榮え、首府ワシントン(華盛頓)は清麗な政治都市である。中部は大農牧區、五大湖地方は工業區となり、シカゴ(市俄)は、この國第二の大都市で交通の要衝に當る。西部は農林業區で、近



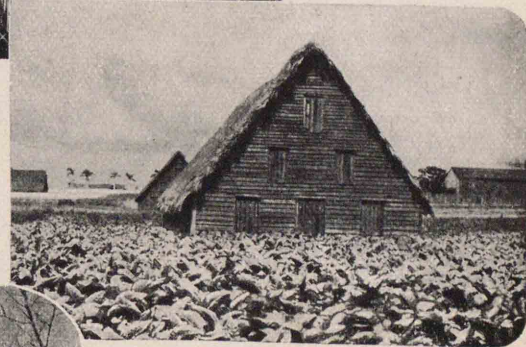
ユカタン半島の  
シザル麻畑



モントリオール市

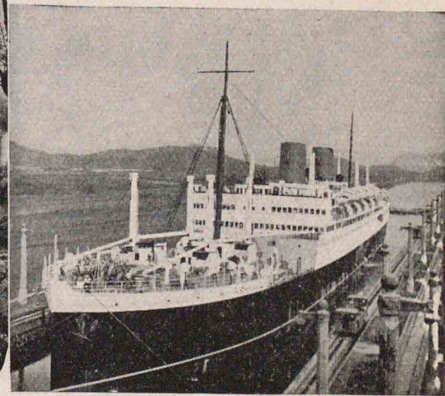


メキシコ市の下瞰



キューバの煙草畑

パナマ運河  
(ミラフロレス閘門)







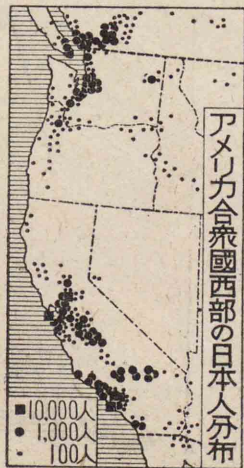
日本とアメリカ合衆國

(桑港・シアトルは極東・濠洲との取引が行はれ、ロスアン  
ジェルスは製油・映畫製作で著れる。<sup>三七</sup>

日本とアメリカ合衆國 嘗ては我が國の開國を促し、  
十一萬の移民を入國せしめてゐる。近年は我が國第  
一の貿易相手國として親密を加へてゐたが、一九〇〇  
年本邦移民を禁止し、支那に於ける門戶開放を唱へ、強  
勢なる海軍を擁して、通商

條約の廢棄を我に通告す

る等、我が國の大陸政策を牽制し、近時  
動もすれば兩國の利害は相反するも  
のがある。



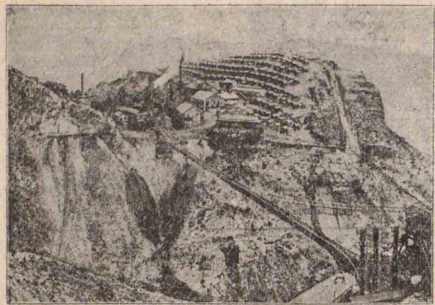
#### 第四章 南部地方

#### 概説

#### 地勢・氣候・産業

概説 南北アメリカ大陸の中間に位し、陸橋的役目を有すると共に太平洋・大西洋を分ち、兩洋の連絡上重要な位置を占める。大部は熱帯に位し、弱小國が群立してゐる。

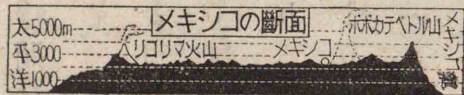
地勢・氣候・産業 コルデイレラ山系はメキシコ高原よりユカタン半島に續き、更に西インド諸島を列ねてゐる。火山脈を伴ひ、火山・地震の多い地方である。大部は北東貿易風帯



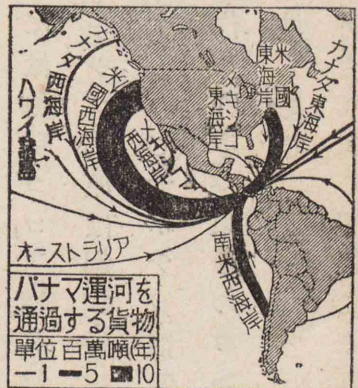
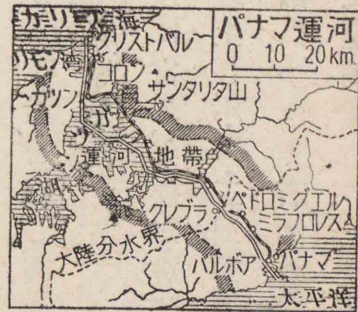
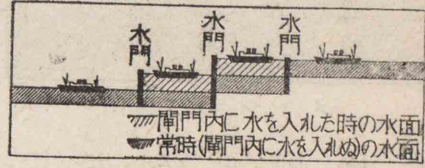
メキシコの銀山

に屬し、酷熱で雨が多く、低地には甘蔗・バナナ・マホガニー材を出し、高地には珈琲・ココア・煙草・棉・シザル麻等を産する。メキシコ高原は銀・銅・鉛等の鑛産に富み、氣候が乾燥するので、サボテン・龍舌蘭が野生し、小麥・玉蜀黍が作られる。東麓のタンピコは合衆國につゞく石油の産地である。

交通商業 パナマ運河は米國の經營により、一九一四年







に開通した  
開門式運河  
で、通過する  
に七時間を  
要する。こ  
れによつて

太平洋・大西洋の航路が著しく短縮し、世界の交通・商業

に大變化を及ぼした。貿易は主として米國との間に行はれる。

住民政治

住民政治 大部はイスパニア人と、その混血のメスチゾ族より成り、西インド諸島にはアフリカの黒人が多い。嘗てはイスパニア・フランス等の植民地であつたが、メキシコを初め、中央アメリカには七共和國、西インド諸島にもキューバ・ハイティ・ドミニカの三共和國が獨立してゐる。その外、米・英・佛・蘭等の植民地が各處にあるが、一

處誌

二萬方軒  
四〇萬人

般に米國の勢力が大きい。

處誌 氣候は酷熱で不健康地

が多い。メキシコの首府メキ

シコは二千米の高原上に位す

る。キューバの首府ハバナは砂

糖バナナ・煙草の積出しに著れ、

コロンブスの上陸に知られた

サンサルヴァドル島は、イギリス領のバハマ

諸島中の一島である。



キューバの甘蔗の收穫

第五章 總括

産業

産業 土地が廣く、氣候と天然資源に恵まれ、その歴史が新しいのに拘らず産業が著しく發展し、舊大陸を凌ぐ情勢を示してゐる。



交通商業

中央平原は土地が肥沃で世界的の農業・牧畜地帯となり、北部の林業も盛である。北東部近海は世界三大漁場の一に數へられ、沿岸には養殖業も榮える。金・銀・銅・鐵・石炭・石油等の鑛産は舊大陸に優り、豊富な水力と相俟つて東部・中部に近代工業が勃興した。

**交通商業** 産業の隆盛に伴ひ、交通も著しく進んだ。鐵道延長は世界の三分の一を超え、多くの横斷線が通じ、自動車の數も世界第一である。海運は主にヨーロッパと間に發達し、北大西洋には豪華船が多く、パナマ運河の開通は東西兩岸の海運連絡を緊密にした。航空路は大洋を横斷して歐亞に通じ、極北の航空も計畫されてゐる。貿易は大戦後頗る増加し、原料・製品共に輸出せられ、輸出額は輸入額を超過してゐる。

住民政治

**住民政治** 人口は東部に密で、西部山地・北部寒冷地に疎である。白人が四分の三を占め、チートン族を主とし、南部にはラテン族が

多い。原住民のインディアンは、南部に至るに従つてその數を増し、エスキモーは北部の寒地に住む。曾て奴隸であつた黒人は熱帯に、東洋人は西部に多い。十一箇の獨立國中、廣大な領土と豊富な資源とを備へる米國が壓倒的に優勢で、モンロー主義を叫んでヨーロッパ諸國の干渉を抑へ、汎米政策を實行して中・南米に勢力の伸展を計つてゐる。









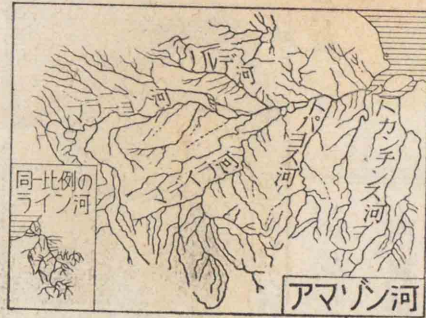
主として赤道以北の熱帯地で、海岸に雨が多く、甘蔗・ココアを産し、石油等の鑛産も多い。氣候が暑いので、コロンビア共和國の首府ボゴタ、ヴェネズエラ共和國の首府カラカスは、共に山上の高地にある。ギアナは英・蘭佛に分屬し、イギリス領トリニダード島はアスファルト・石油を産する。

### 第三章 中部地方(ブラジル)

概説 南米第一の大國で、面積は我が十三倍に當る。大部は熱帯に屬し、資源が豊で、各國の移民を收容して開拓を計つてゐる。

地勢氣候産業 アマゾン大平原は本洲の五分の二を占め、アマゾン河が緩かに流れる。高温多雨のセルヴァスには野生ゴム、椰子油、染料等が多く、マナオス・ベレム(バラ)で集散さ

八五萬方秆  
四四二萬人  
概説  
地勢・氣候・産業



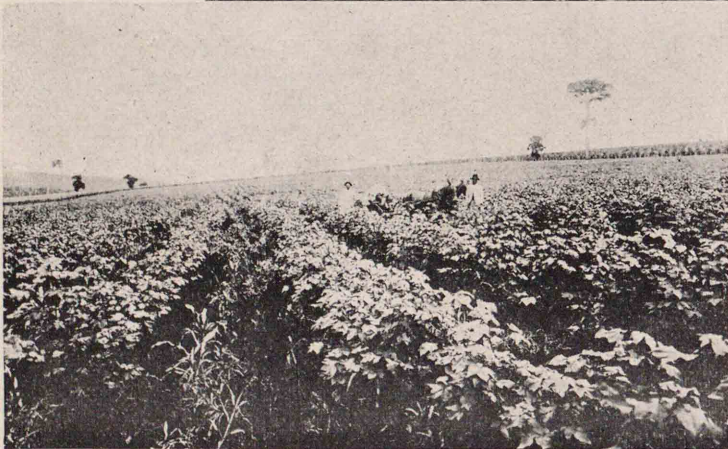
ブエノスアイレス港



サンティアゴ市の展望



ブラジルに於ける  
邦人の棉花栽培



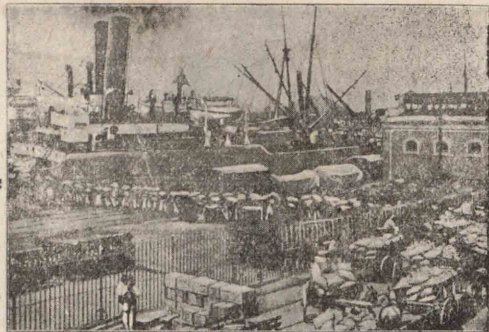


住民政治

南アメリカ洲 中部地方

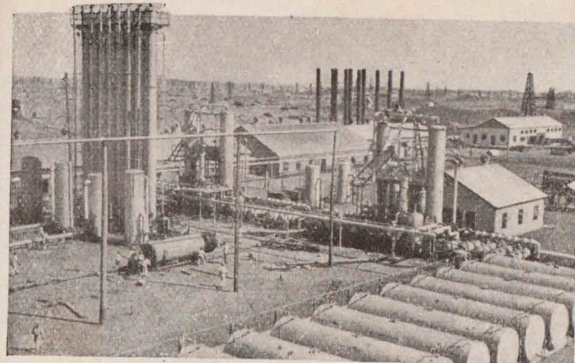
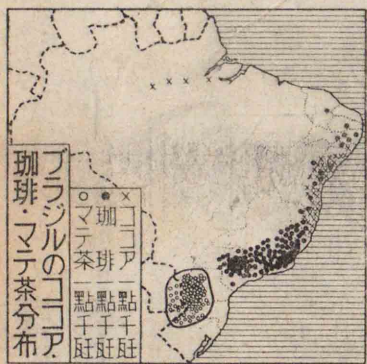
栄える。南部は草原で牛・豚・羊の牧畜が盛んで米作も行はれる。貿易は主に欧米との間に行はれ、珈琲・棉を輸出し、機械その他の製品を輸入する。

住民政治 住民の九割は南部高原に住ん



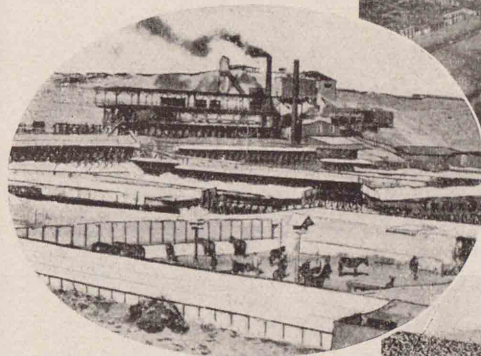
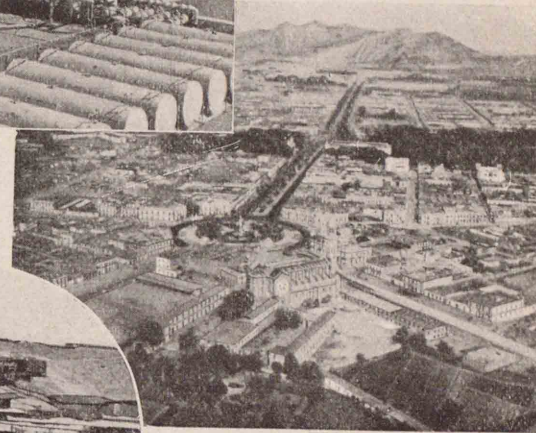
サントス港の珈琲積出し

れる。ブラジル高地は古い臺地で鐵・金剛石・金・マンガン等の産に富み、東部の亞熱帶地に玉蜀黍・甘蔗・煙草を出し、レシフ・<sup>望</sup>バイアはその集散地である。南部の丘陵地に珈琲が栽培せられ、サンパウロ州を中心として世界の六割を産し、棉・玉蜀黍等と共に、各國移民によつて作られてゐる。サンパウロはその中心をなし、サントスは移民の上陸地で、珈琲の積出しに



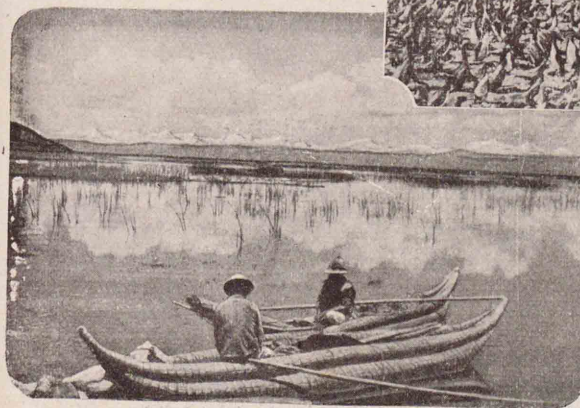
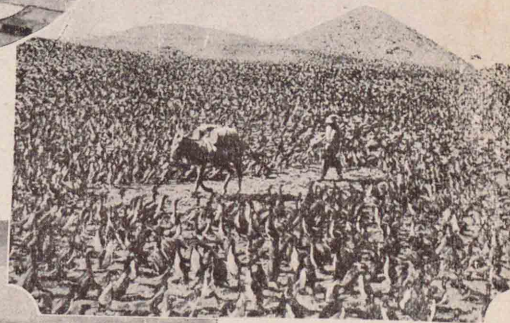
ペルーの製油所

リマ市の大観



チリ硝石の工場

ダブノ島の鳥群

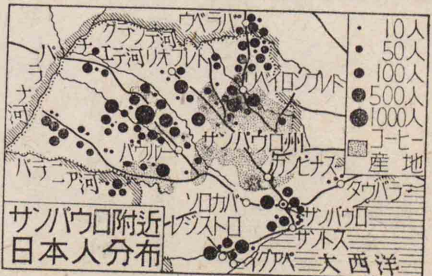


ティティカカ湖の蘆舟



てゐる。ポルトガル人の子孫が多く、曾ては移民を歓迎して開拓を進めたが、一九三四年以來これを制限した。五十餘年前ポルトガルから獨立して立憲共和國となつたもので、首府リオデジャネイロは風光明媚の良港である。

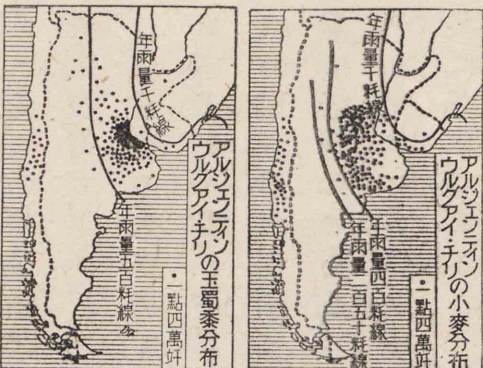
日本とブラジル<sup>一七</sup> 本邦移民は既に二十萬に達し、サンパウロ州に多く、近時はアマゾン下流にも入植してゐるが、移民制限後、渡航者が著しく減じた。又この國は南米に於ける我が主要貿易國で、彼我の經濟關係は密接である。



### 第四章 南部地方

概説 南部の温帯地方で、パラグアイ・ウルグアイ・アルゼンチンを含み、廣漠たる平原が展開し、世界的農業・牧畜地帯となつてゐる。

地勢・氣候・産業



**地勢・氣候・産業** 北部のグランチャコ(草林原)はセルヴァスとパンパスとの漸移地帯に當り、牛羊の牧畜が行はれ、棉ヶプラチヨ等を産する。パンパス草原は人工灌漑によつて小麥・玉蜀黍・亞麻が作られ、又羊牛の牧畜が盛で、羊毛・肉類・バター・皮革等の世界的産地である。ロサリオ・バイアブランカは穀類<sup>五</sup>畜産の積出しに著れる。西部山麓は人工灌漑によつて棉・葡萄を産し、メンドサ<sup>八</sup>に集散される。鐵道の發達は南米第一で、貿易は主に歐米との間に<sup>八</sup>行はれ、穀類・畜産を輸出してゐる。

住民・政治  
パラグアイ  
三萬方人  
五萬方人

**住民・政治** 曾てはイスパニアの植民地であつたので、その子孫が多く、南部にはパタゴニア人が住む。

パラグアイ 共和國の首府ア

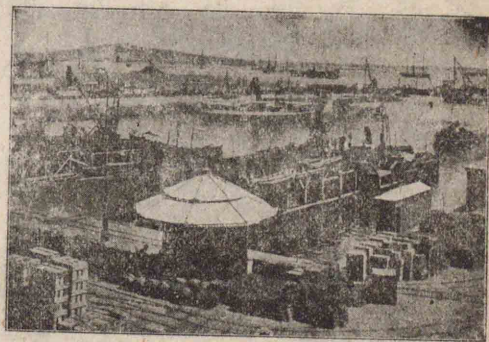


ウルグアイ  
一九萬方  
二〇六萬人

アルゼンティ  
ン  
二八〇萬方  
二二五萬人

日本とアル  
ゼンティン

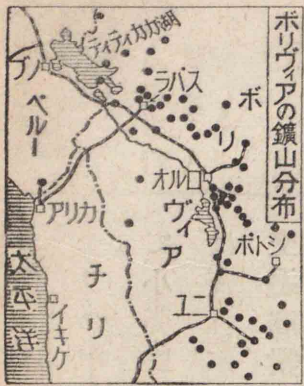
南アメリカ洲 南部地方  
スンシオンはマテ茶・肉類を輸出する河港  
で、**ウルグアイ** 共和国の首府**モンテヴィデオ**  
は肉類・罐詰羊毛・小麦等の積出しに榮える。  
**アルゼンティン** 共和国は南米第二の大國で、  
ブラジルと共に南米の入移民國として知  
られる。首府**ブエノスアイレス**は南半球  
最大の都で、アンデス横斷鐵道の起點をな  
し、農畜産の大市場である。



モンテヴィデオ

日本とアルゼンティン アルゼンティンは南米中、最も富裕な國で、又  
我が第一の取引國である。本邦移民は五千餘人で、何れも農業・商  
業に活動してゐる。  
フークランドは牧羊が行はれ、捕鯨の根據地たる南ジョージア島と  
共に英領である。

概説  
地勢・氣候・産  
業



概説 アンデス山脈と西海岸地方で、チリ・ボリヴィア・ペルー・エクア  
ドルの諸國に分れ、鑛産が多く、高地に文化地帯が發達してゐる。  
**地勢・氣候・産業** 高峻なアンデス山脈が海岸に近く縦走し、イリマ  
ニア・コンカグア等の火山が聳え、高原にはティティカカ湖等がある。  
銀・銅・錫・金・アンチモニー等の鑛産が豊で、**ポトシ**・セロデパスコ等の  
鑛山都市が發達し、海岸の**カヤオ**・**アントファガスタ**より鑛石を輸出  
する。東部のセルヴァスはゴムを産し、**イキトス**は、アマ  
ゾンの河遡航の終點で  
ある。太平洋沿岸は、  
北部にココア、中部の  
寡雨地にグアノ・硝石





交通・商業  
住民政治  
チリ  
五 齒萬方籽  
四三 萬 人  
ポリヴィア  
一三 萬方籽  
三〇〇 萬人



ヴァルパライソ

を産し、イキケより輸出される。  
チリの中央部は地中海性氣候  
で、小麥・野菜・果實等を産し、南部の多雨地に  
は森林が繁つてゐる。



交通・商業 山地の交通にはリマ・アルパカが用ひられ、鑛業の發達  
に伴ひ海岸に鐵道が通じた。沿岸諸港は、歐米に鑛石  
を輸出してゐる。

住民政治 アンデス高原は、曾てアメリカ土人によつ  
て建てられたインカ帝國の故地で、クスコはその舊都  
である。十六世紀以來スペインの植民地となつたが、  
全部獨立して共和國となつた。チリは狹長な點で我  
が國に酷似し、首府はサンティアゴで、外港ヴァルパライソ  
はアンデス横斷鐵道の西端である。ポリヴィア・ペル

ペル  
二五 萬方籽  
七〇 萬人  
エクアドル  
一三 萬方籽  
三〇〇 萬人  
日本との關係

産業  
交通・商業



南アメリカの交通

南アメリカ洲

總括

### 第六章 總括

は鑛産で著れ、首府ラパスは三千六百米の高地に在り、リマには邦  
人が多く、エクアドルの首府はキトである。  
日本との關係 沿岸諸港は我が南米航路の寄航地で、我よりは綿  
布の輸入、彼よりは硝石の輸出が盛である。ペルに於ける本邦  
移民は二萬五千に及び、主として商業・農業に活躍してゐる。

産業 農業・牧畜が盛で、南東部は食料品・原料品の世界的供給地と

なつてゐるが、その他は未開地が廣い。鑛産は東西  
兩山地に多く、工業は一般に遅れてゐる。  
交通・商業 高峻なアンデス山脈や熱帯の密林は、交  
通の障害となり、鐵道は南東部に多く、水量の豊かな大  
河は水運に供せられる。海運・航空路等は歐米との





住民政治

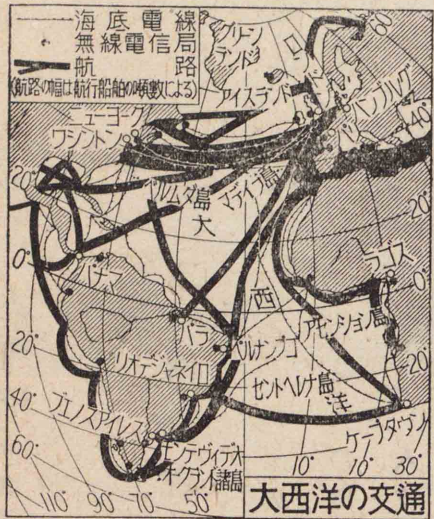
西・葡兩國の子孫で、原住民のインディアンは荒蕪地・森林地に壓迫せられ又は白人と混血した。人口が少く、移民を歓迎してゐたが、最近制限を加へるやうになつた。ギアナを除く大部は西・葡兩國植民地より獨立したもので、アルゼンティン・ブラジル・チリが南米のA・B・C三國といはれ、最も富強であるが、米國の干渉が多い。

附 北極地方大西洋

北極地方 北極海が大部を占め、堅氷に鎖されてゐる。米人ピアリイは北極に達し、諾人アムンツェン、伊人ノビレ、米人バード等は航

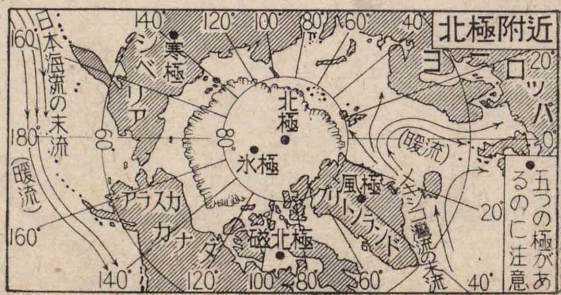
北極地方

大西洋

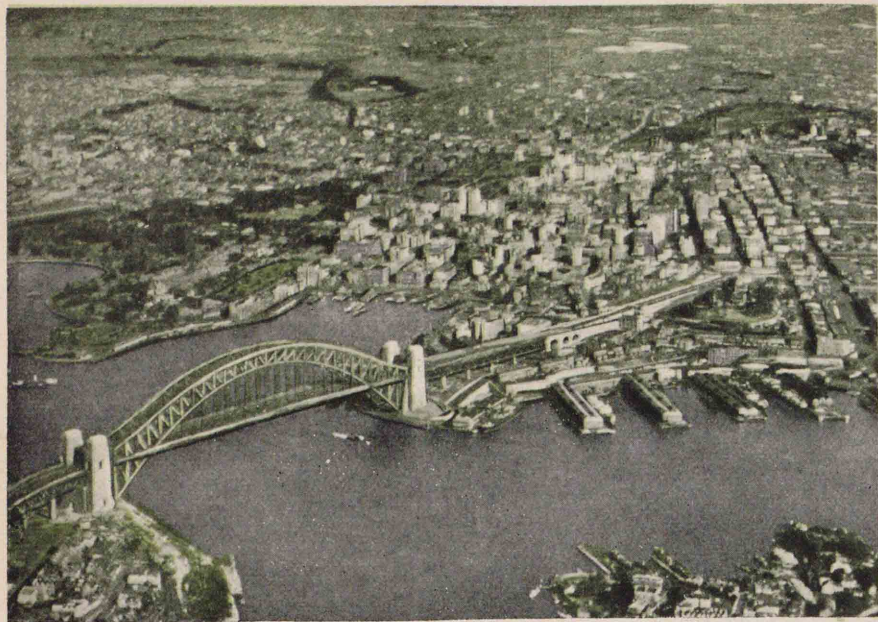


空機によつて此の地を探検し、次第に地理が明瞭になつた。スピツベルデンの石炭捕鯨の外に、近年極北の航路・航空路の開拓が、着眼せられてゐる。

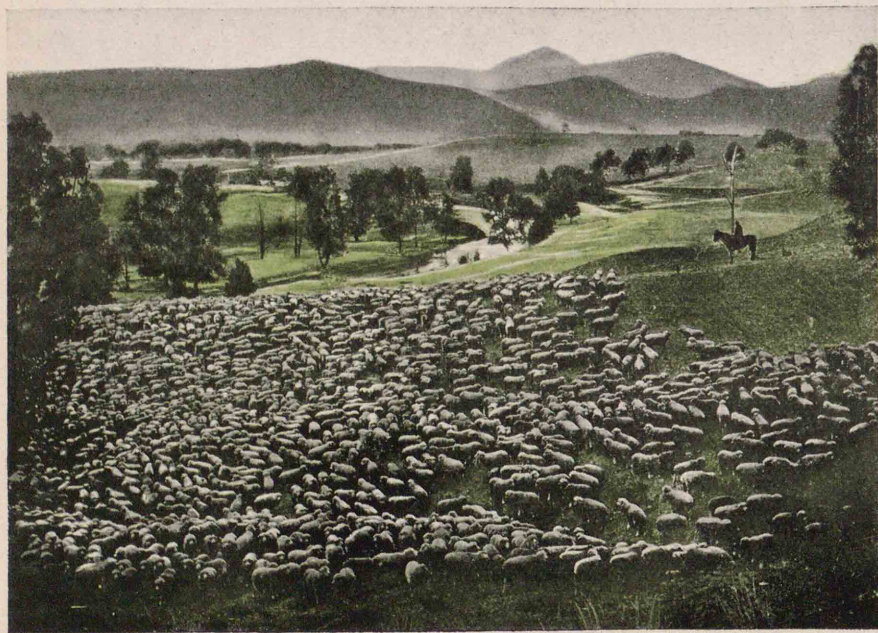
大西洋 世界第二の大洋で、新舊四大陸に圍まれ、その連絡に用ひられる汽船は實に世界の過半に及び、歐米航路は世界の豪華船を浮べてゐる。政治・經濟上、イギリスの勢力が最も大である。







シドニーの大観



オーストラリアの牧羊

候  
地勢海洋気

概説

大洋洲 オーストララシア

第六編 大洋洲

(オセアニア) 面積 八〇〇萬方軒 人口 二〇〇萬 人 一 方軒 一人

附 南極地方 インド洋 太平洋

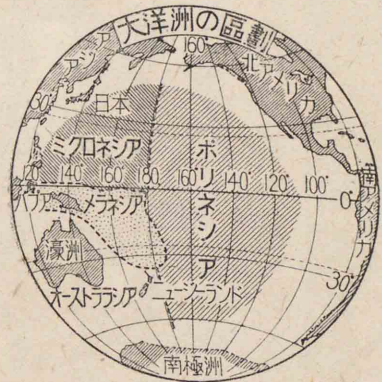
一八八

第一章 序説

概説

大洋洲は、オーストラリア大陸と太平洋上に散在する無数の島嶼とより成る。十八世紀の後半、英人クックの探検後は、白人の移住者相踵ぎ、英・米・佛・蘭・日等の領土となつたが、今なほ、文化の中心に遠く開發が後れてゐる。

地勢海洋氣候 オーストラリアは世界最小の大陸で、これを繞つて太平洋には多くの弧狀列島があり、火山脈を伴つて





概説  
 七〇萬方  
 六五萬  
 人 秆

大洋洲 序説

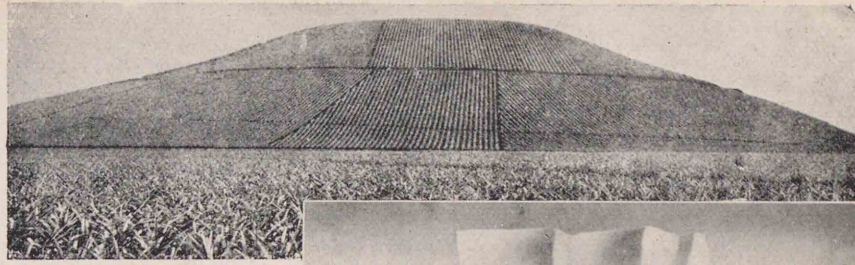
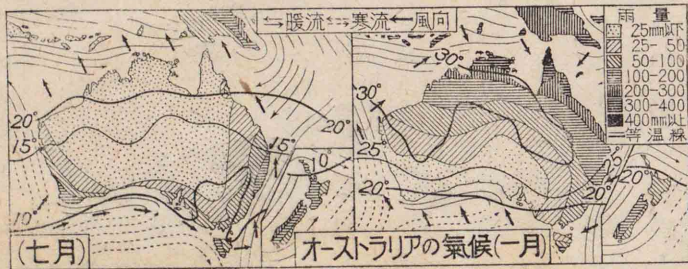
概説 南半球の太平洋とインド洋との中間を占め、赤道を隔てて

第一節 オーストラリア聯邦(濠洲)

第二章 オーストララシア

ある。オーストラリア大陸は概ね熱帯性氣候で、大陸内部には沙漠が横たはつてゐる。一般に島嶼部は海風と驟雨とで凌ぎ易く、ニュージールランド及び大陸の南部は溫和で白人の移住に適する。

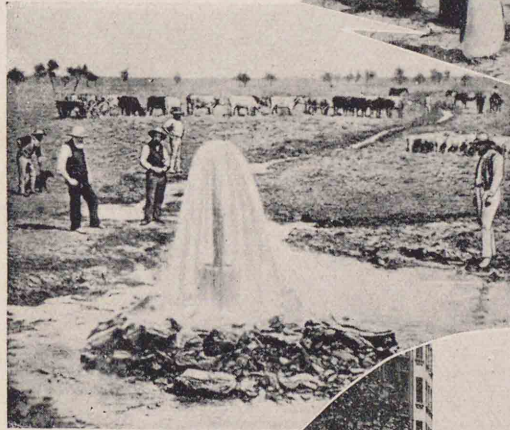
オーストラリア・タスマニア・ニュージールランドをオーストララシアと稱し、島嶼部はメラネシア・ミクロネシア・ポリネシアに大別される。



ハワイの  
 バイナップル畑



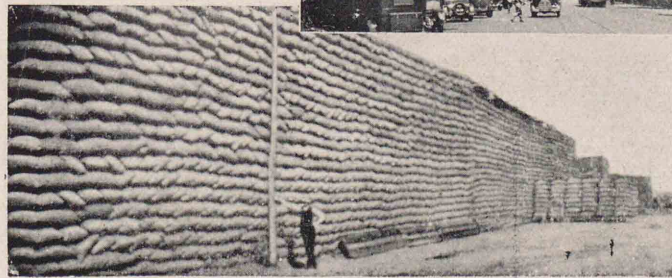
南極の冰山と  
 ペンギン



中央盆地の  
 大鑽井



オーストラリアの  
 小麦の山積



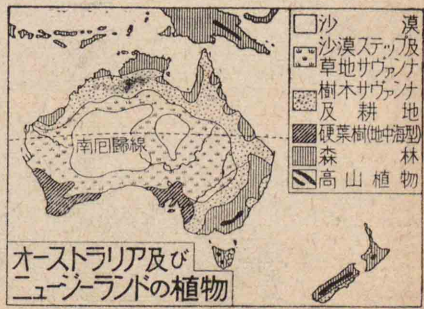
メルボルン市街



我が國の南方に位し、距離も近く、彼我の關係が深い。

地勢・氣候・産業  
東部高地

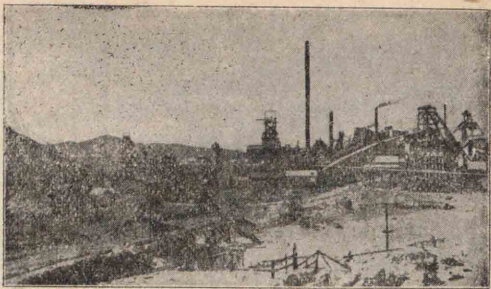
**地勢・氣候・産業** 東部高地 オーストラリア  
ルプスが連り、金・銅・石炭等の埋藏が豊である。  
北部は良灣が多く、近海には二千粒に互る大堡礁が發達してゐる。貿易風帯に屬し、高温・多雨でバナナ・甘蔗を産し、南部の温帯は森林が繁茂し、開拓されて農業・牧畜に利用せられ、牛・羊・小麥等の世界的産地となつてゐる。シドニー・メルボルン・ブリスベーン・タウンズヴィル等はその積出港である。



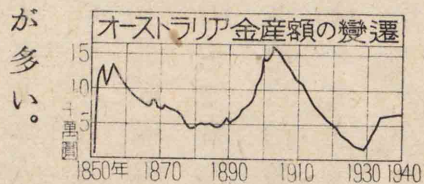
オーストラリア及びニュージーランドの植物

中央低地

**中央低地** マーレー・ダーリング盆地は、人工灌漑によつて小麥を産し、大鑽井盆地は鑽井によつて牧羊が行はれ、アデレードは農畜産の集散地として榮えてゐる。ブロークンヒルは銀・鉛・亜鉛の大



ブロークンヒル 鑛山



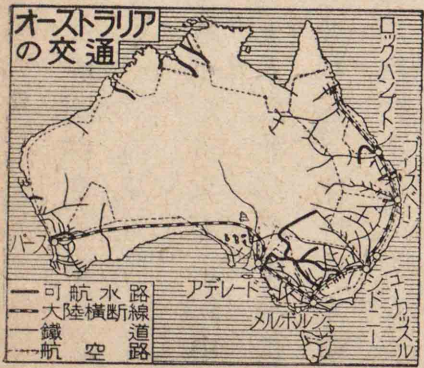
鑛山である。  
**西部高地** 高原には金鑛が多く、カルグーリ・イグール・ガルディー等の鑛山市が急速に發達した。海岸は地中海性氣温で、小麥・葡萄・柑橘を産し、パースはその中心で、フリマントルより輸出される。ブルームは眞珠に著れ、邦人の從業者が多い。

西部高地

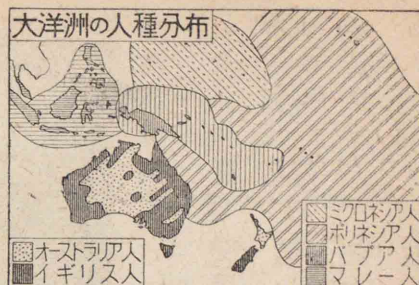
タスマニア  
六八萬方秆  
三萬人  
交通・商業

し、果實が多く、ホバートは良港である。

**交通・商業** 海港より奥地に通ずる開拓鐵道が夙くより發達し、横斷線も完成されてゐる。鐵道は東部に多く、近時英本國より航空路が開けた。海運はイギリス船を主





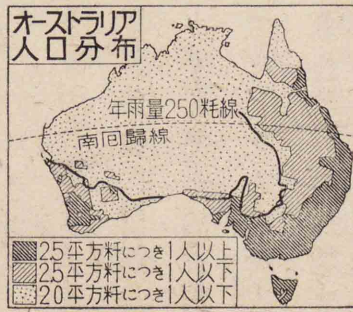


住民政治

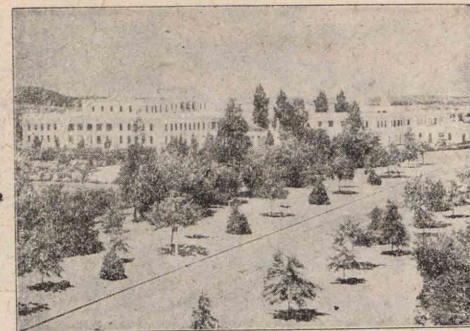
とし、我が國の汽船も活動してゐる。羊毛生産の八割・小麦・金・肉類を輸出し、機械・織物等を輸入してゐるが、イギリス本國との取引が過半に達し、日米等がこれに次ぐ。

住民政治

もとイギリスの流刑地であつたが、十九世紀中頃、金鑛が発見されて以來、移民が急増し、土人は北部熱帯地に壓迫せられて減少し、タスマニア人は絶滅した。住民の九割はイギリス人で、その大部は南東の一部に居住する。人口密度が極めて小なる上に、大部の土地が白人によつて開拓する事が困難であるにも拘らず、白人濠洲を唱へて東洋人の移入を禁止してゐる。イギリスの自治領で、總督の下に聯邦議會・軍備を有し、恰も獨立國の觀を呈する。聯邦は首府區・北部地方及び六自治州より成り、カンベラに



カンベラ



カンベラの聯邦政廳



易政策をとつた爲、兩國の取引は縮少した。在留邦人は四千人に上り、木曜島ブルーム附近に多い。

第二節 ニュージールランド(新西蘭)

イギリスの自治領で、クック海峡によつて南北二島に分れ、北島に火山・温泉が多く、南島には南アルプスが連り、その南側に平野が発達してゐる。温帯に位し、西風が卓越するので、雨の多い西側に玉蜀黍・牛・乾燥地の東側に小麦・羊を産する。その羊毛・酪製品・凍肉等は、

日本とオーストラリア

三百万人 一五万人



首府のウェリントン及びオークランドより主に英國に輸出せられてゐる。

一五

三

### 第三章 太平洋諸島

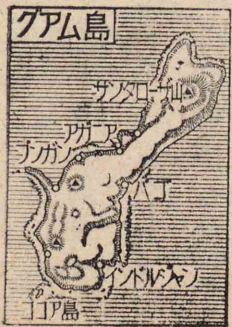


ウェリントン

メラネシア 濠洲の北東部に連る。バプア島は世界第二の大島で、我が國よりも廣く、和蘭濠洲に分屬し、近年ゴム・椰子・金等を産するが、未開地が廣い。ニューカレドニアはフランス領でニッケルを産し、邦人採掘者は五千人に上る。

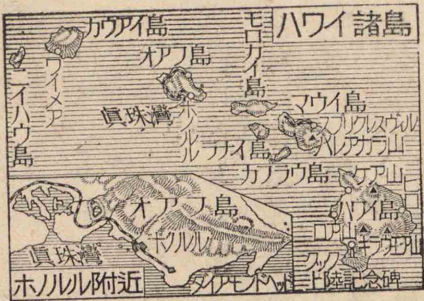
メラネシア  
バプア島 二五萬方人  
ニューカレドニア 一八萬方人  
ドニア 一五萬方人  
五萬方人

ミクロネシア 濠洲の北西部で、我が南洋諸島が大部である。米領グアム島は交通・軍事の要地で、英領ナウル・オースチアン(大洋)二島は燐礦を産する。ポリネシア ハワイ諸島は太平洋の中央に位する火山島で、ハワイ島キラウエアの火口



グアム島

ミクロネシア  
ポリネシア  
ハワイ諸島  
一七萬方人  
一七萬方人

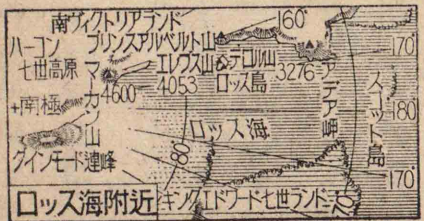


には熔岩を湛へる。温暖で雨が多く、甘蔗・パイナップル・バナナ・珈琲を産し、砂糖罐詰が作られ、首府ホノルルより輸出される。住民は本邦人が最も多く、十五萬に達して全人口の四割を占め、尙他に多くの民族が雜居してゐる。アメリカ合衆國領で、太平洋の交通・軍事上重要な位置を占め、パール灣は海軍根據地である。

ある。ミッドウェー(米)、ウェーク(米)、サモア(米英)島等も交通・通信上の要地である。

### 附 南極地方・インド洋・太平洋

南極地方 氷原に被はれた一大高原で、寒氣が酷しく、ペンギン・鯨・鯨豚・海豹等が棲み、我が國ノルウェー等の捕鯨船が活躍してゐる。一九一一年諾

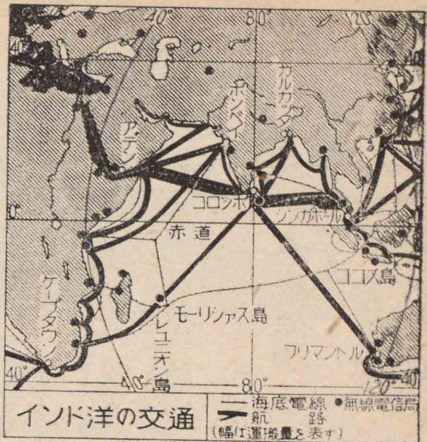


ロス海附近

大洋洲 太平洋諸島 附 南極地方・インド洋・太平洋

南極地方





人アムンゼンが南極に達し、翌年我が白瀬中尉もロックス海附近に至り、次でアメリカ人バードは飛行機で探検を試み、漸く地理が明瞭となつた。

インド洋 アジア・アフリカ・豪洲の三大陸に囲まれ、歐亞連絡の廻廊的役目を果してゐる。沿岸にはイギリス領が多く、従つて海運はイギリス船が最も優れ、シンガポール・コロンボ・アデン等の諸港が發展し、

インド洋

ココス島・モリシヤス島も利用せられてゐる。

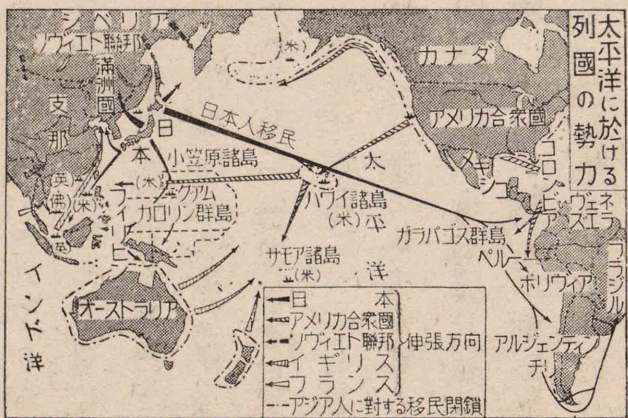
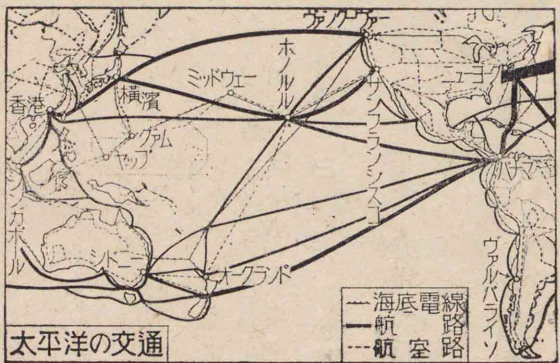
太平洋 太平洋は地表の三分の一を占める世界最大の海洋で、大陸に囲まれてゐる。その大陸の沿岸には長大な新褶曲山脈と、これに伴ふ火山地震帯を繞らし、殊に西部には日本列島を初め、花綵列島が並び、その前縁には數多の海溝が連つてゐる。我が國は太平洋の一隅に位し、沿岸各地に移民を送り、資本を投じ、貿易を行

太平洋

ふ等、經濟上密接な關係を有してゐる。英・佛・蘭・ソ聯等の歐洲諸國は東進して太平洋岸に領土を占め、米國も亦バナム運河の開通後、著しく經濟的發展をなすと共に、太平洋を横斷してアジア進出を企てる等、今や太平洋は列強争覇の焦點となつた。

結論

我等は世界地理を學び、世界の各民族が、各、その自然と民族性と共に





基いて特有の文化を築き上げ、種々の國家を建設してゐる有様を知り、我が國が世界六十餘國中、如何なる地位を占めてゐるか、を明瞭にすることが出來た。世界に比類のない美しい國體を維持し、生々發展して已まない我が國情に鑑み、私達は日本臣民たるの誇りを深く感ずると共に、列強の長所を採り、更に一層國威の宣揚につとめなければならぬ。今や世界は支那事變、歐洲動亂を契機として、英佛等の舊勢力が敗退し、日獨伊等の新勢力により新秩序が建設されようとしてゐる。かやうな世界歴史上に比類のない轉換期に際會して、我が國民は、全力を東亞新秩序の建設につくし、以て肇國の宏謨を翼賛し奉らなくてはならない。特に私達女性としては我が國が舉國一致、支那事變の目的貫徹に一路邁進してゐることを自覺して、銃後の守りを固くし、女子の本分を十二分に盡さなければならぬ。

昭和十五年十一月二十二日  
昭和十四年九月二十二日  
昭和十三年九月二十二日  
昭和十二年九月二十二日  
昭和十一年九月二十二日  
昭和十年九月二十二日  
昭和九年九月二十二日  
昭和八年九月二十二日  
昭和七年九月二十二日  
昭和六年九月二十二日  
昭和五年九月二十二日  
昭和四年九月二十二日  
昭和三年九月二十二日  
昭和二年九月二十二日  
昭和元年九月二十二日

新令 新選地理 外 國 講 修 正 版  
定 價 金 壹 圓 七 錢



著 者 不 許  
作 權 所 有  
不 許 複 製

著 者 守 屋 荒 美 雄  
補 訂 者 守 屋 美 智 雄  
發 行 者 東 京 市 神 田 區 西 神 田 一 丁 目 三 番 地  
株 式 會 社 帝 國 書 院  
代 表 者 守 屋 紀 美 雄  
印 刷 者 東 京 市 京 橋 區 銀 座 西 二 丁 目 三 番 地  
高 橋 郁

發 賣 所 東 京 市 神 田 區 西 神 田 一 丁 目 三 番 地  
株 式 會 社 帝 國 書 院  
振 替 口 座 東 京 六 七 〇 四 番  
電 話 九 段 (33) 四 四 二 八 四 四  
二 八 六 七 〇 四 番  
二 二 七 九

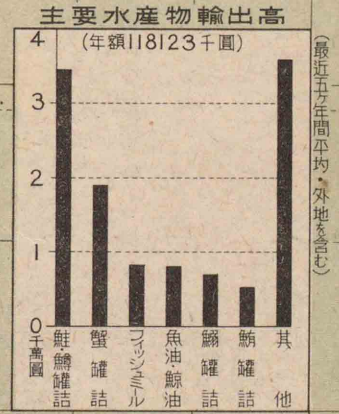
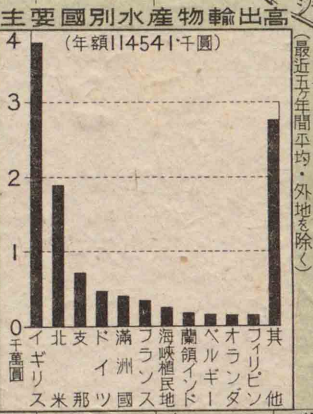
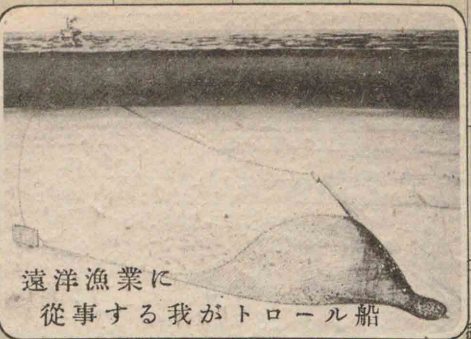
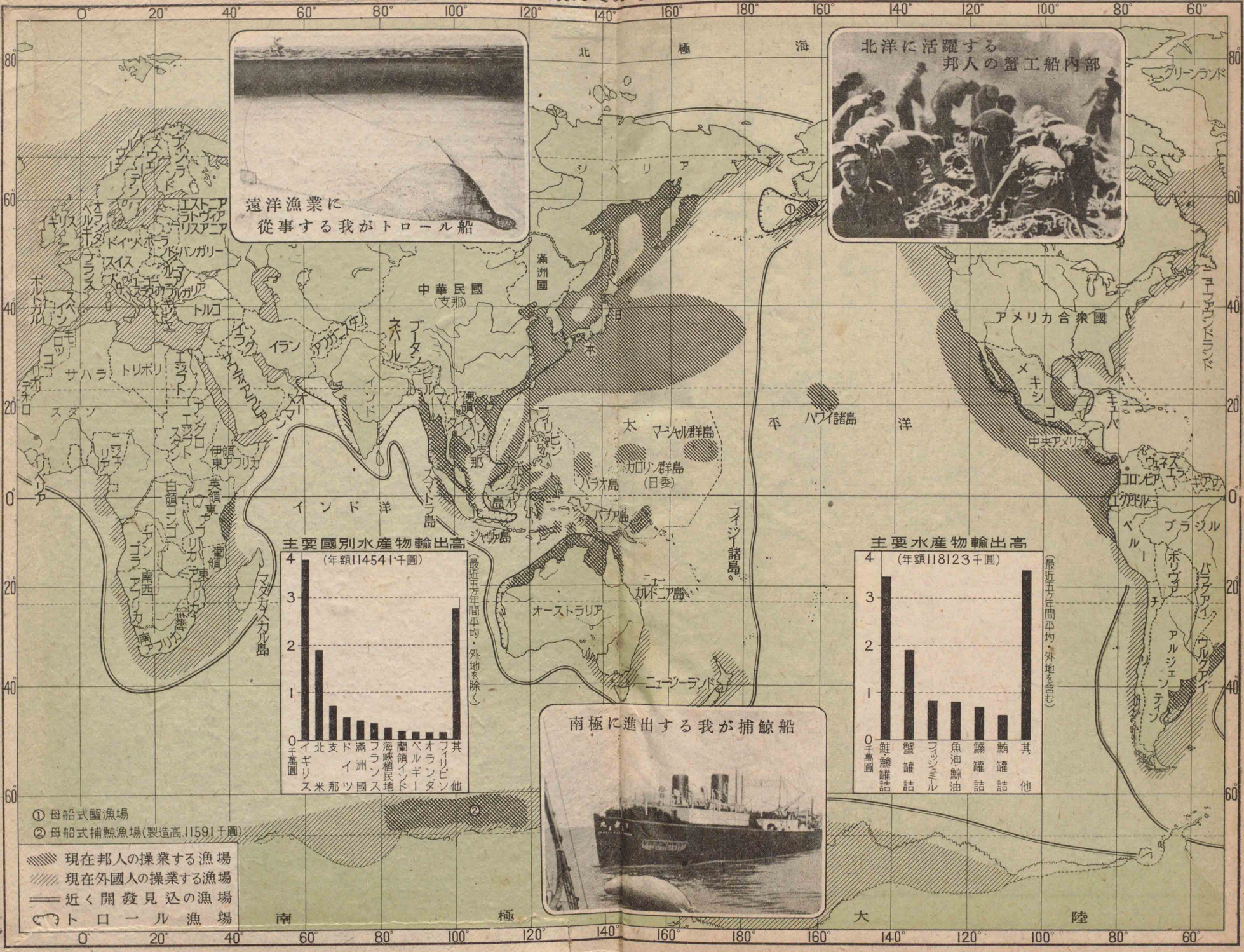
關 西 販 賣 所 大 阪 市 東 區 橫 堀 四 丁 目 三 番 地  
三 宅 莊 藏 書 店  
振 替 口 座 大 阪 六 九 番







# 全世界に及んでゐる日本の水産業



- ① 母船式蟹漁場
- ② 母船式捕鯨漁場(製造高11591千圓)
- //// 現在邦人の操業する漁場
- //// 現在外國人の操業する漁場
- 近く開發見込の漁場
- トロール漁場





庫  
0  
1

広島大学図書

2000042091

